

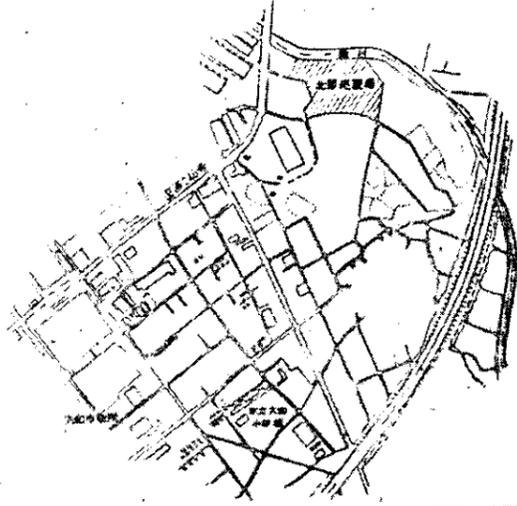
大和市北部下水処理場建設工事 その⑧

工事完成図

昭和 62 年 3 月

戸田 日東建設共同企業体

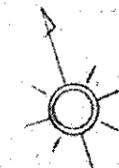
案内図 1/10000



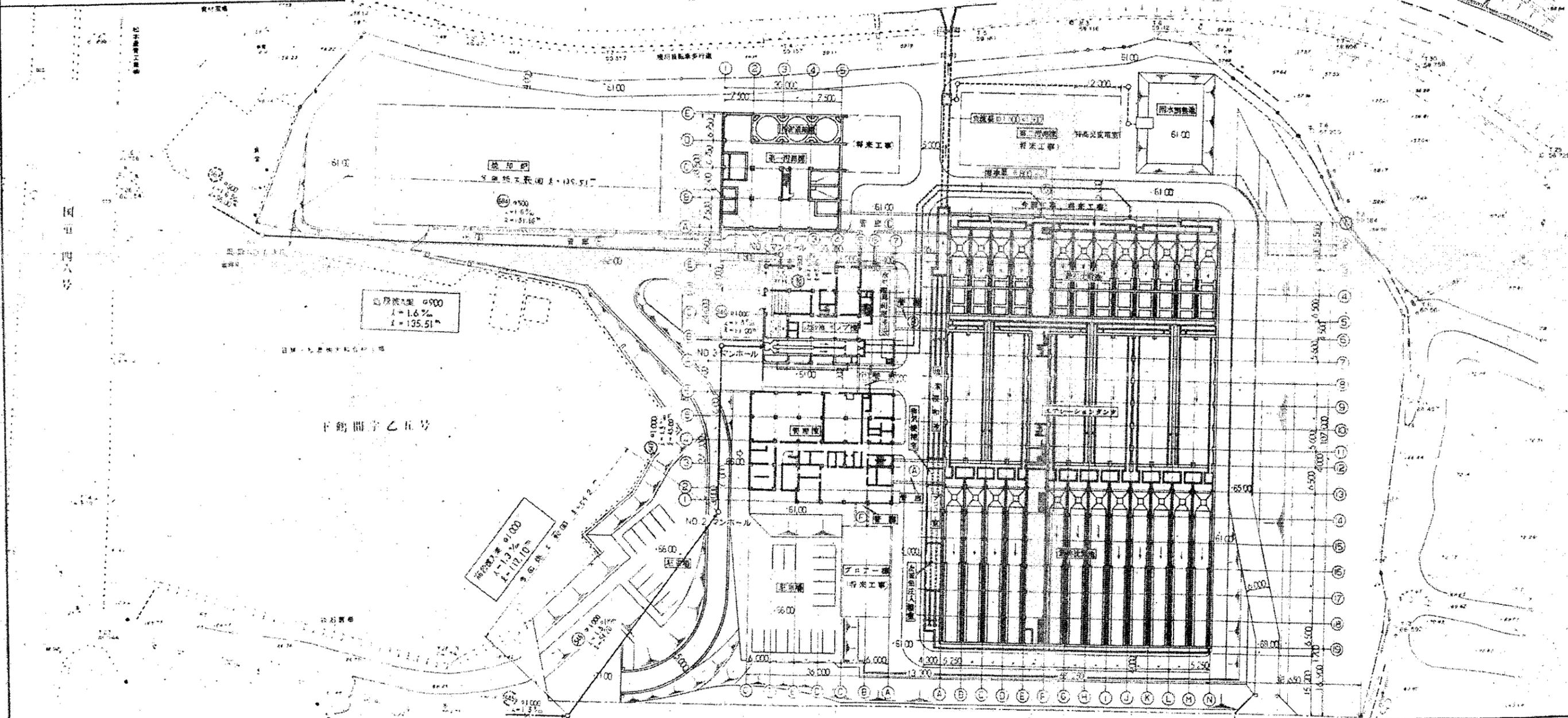
一般平面図

SCALE 1:500

横浜市
瀬谷区
目黒町



境川



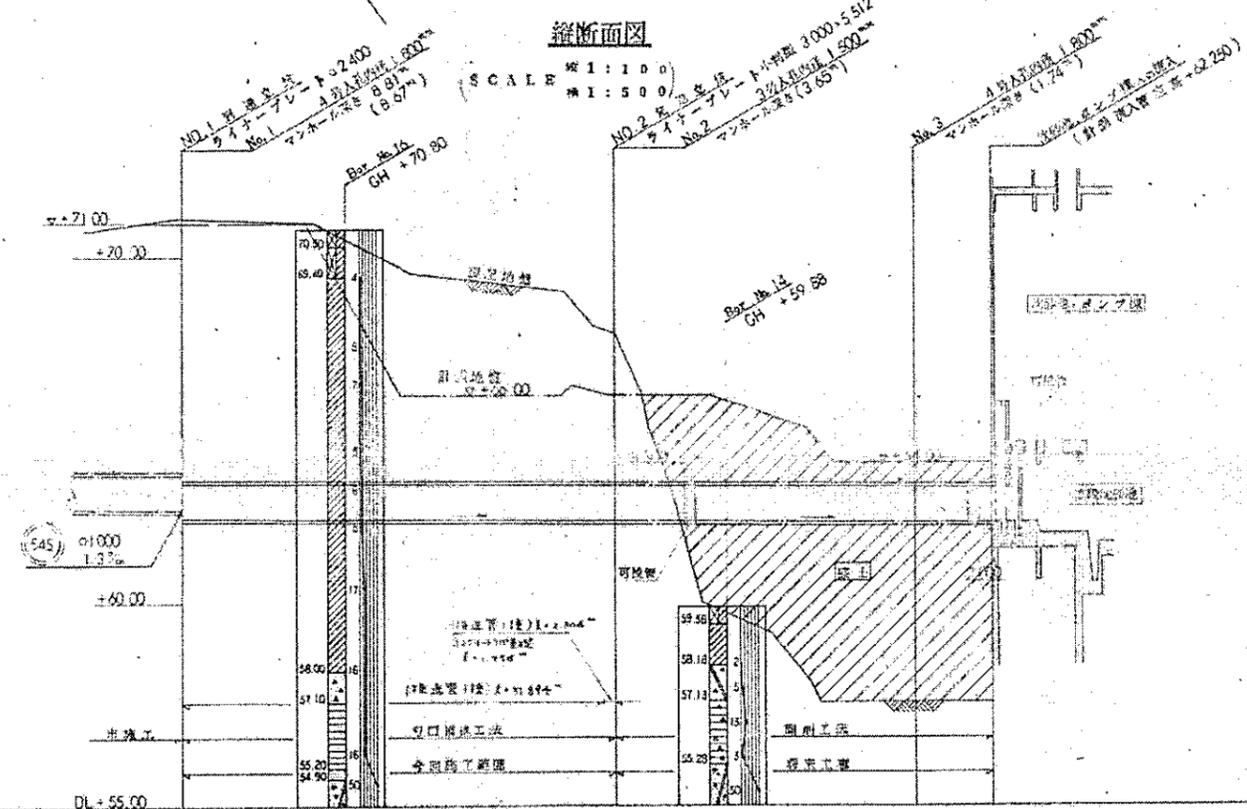
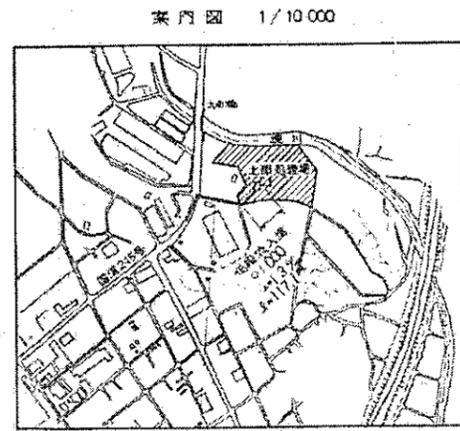
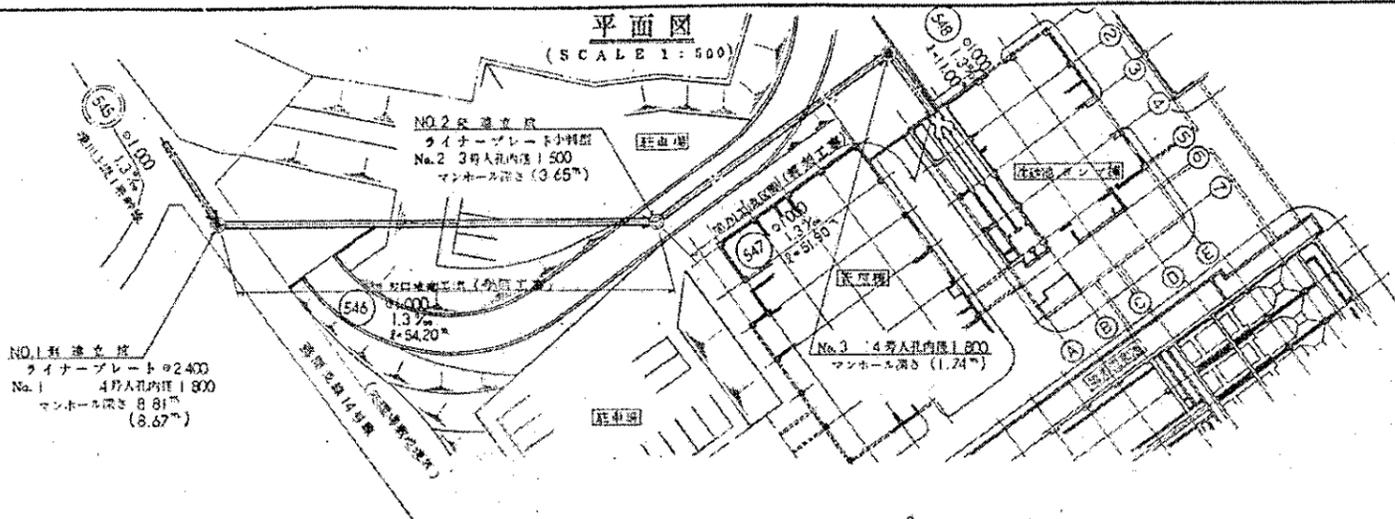
面積 9900
1 = 1.6%
1 = 135.51^m

面積 91000
1 = 1.2%
1 = 113.10^m

三水コンサルタント・洋洋社共同企業体

田中設計	田中建設	竹中英夫
------	------	------

工事名	大和市北部下水処理場 第三工区 (計画)	
図面名称	流入渠 平面図	縮尺 1/500
日本下水道事業団	大和市建設局	大和市建設局 建設部 下水道課
図面番号	S-01	



地川上段1号特設
 (545) φ1000
 1.3%

凡例

記号	名称
→	新設
→	計画
→	既設
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	特殊マンホール
○	公共側溝1.0m
○	公共側溝1.2m
○	公共側溝1.4m
○	公共側溝1.6m
□	雨水井
—	水道
—	雨水
—	電線
—	ガス
—	東電

注()内数字は計画地盤を考慮したものである。

管番号 管径 勾配	546 φ1000 1.3% 1.54.20	547 φ1000 1.3% 1.51.90	548 φ1000 1.3% 1.11.00
地盤高	71.25 (71.11)	67.88 (68.00)	58.12 (58.00)
土一様	7.30 (7.71) 7.57	2.53 (4.38) (2.57)	0.53 (0.55) (0.55)
管底高	62.68 62.44	62.37 62.35	62.28 62.26 62.25
追加距離	0.00	54.20	51.90
区間距離	0.00	54.20	117.10

三水コンサルタント・洋洋社共同企業体

主任技術者 田中 彰彦
 田中 彰彦 田中 彰彦 竹中英夫

工事名 大和市北部下水処理場

図面名称 高渠 流入渠平面図 縦断面図

日本下水道事業団 設計 大和建設 監理 大和建設 施工 大和建設

昭和 年 月 日

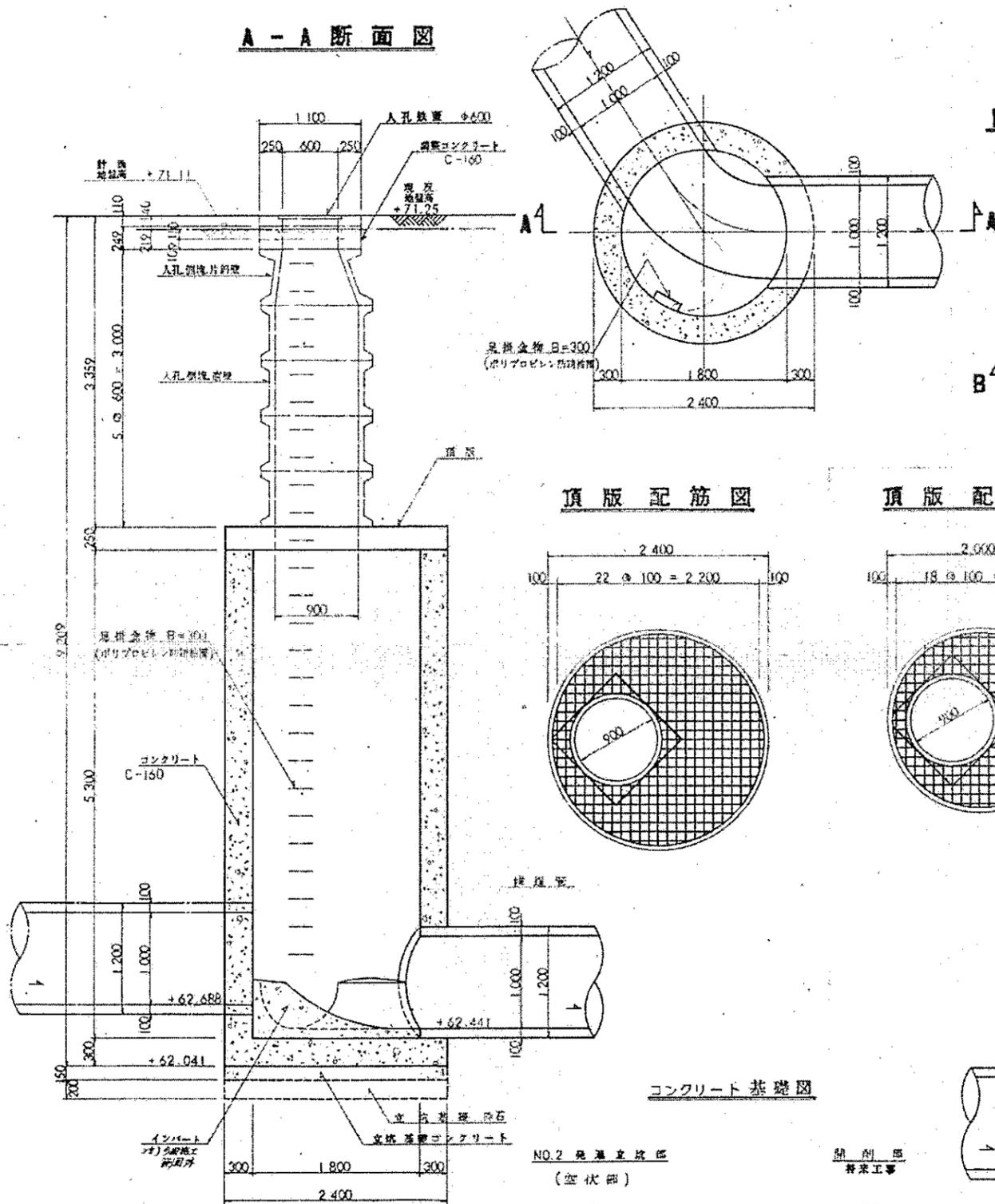
2

NO.1 4号マンホール(内径1800)構造図

縮尺 1/30

水平断面図

A-A断面図

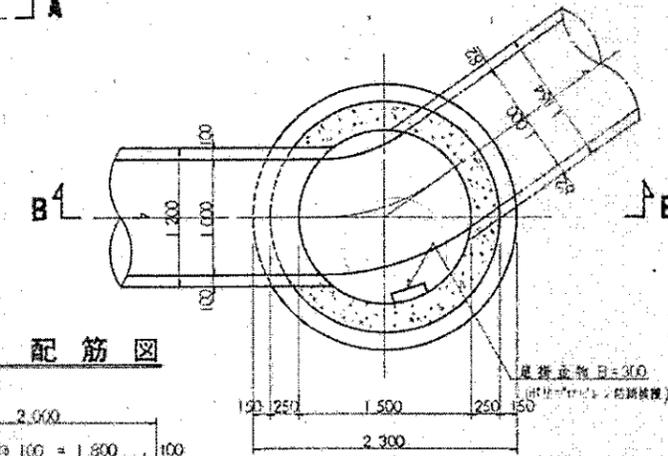


NO.2 3号マンホール(内径1500)構造図

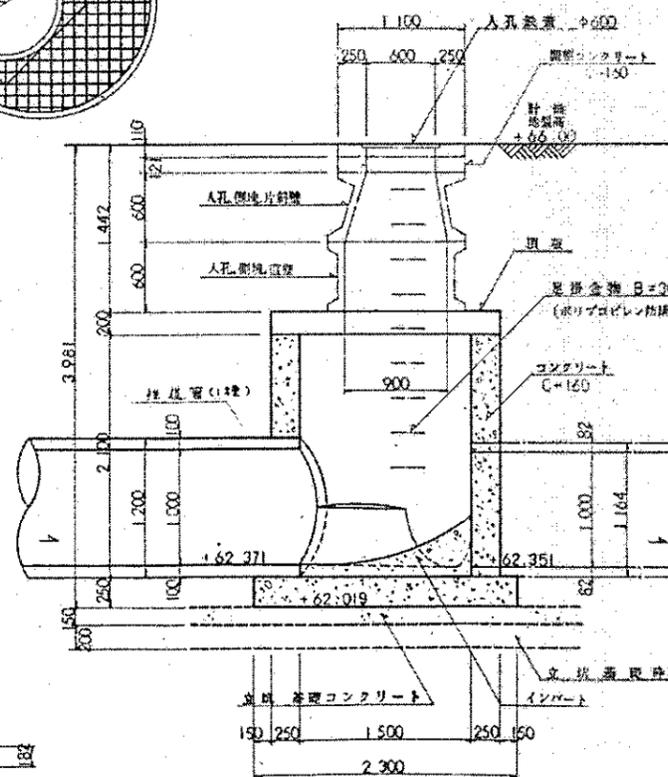
縮尺 1/30

水平断面図

頂版配筋図



B-B断面図

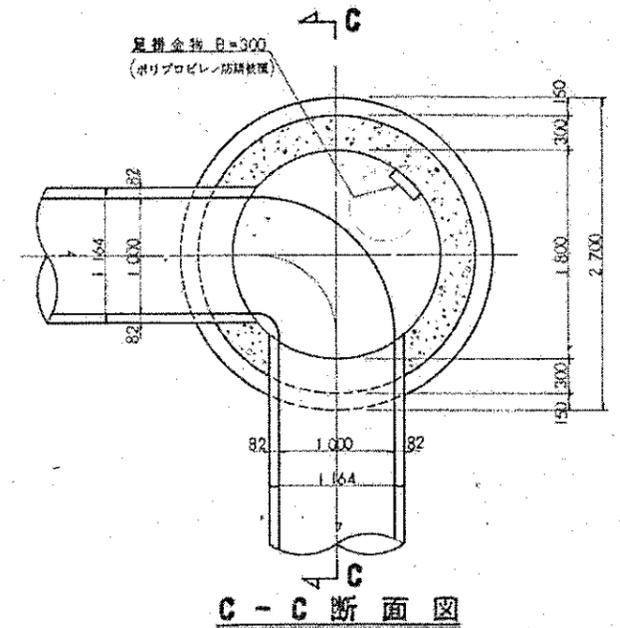


NO.3 4号マンホール(内径1800)構造図

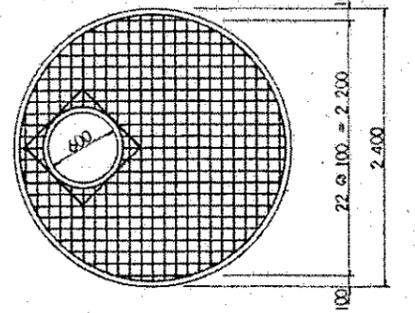
(特殊工事)

縮尺 1/30

水平断面図



頂版配筋図



三水コンサルタント・洋行社共同企業体

主任技術者	担当者	審査者
田中 稔彦	田中 稔彦	竹中英夫

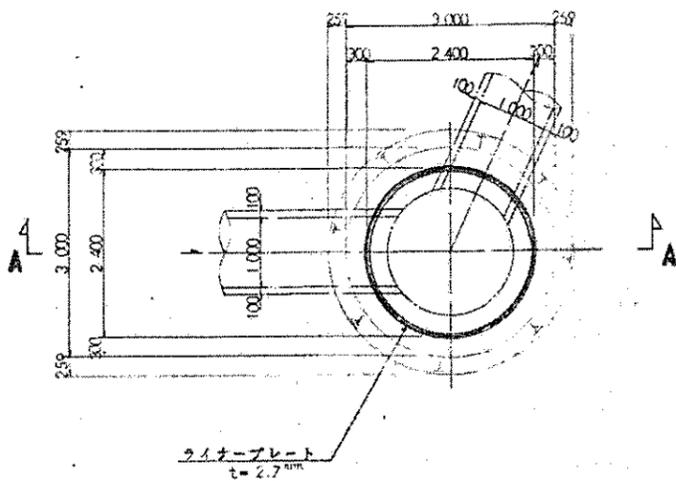
工事名	大和市北部下水処理場		
図面名称	高級流入渠 NO.1, 2, 3 人孔構造図	縮尺	1/30
日本下水道事業団	支社	法務	課長
昭和 年 月			3

⑤ NO.1, 2, 3 人孔は上流側から下流側へ順に設置する。1. 進行方向より左側をA-SPPHATS.

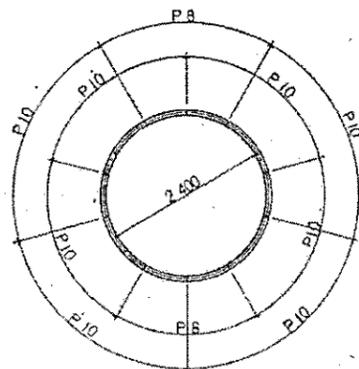
NO.1到達立坑構造図

(SCALE 1:50)

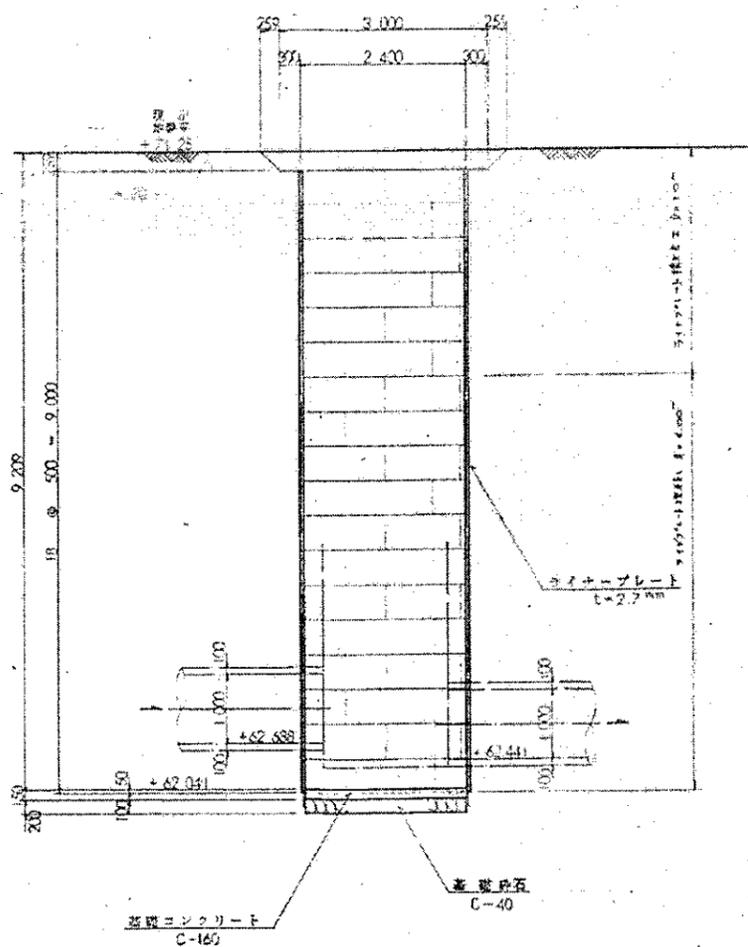
平面図



セクション構成図



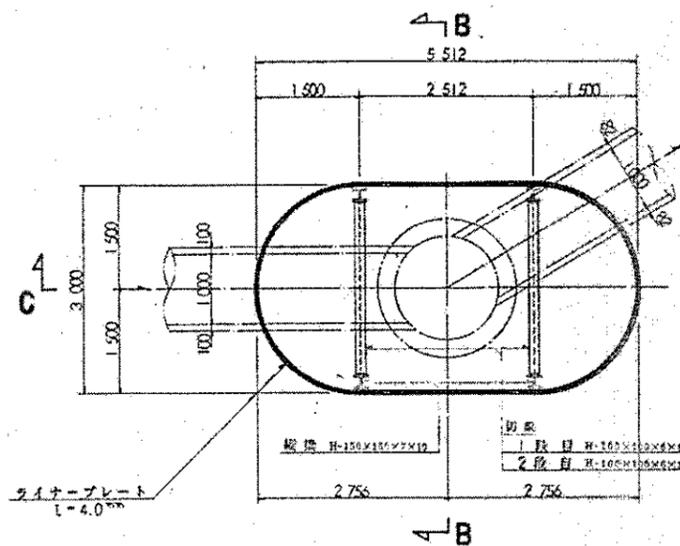
A-A断面図



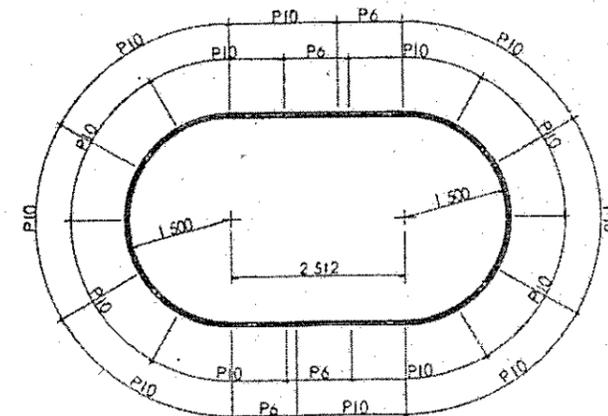
NO.2発進立坑構造図

(SCALE 1:50)

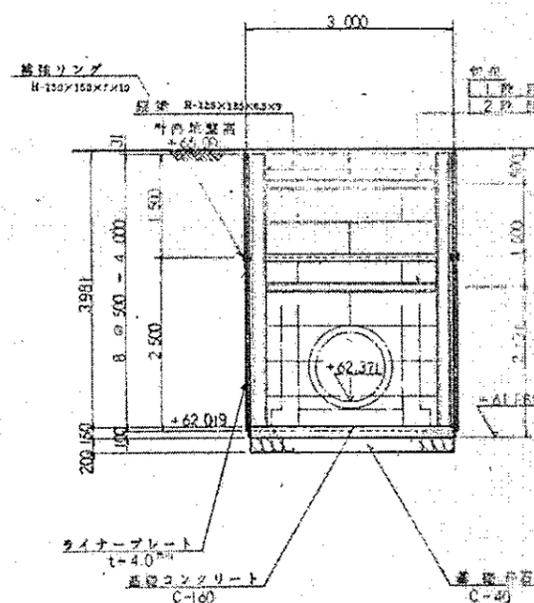
平面図



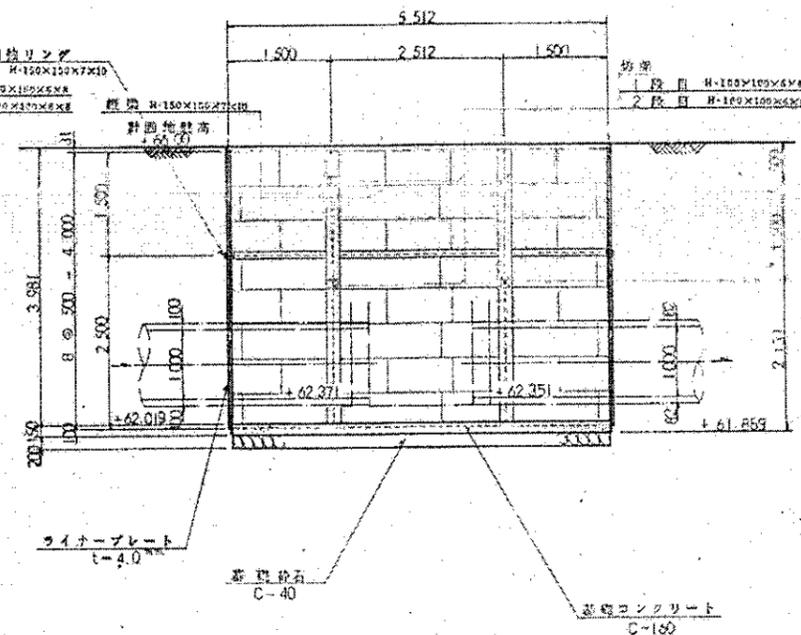
セクション構成図



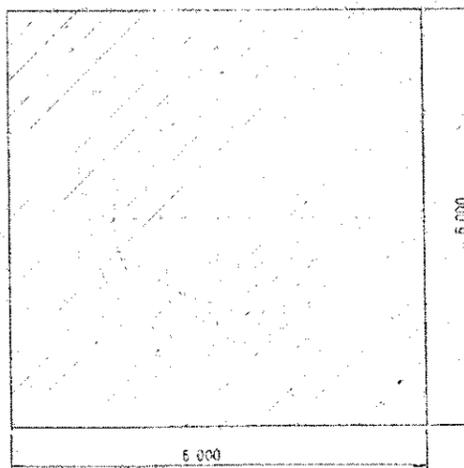
B-B断面図



C-C断面図



NO.1到達立坑 舗装復旧範囲図



舗装復旧構成図

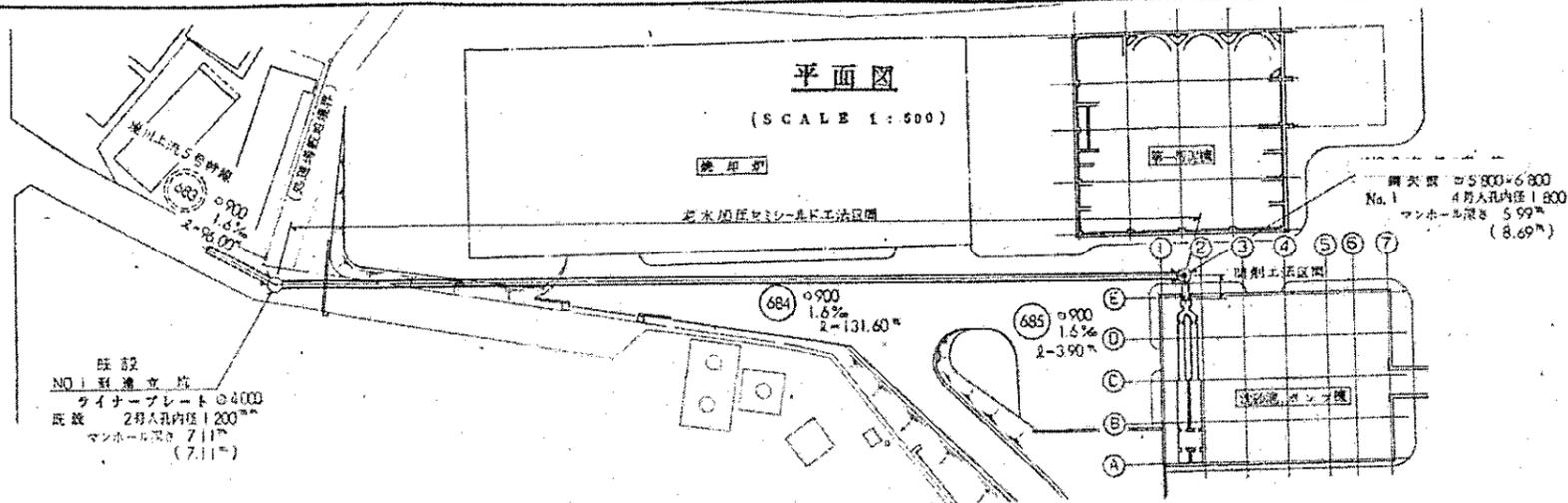


三水コンサルタント・洋洋社共同企業体

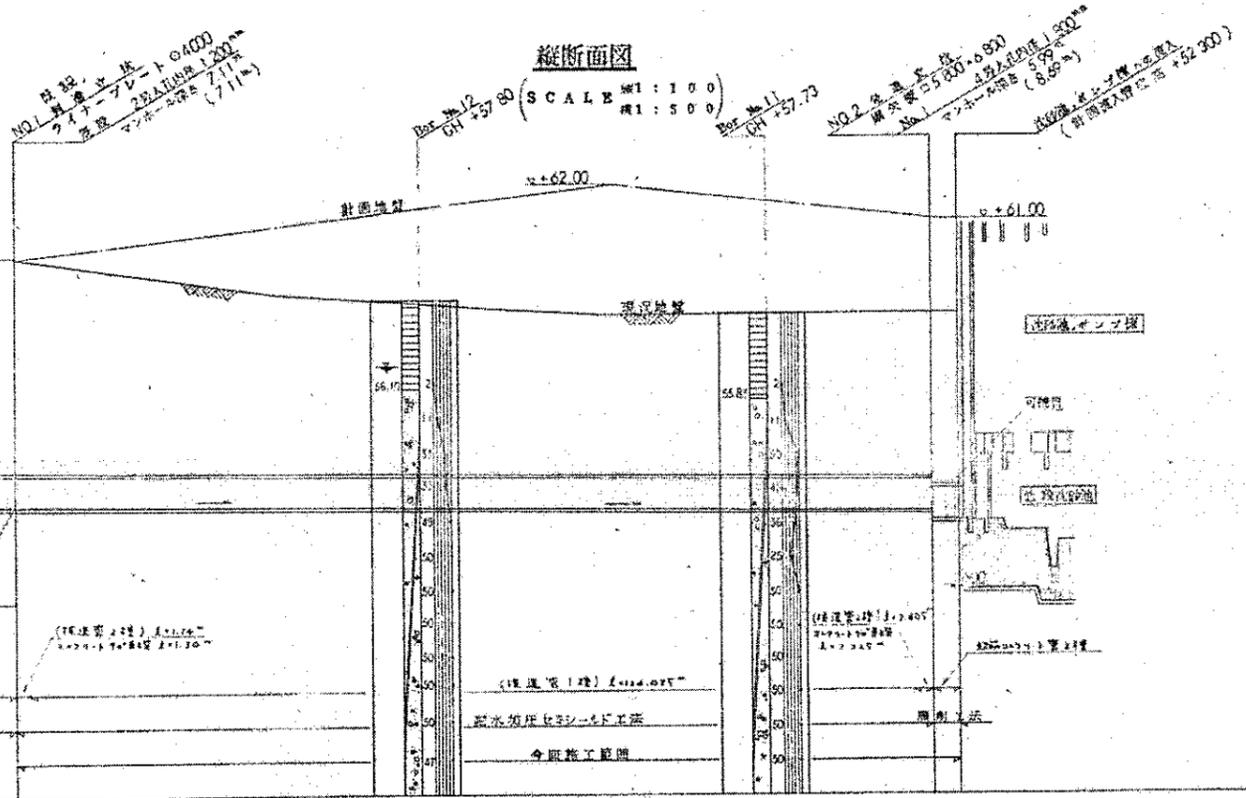
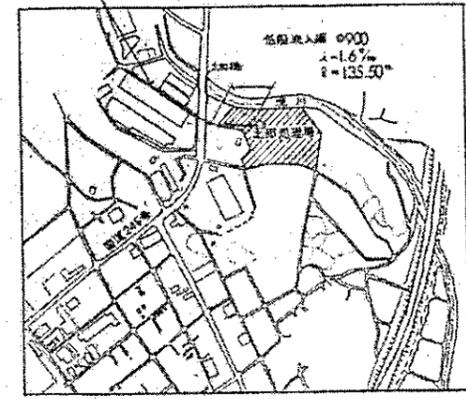
主任技術者	田中 毅彦	田中 毅彦	田中 毅彦
図中製図	田中 毅彦	竹中英夫	田中 毅彦

工事名	大和市北部下水道処理場建設工事(第1回改修)		
図面名称	No.1到達立坑構造図, No.2発進立坑構造図 縮尺 1/50		
日本下水道事業団	設計	監理	4

国道二四六号



地味上段5号管線
 管径 900
 勾配 1.6% L=96.0' 管内図 1/10,000



凡例

記号	名称
→	新設
→	計画
→	既設
○	1号マンホール
○	2号マンホール
○	3号マンホール
○	4号マンホール
○	5号マンホール
○	特殊マンホール
○	公共溝深0.8m
○	公共溝深1.0m
○	公共溝深1.2m
○	公共溝深1.4m
○	公共溝深1.6m
○	雨水側
○	水運
○	雨水
○	電々
○	ガス
○	東電

注 ()内数字は計議地盤を考慮したものである。

管番号	管径	勾配	地盤高	土被	管底高	追加距離	区間距離
684	900	1.6% L=131.60	57.80 (56.80)	6.12 (6.12)	52.792	0.00	0.00
685	900	1.6% L=3.90	58.00 (61.00)	7.49 (7.49)	52.51 52.306	0.00	131.60
			58.00 (61.00)	5.93 (7.72)	52.300	0.00	3.90

三水コンサルタント・洋洋社共同企業体

主任技術者 田中 稔彦
 担当 田中 稔彦
 監査 竹中英夫

工事名 大和市北部下水道処理場

図面名称 低段流入渠平面図 縦断面図

日本下水道事業団

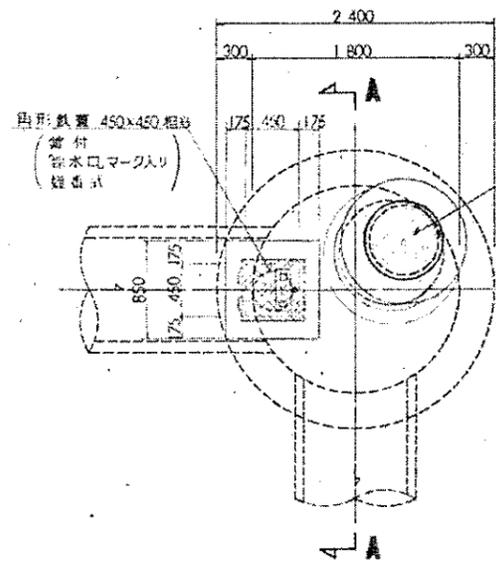
昭和 年 月

5

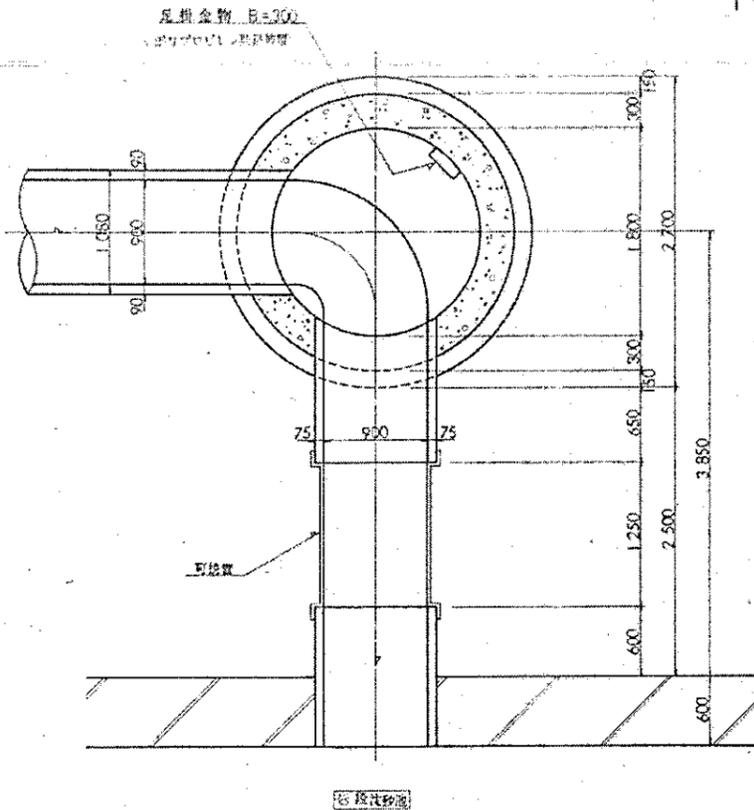
No.1 4号マンホール(内径1800)構造図

縮尺 1/30

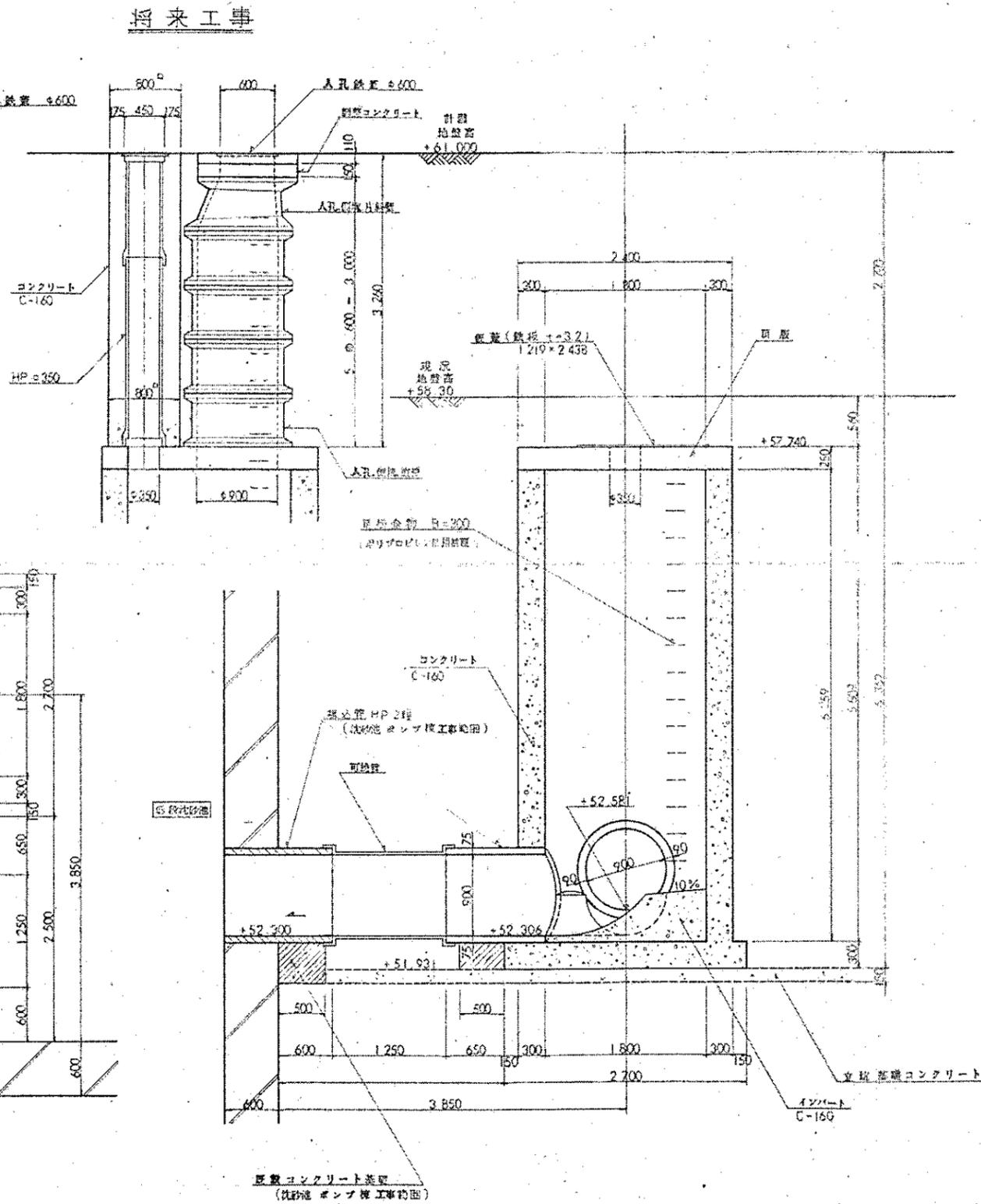
平面図



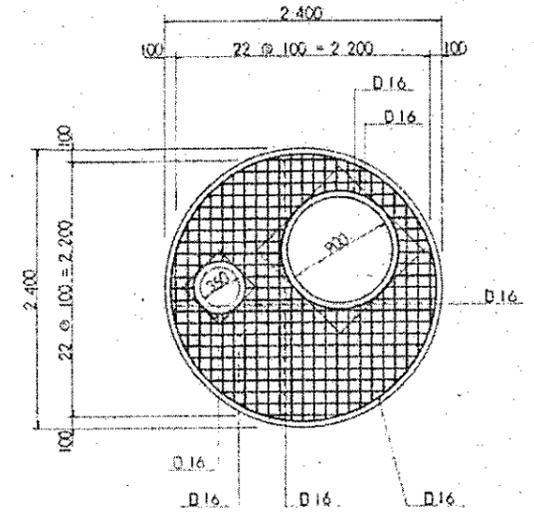
水平断面図



A-A断面図

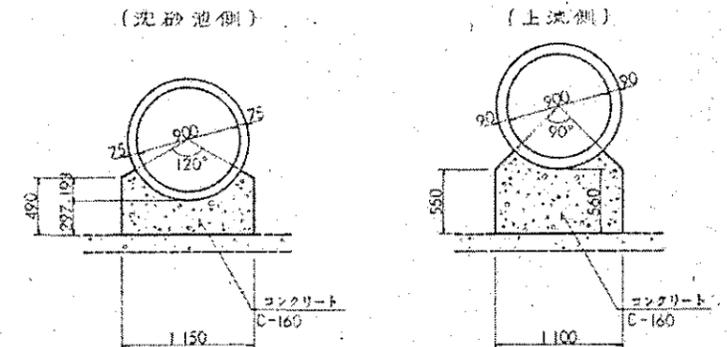


頂版配筋図



コンクリート基礎図

(空伏)



三水コンサルタント・洋洋社共同企業体

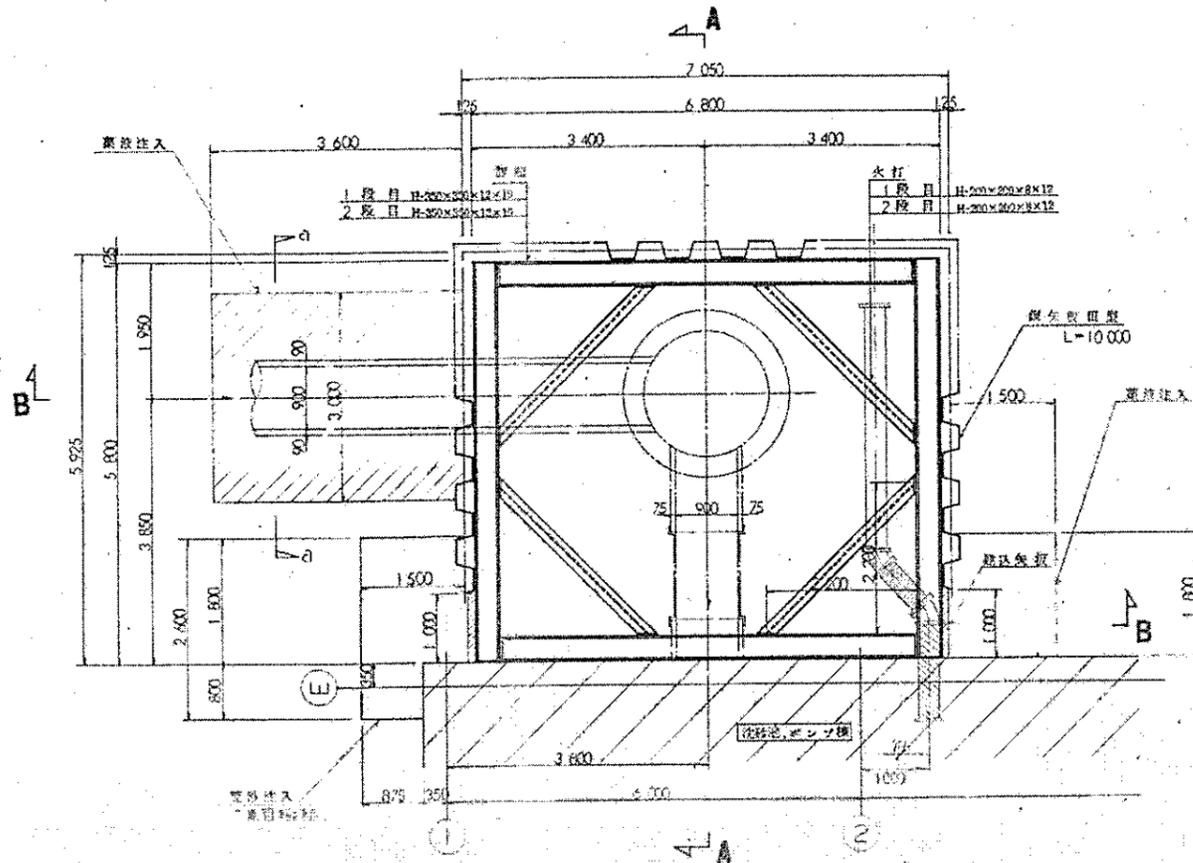
主任技術者	田中 稔	監査	田中 稔
技術者	田中 稔	技術者	竹中英夫

工事名	大和市北部下水処理場		
図面名称	低段流入渠 No.1 入孔基礎図	縮尺	1/30
日本下水道事業団	設計	監査	6
昭和 年 月			

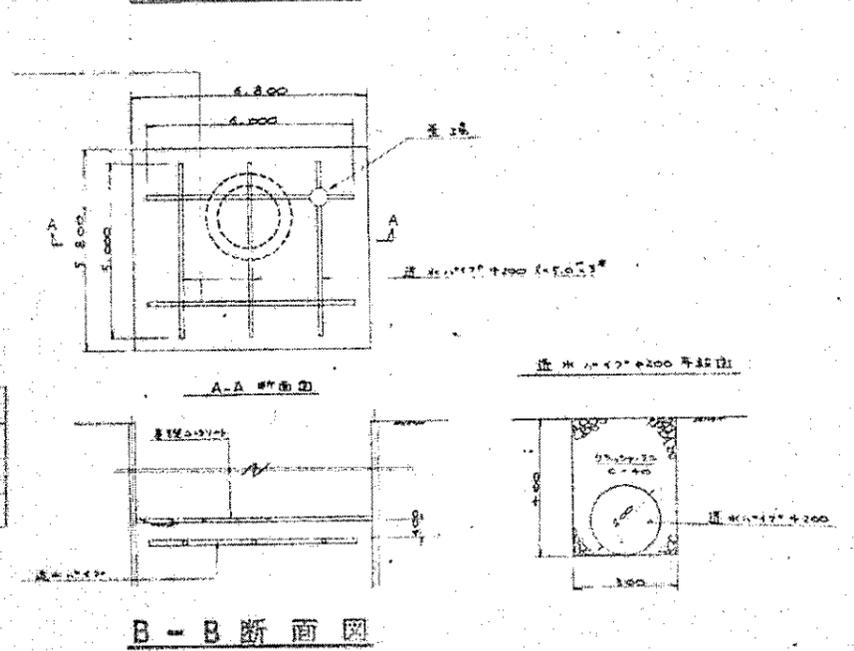
NO.2 発進立坑構造図

(SCALE 1:50)

平面図



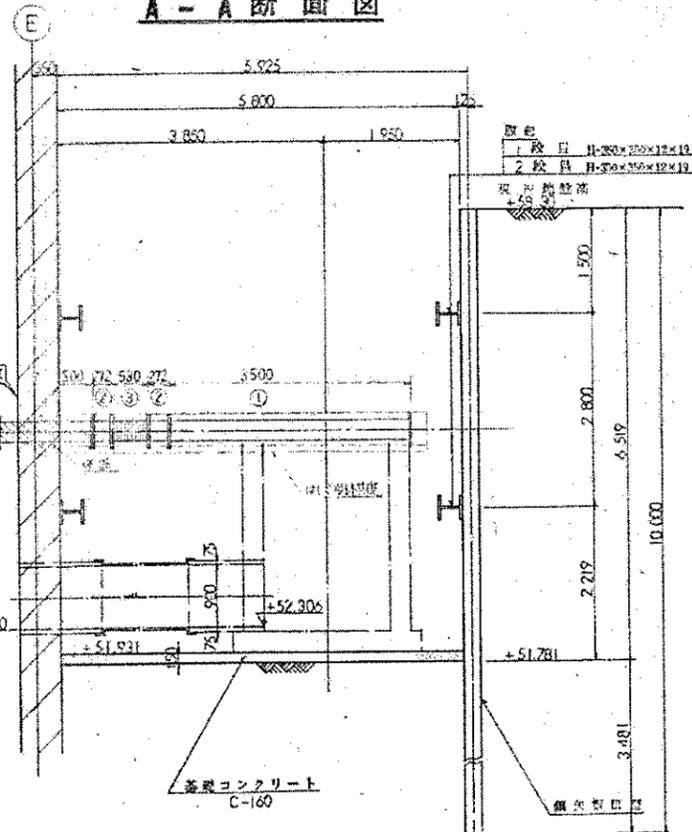
進水パイプ接続図 0.5/100



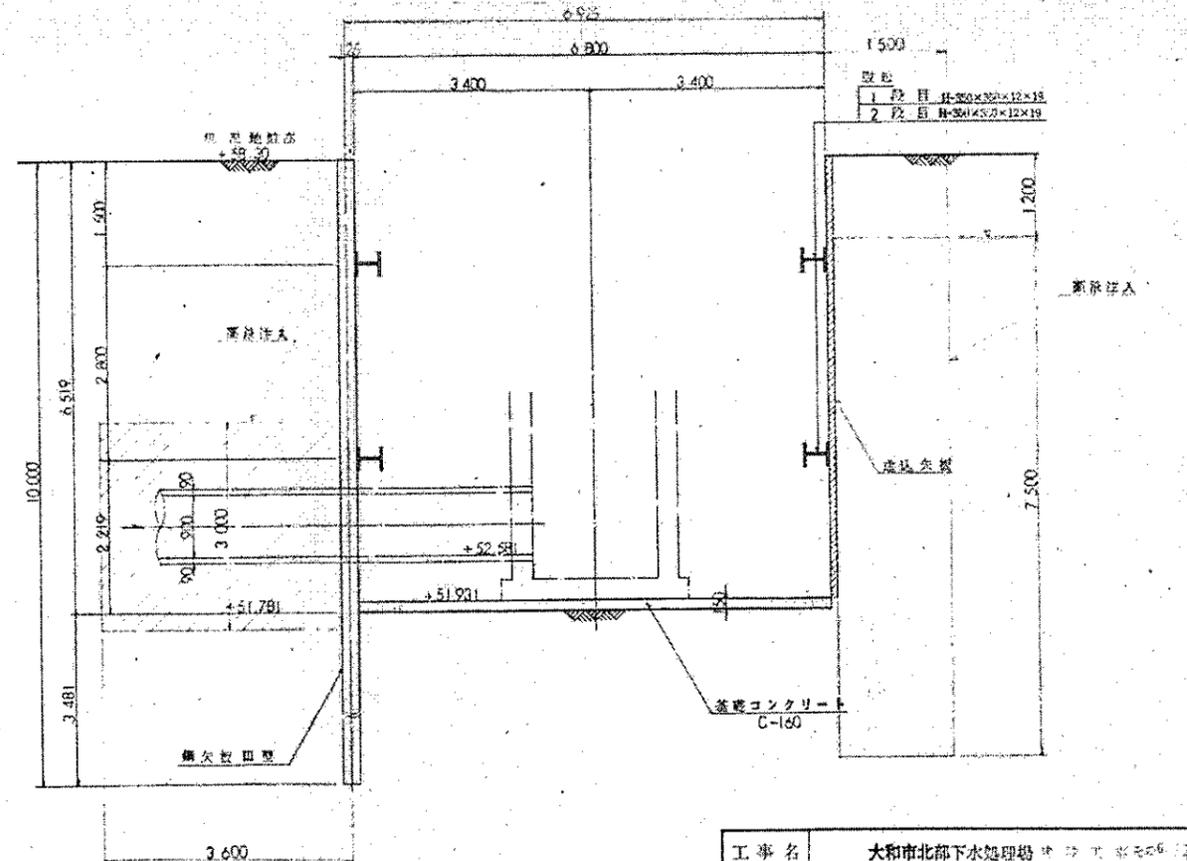
一覧表

番号	名称	仕様	材質	数量
①	前フランジ接管	φ250	SUS 304 sch20	3500×1
②	45°曲管			
③	フランジ調整器	φ20		750×1

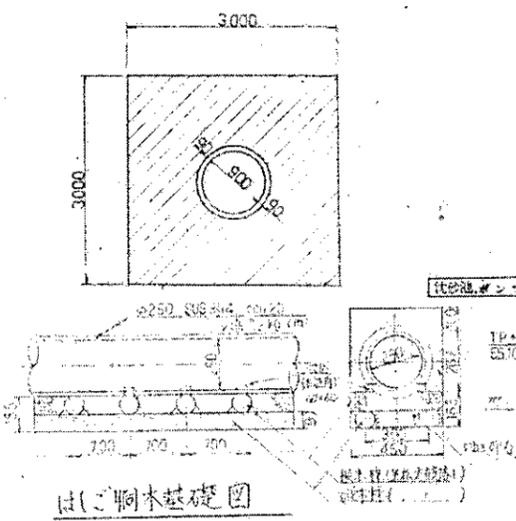
A-A 断面図



B-B 断面図



0.5/100 断面図



三水コンサルタント・洋野社共同企業体

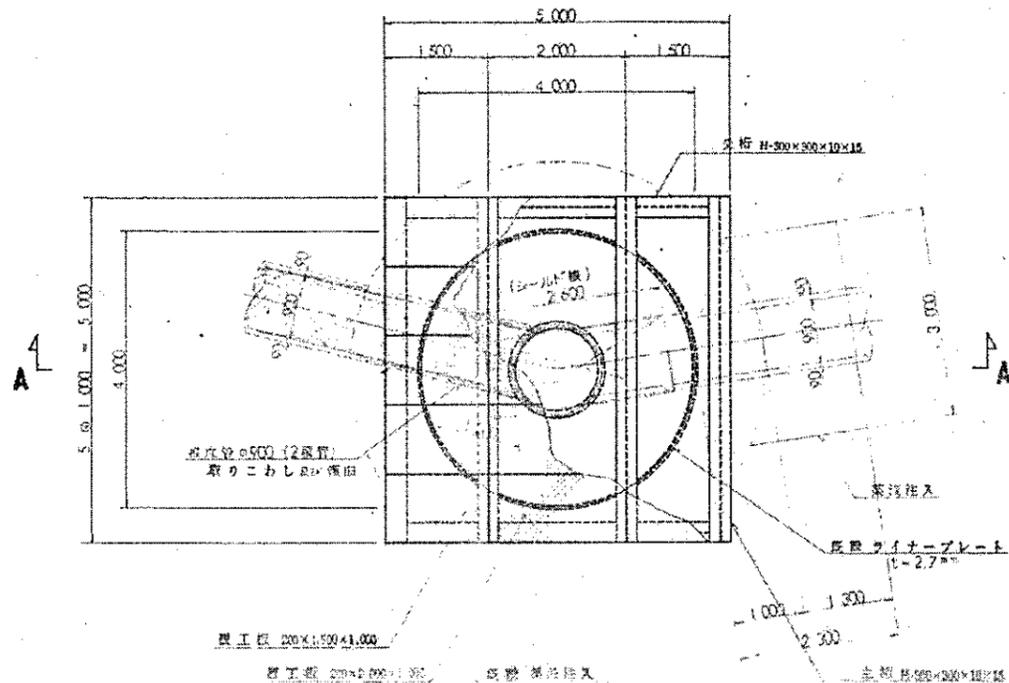
主任技術者 田中 稔彦 監査者 田中 稔彦 監査者 竹中英典

工事名	大和市北部下水処理場 中継工 第1号 (新設)				
図面名称	高液注入 NO.2 発進立坑構造図 入札工図 縮尺 1/50				
日本下水道事業団	大和	北	水	第1	第1
期	年	月	日	日	日
7					

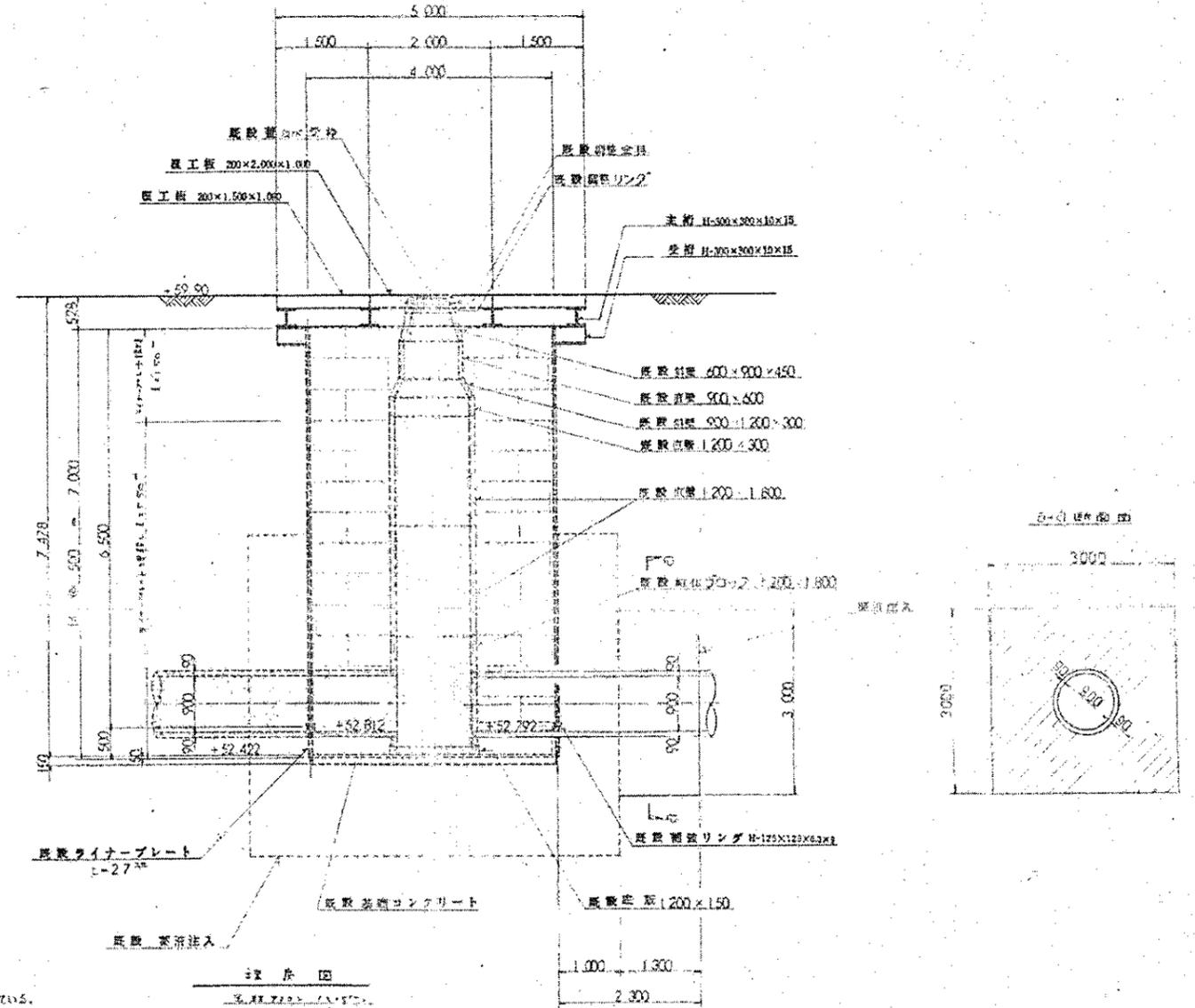
NO.1 到達立坑構造図

(SCALE 1:50)

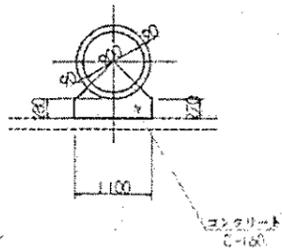
平面図



A-A断面図



コンクリート基礎図



- 注) 基礎ライナープレートは1段当りP-10が8枚を構成する。
1. 黄色の管がスリットに設置され、緑色の管がスリットに設置される。
 2. モールド板は出線入孔にのみ取り付けられ、留め釘は不要。

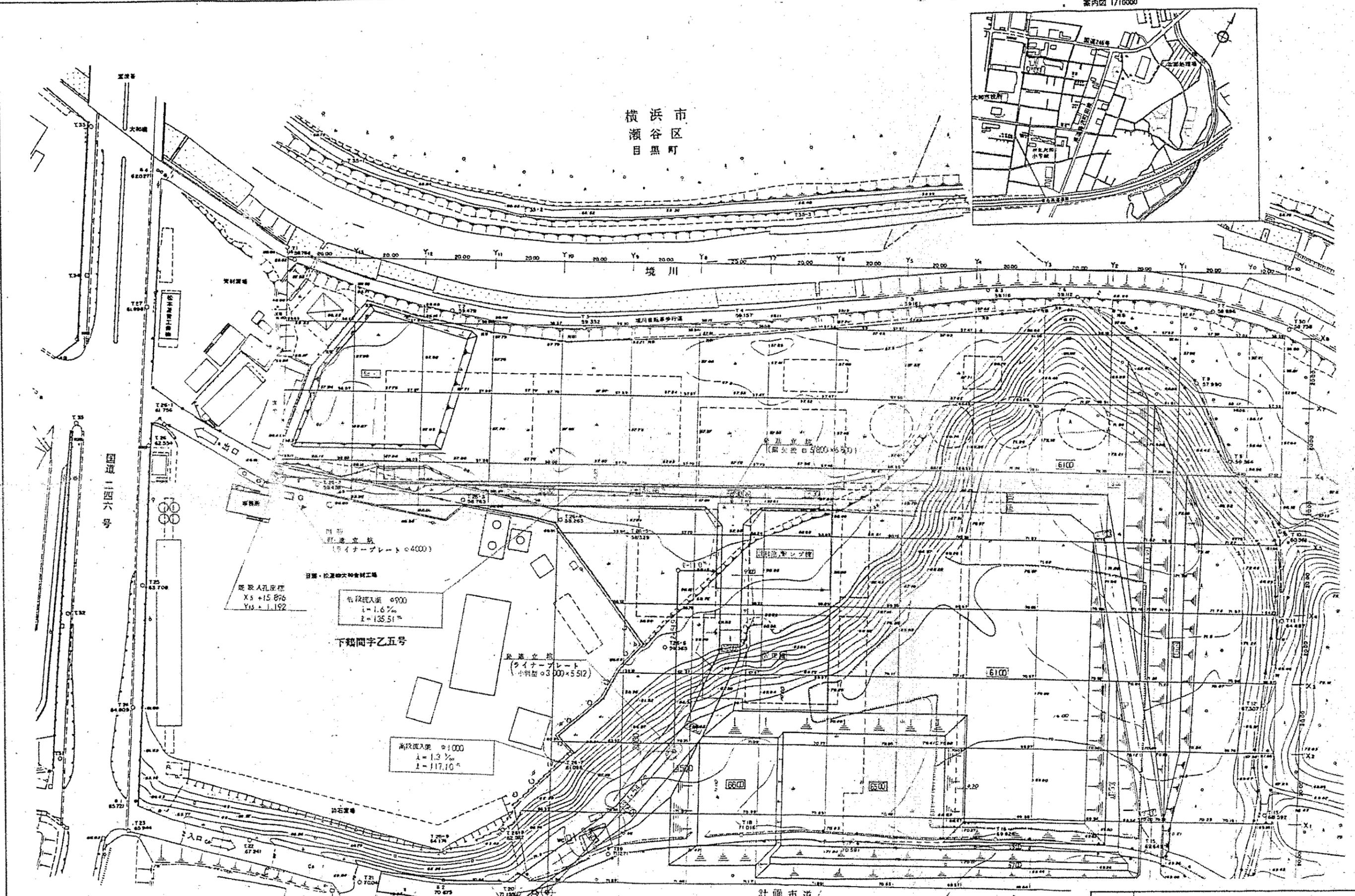
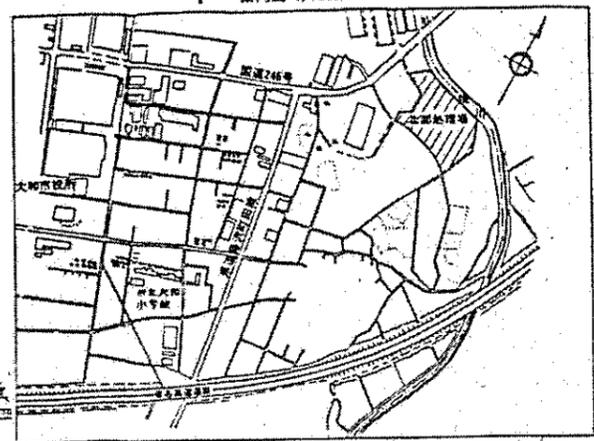


三水コンサルタント・洋行共同企業体

主任技師	田中 隆彦	技師	竹中英典
------	-------	----	------

工事名	大和市北部下水処理場		
図面名称	低圧送水 NO.1 到達立坑構造図	縮尺	1/50
日本下水道事業団	大和市	大和市北部下水処理場	図面番号
昭和 年 月			8

横浜市
瀬谷区
目黒町



三水コンサルタント・洋行共同企業体

主任技術者	担当者	表
田中 義彦	田中 毅彦	竹中英夫

工事名	大和市北部下水処理場	
図面名称	流入渠 平面図 (参考図)	縮尺 1/500
日本下水道事業団	設計者	図面番号
昭和 年 月	設計者	9

大和地区部下水処理場建設工事その16

工事完成図

(縮小版)

平成4年度

日本下水道事業団

戸田・奈良建設共同企業体

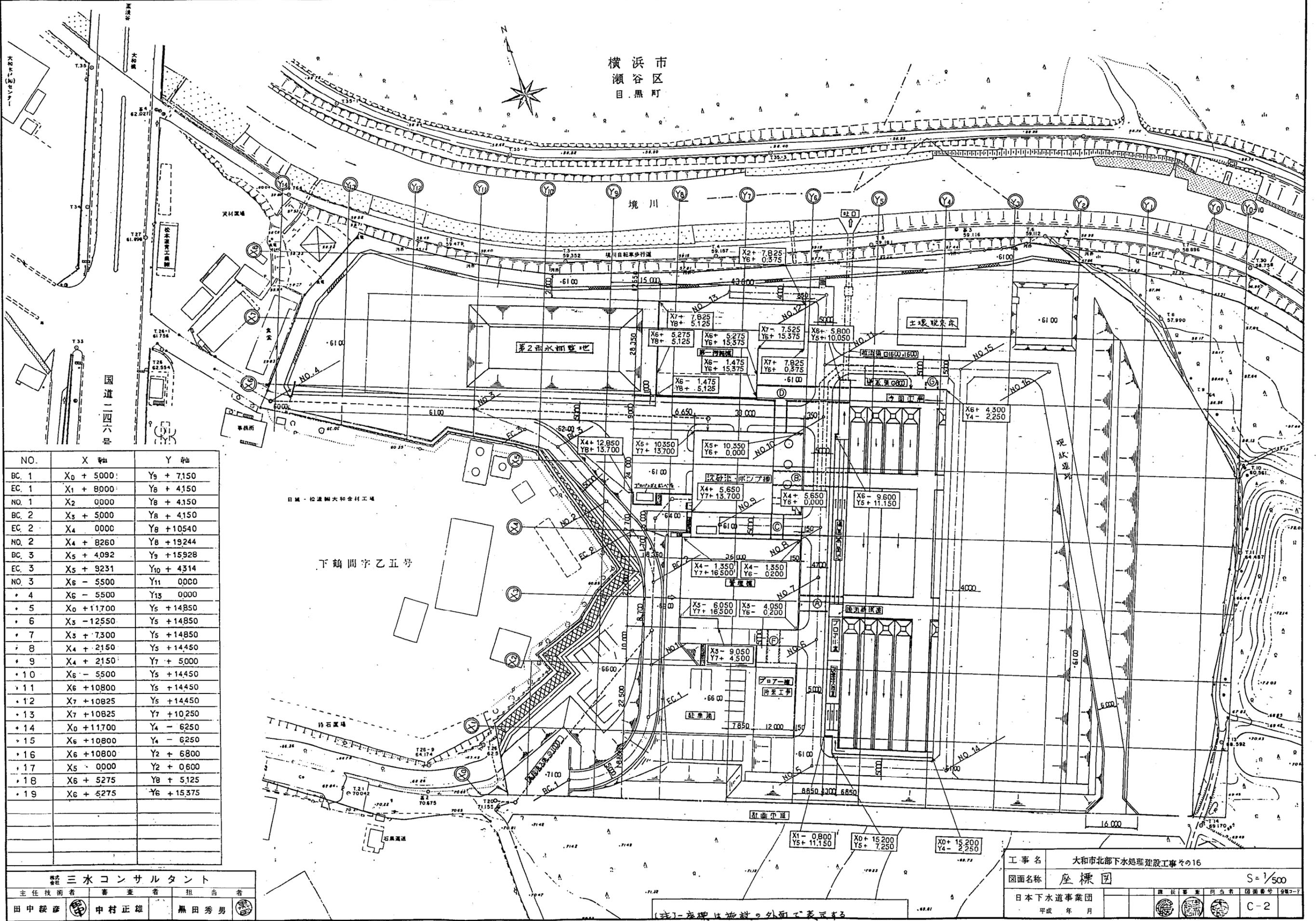
大和市北部下水処理場建設工事その16

完成図

平成5年3月

日本下水道事業団
戸田・奈良建設共同企業体

横浜市
瀬谷区
目黒町



NO.	X 軸	Y 軸
BC. 1	X ₀ + 5000	Y ₉ + 7150
EC. 1	X ₁ + 8000	Y ₈ + 4150
NO. 1	X ₂ 0000	Y ₈ + 4150
BC. 2	X ₃ + 5000	Y ₈ + 4150
EC. 2	X ₄ 0000	Y ₈ + 10540
NO. 2	X ₄ + 8260	Y ₈ + 19244
BC. 3	X ₅ + 4092	Y ₉ + 15928
EC. 3	X ₅ + 9231	Y ₁₀ + 4314
NO. 3	X ₆ - 5500	Y ₁₁ 0000
・ 4	X ₆ - 5500	Y ₁₃ 0000
・ 5	X ₀ + 11700	Y ₅ + 14850
・ 6	X ₃ - 12550	Y ₅ + 14850
・ 7	X ₃ + 7300	Y ₅ + 14850
・ 8	X ₄ + 2150	Y ₅ + 14450
・ 9	X ₄ + 2150	Y ₇ + 5000
・ 10	X ₆ - 5500	Y ₅ + 14450
・ 11	X ₆ + 10800	Y ₅ + 14450
・ 12	X ₇ + 10825	Y ₅ + 14450
・ 13	X ₇ + 10825	Y ₇ + 10250
・ 14	X ₀ + 11700	Y ₄ - 6250
・ 15	X ₆ + 10800	Y ₄ - 6250
・ 16	X ₆ + 10800	Y ₂ + 6800
・ 17	X ₅ - 0900	Y ₂ + 0600
・ 18	X ₆ + 5275	Y ₈ + 5125
・ 19	X ₆ + 5275	Y ₆ + 15375

日経・松浦大和合資工機

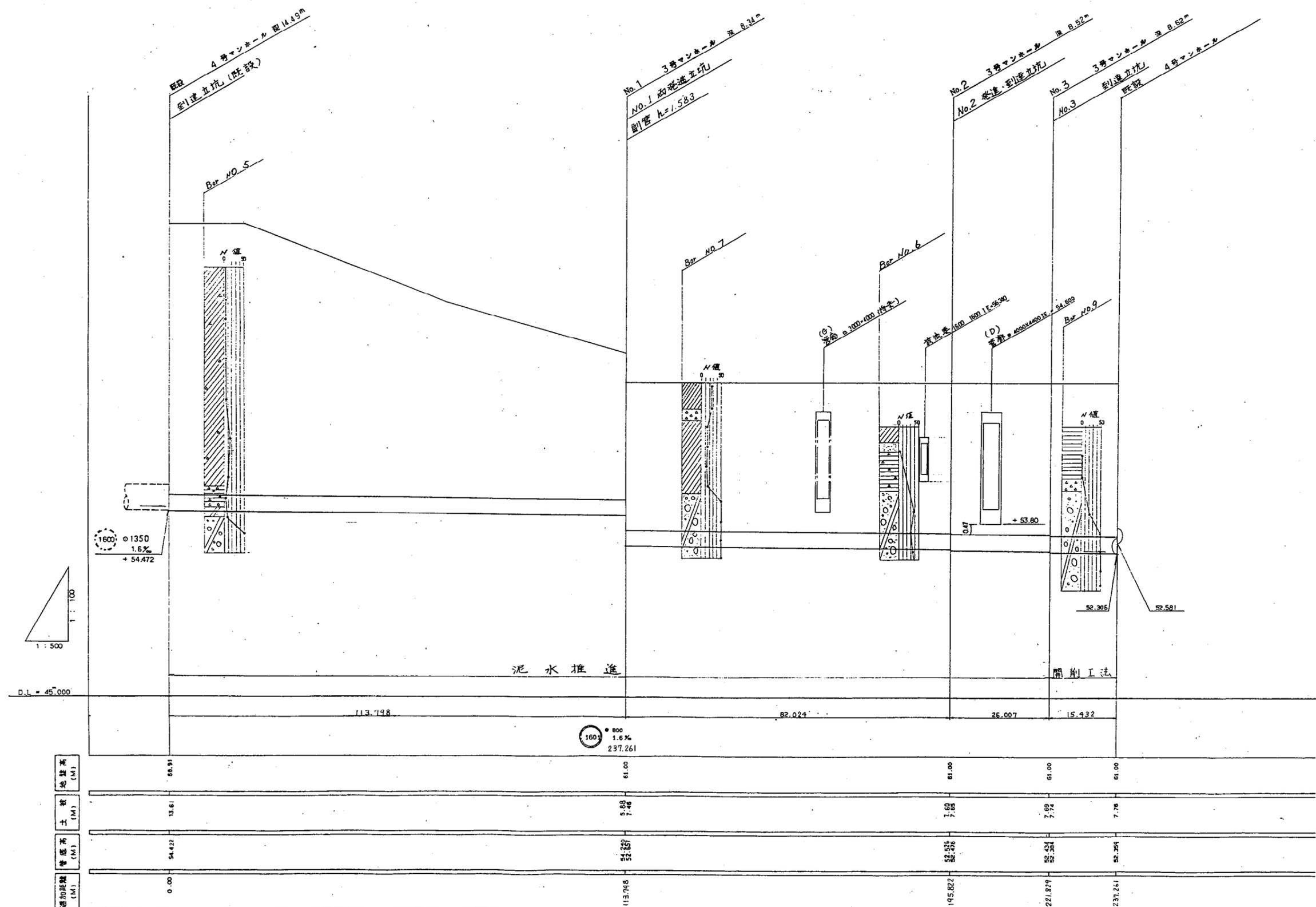
下鶴間字乙五号

三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	中村 正雄	黒田 秀男

工事名	大和市北部下水処理建設工事の16		
図面名称	座標図	S=1/500	
日本下水道事業団	建設事業担当者	図面番号	92-1
平成 年 月		C-2	

[注] 座標は施設の外面で表示する

流入渠縦断面図 縮尺 横1:500 縦1:100



地盤高 (M)
 管底高 (M)
 埋設深 (M)
 埋設高 (M)

地盤高 (M)	68.91	61.00	61.00	61.00	61.00
管底高 (M)	54.422	52.425	52.426	52.384	52.359
埋設深 (M)	13.61	7.88	7.68	7.69	7.76
埋設高 (M)	0.00	9.041	145.822	221.819	237.241

三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	中村 正雄	黒田 秀男

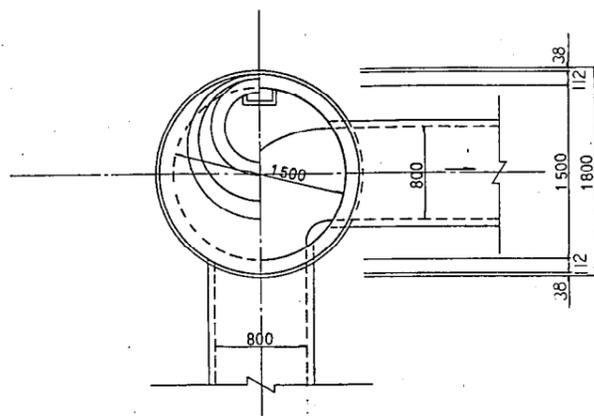
工事名	大和市北部下水道処理場建設工事の16		
図面名称	流入渠縦断面図	縮尺	横1:500 縦1:100
日本下水道事業団	平成 年 月	図面番号	C-3

3号人孔(組立マンホール内径1500mm円形)構造標準図 S=1/30

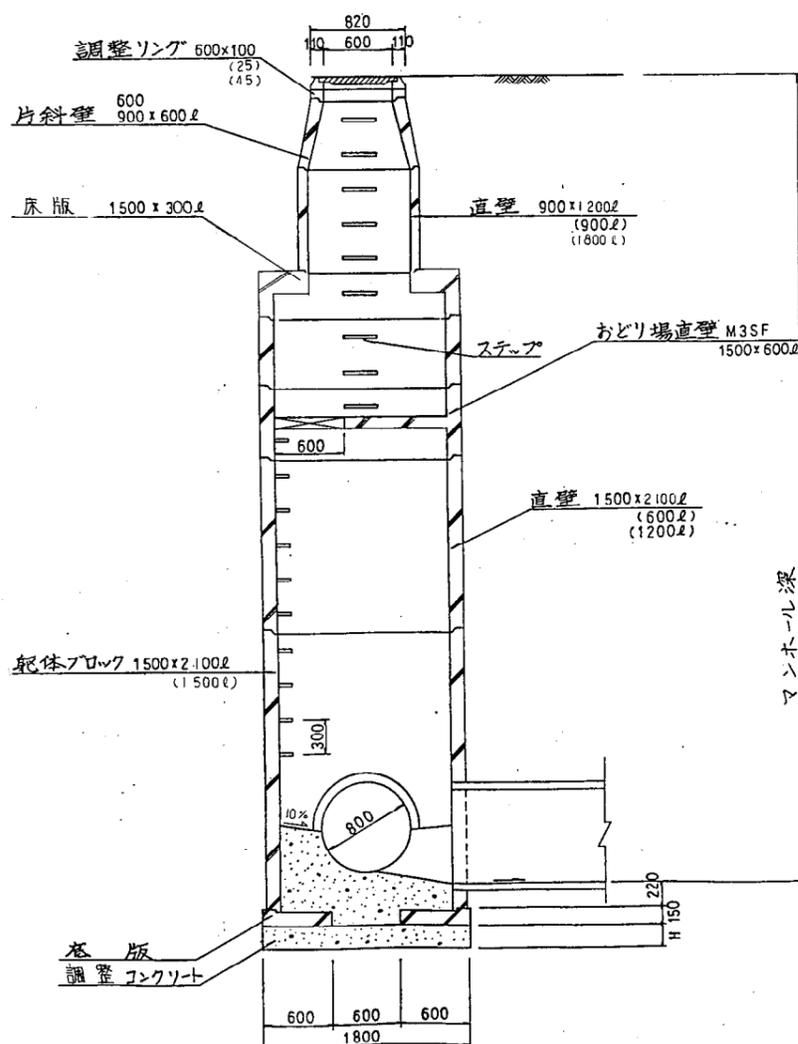
3号人孔(組立マンホール)寸法表

マンホール NO.	流入管 管底高	流出管 管底高	地盤 高	マンホール深	副 管高
	D				
	D				
	m				
NO. 1	54.240	52.657	61.00	8.34	1.58
NO. 2	52.526	52.476	61.00	8.52	-
NO. 3	52.434	52.384	61.00	8.62	-

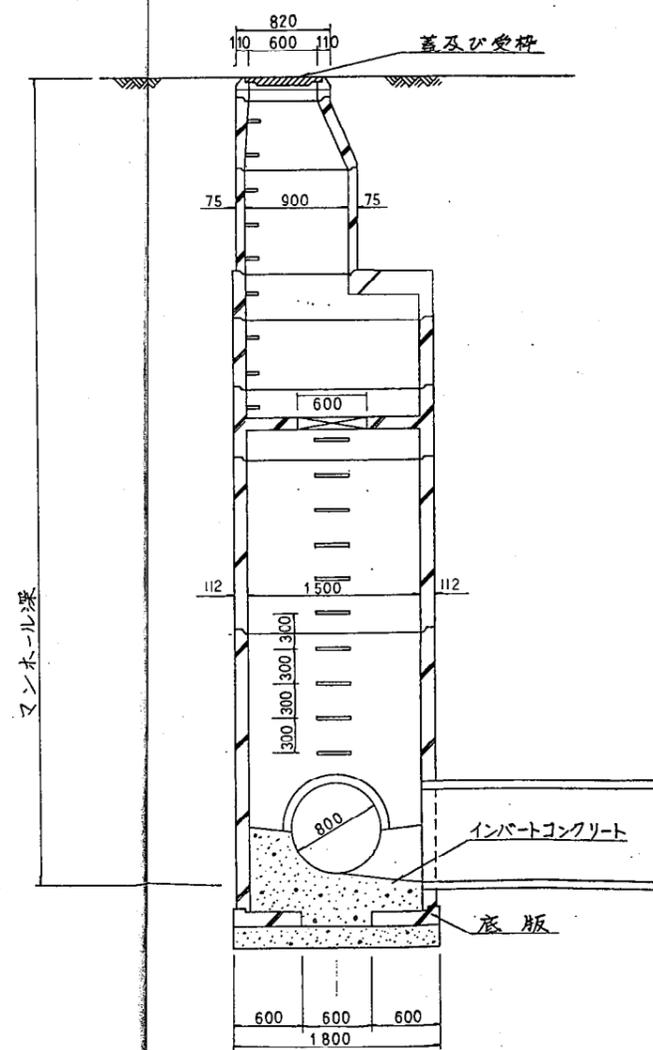
平面図



縦断面図



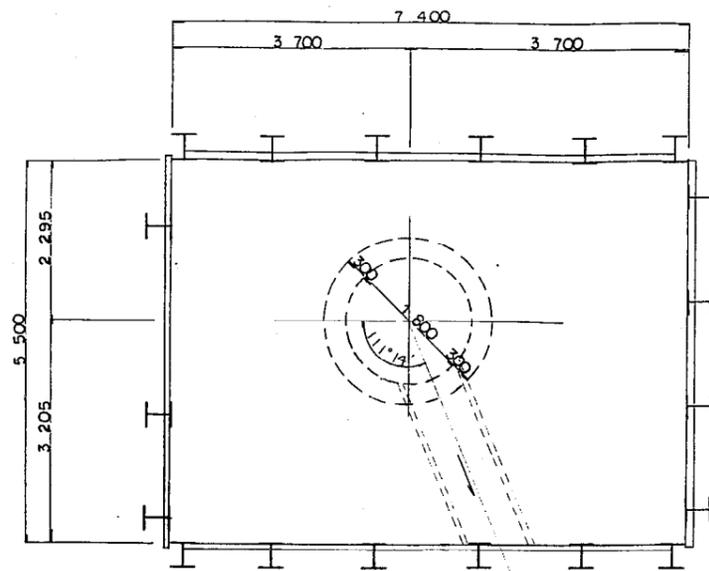
横断面図



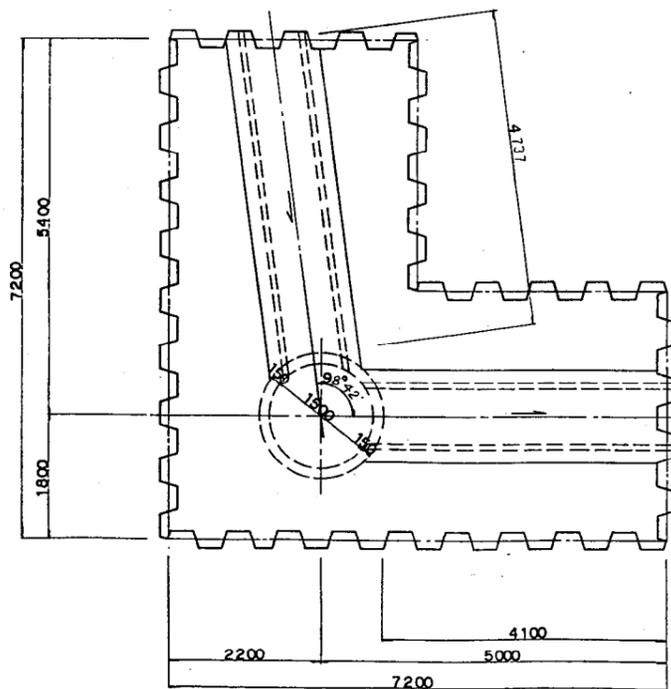
株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	中村 正雄	黒田 秀男

工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	3号人孔(組立マンホール)構造標準図	S=1/30	
日本下水道事業団	設計	監査	担当者
平成 年 月			C-4

既設立坑

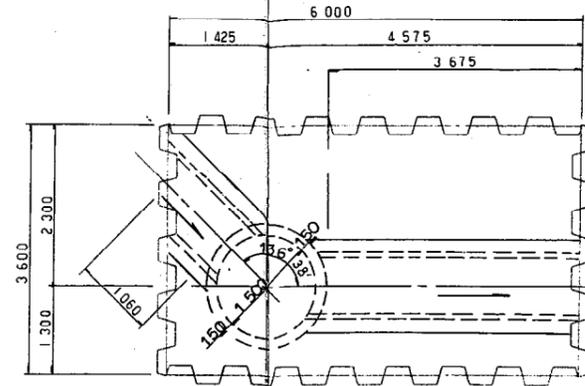


NO.1立坑

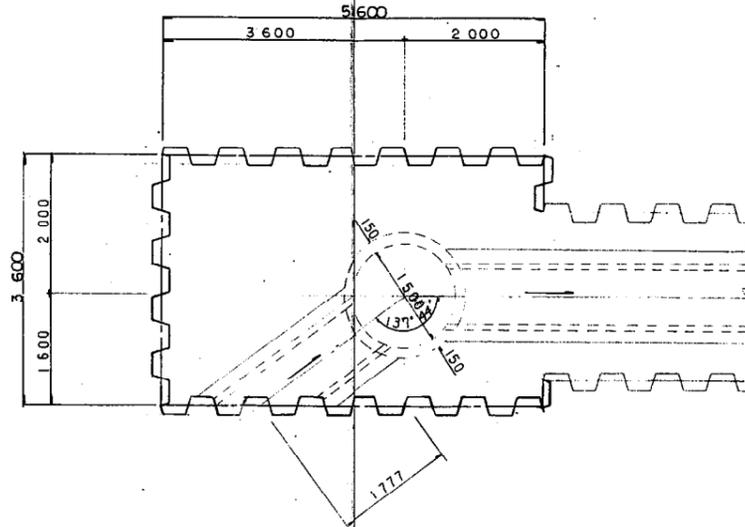


空伏構造図 S=1/50

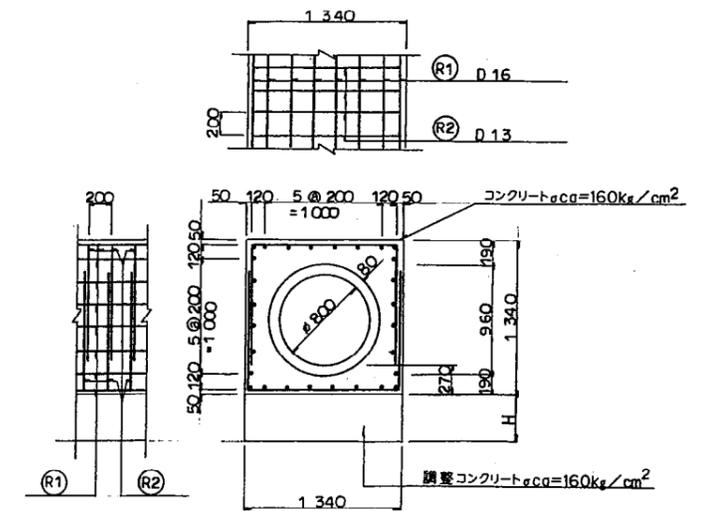
NO.2立坑



NO.3立坑



360°固定基礎配筋図 s=1/30



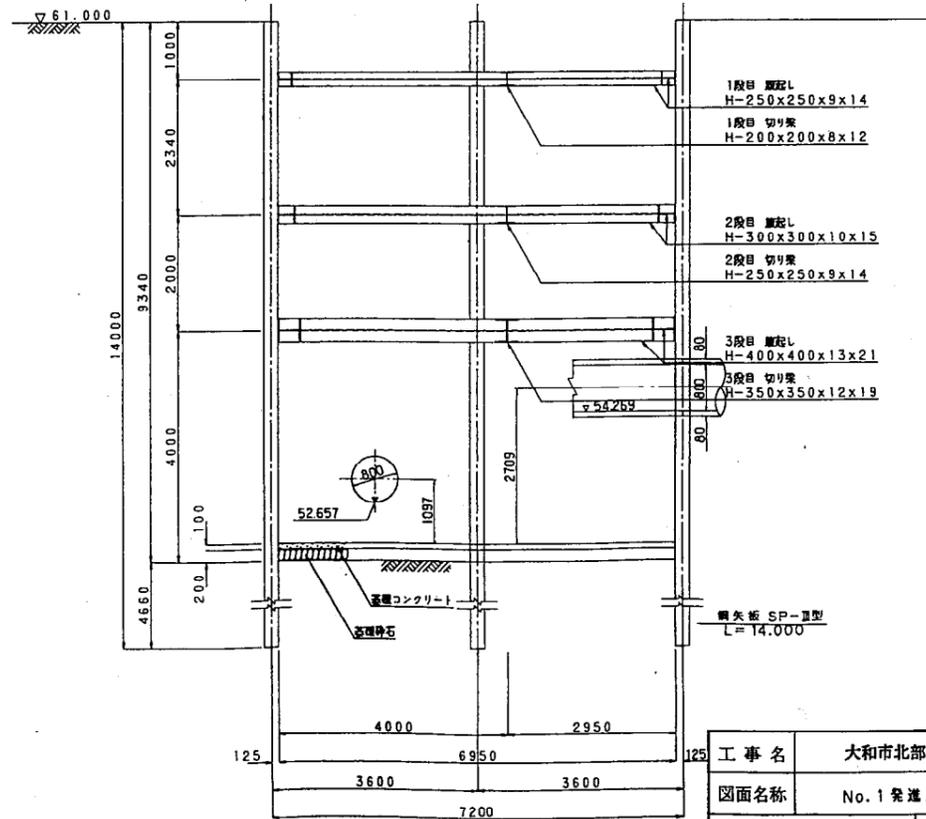
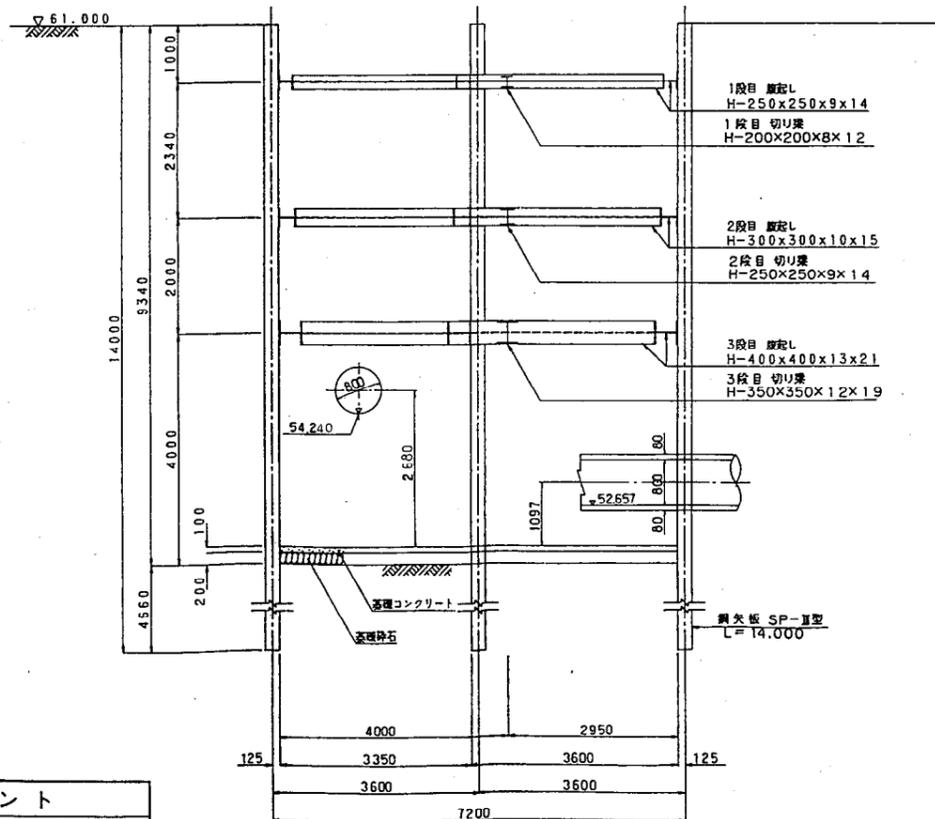
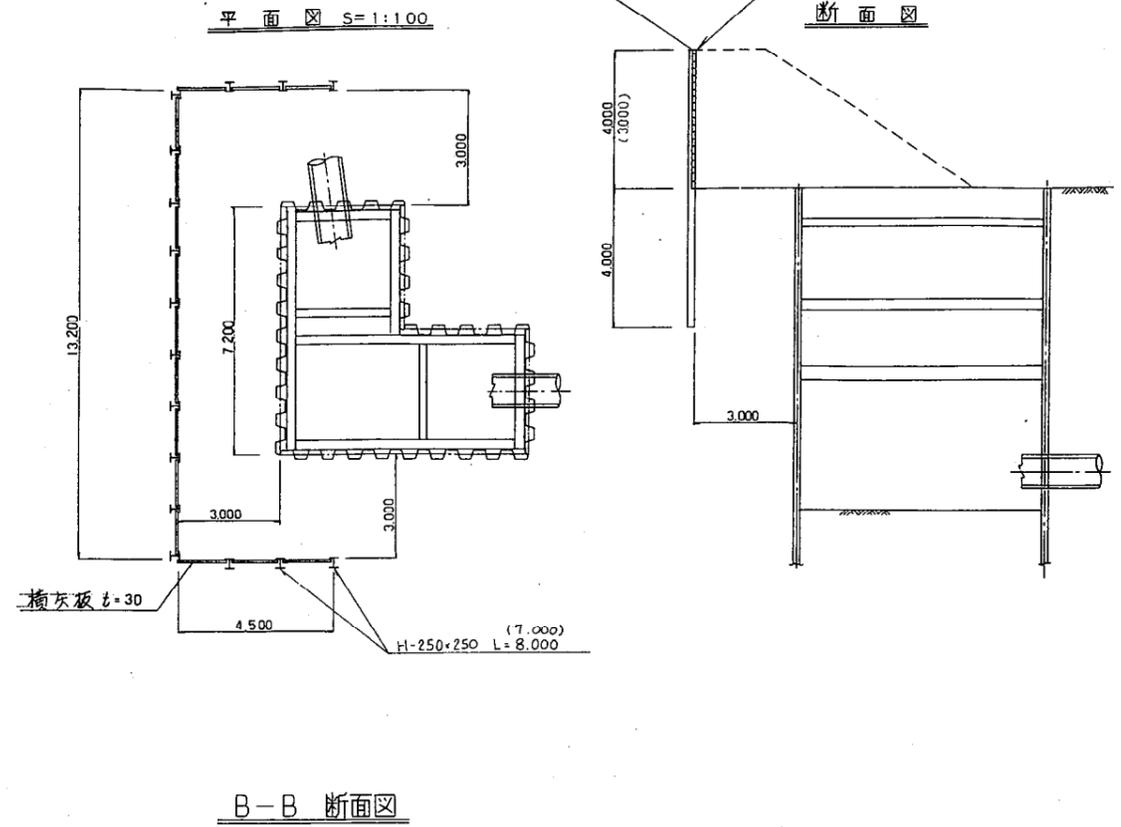
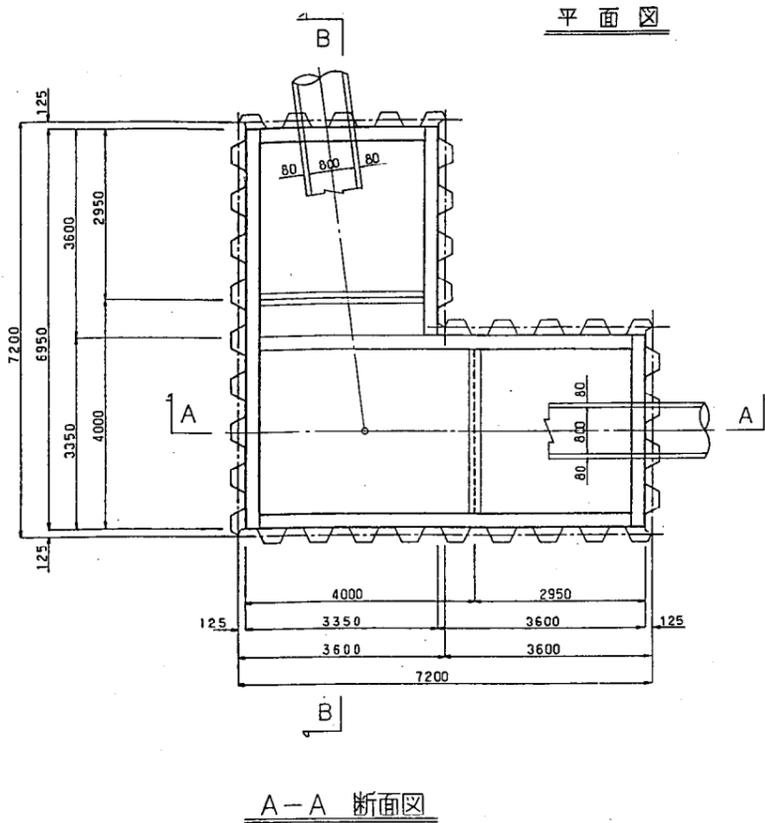
寸法表

立坑 No	位置	H (m)	延長 (m)
既設立坑	上流側		
	下流側		2.026
NO.1立坑	上流側	2.010	4.737
	下流側	0.427	4.101
NO.2立坑	上流側	0.486	1.060
	下流側	0.436	3.675
NO.3立坑	上流側	0.284	1.777
	下流側	0	13.332

工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	空伏構造図 S=1/50		
日本下水道事業団	原 規 格 表	担 当 者	図 面 番 号
平成 年 月			C-5

三 水 コ ン サ ル タ ン ト		
主任技術者	審 査 者	担 当 者
田中 毅 彦	中村 正 雄	黒田 秀 男

No.1 発進立坑仮設図 縮尺 1:60



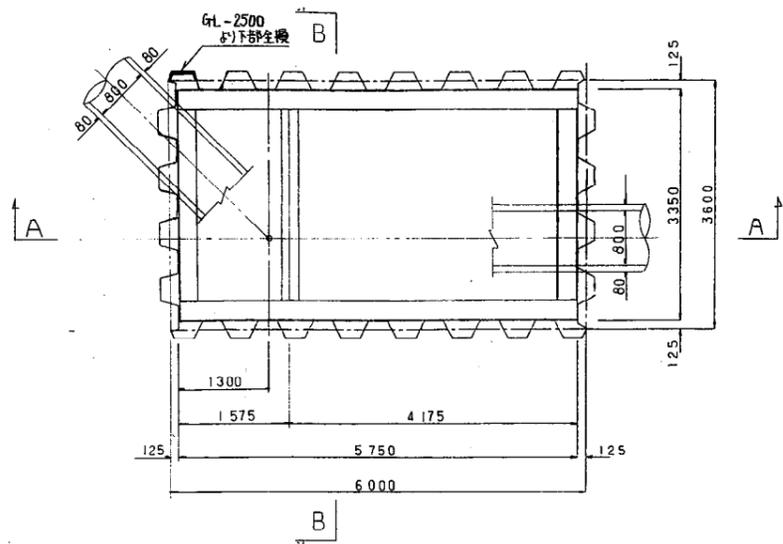
部材表

部材	部材長	本数
第1段	H-250x250x9x14	6.950 1
	切り梁	6.450 2
	切り梁	3.600 1
第2段	切り梁	3.350 1
	切り梁	2.850 1
	H-300x300x10x15	6.950 1
第3段	切り梁	6.350 2
	切り梁	3.600 1
	切り梁	3.350 1
切梁	H-400x400x13x21	2.750 1
	切り梁	6.950 1
	切り梁	6.150 2
梁	切り梁	3.600 1
	切り梁	3.350 1
	切り梁	2.550 1
切梁	H-200x200x8x12	2.850 2
	H-250x250x9x14	2.750 2
	H-350x350x12x19	2.550 2

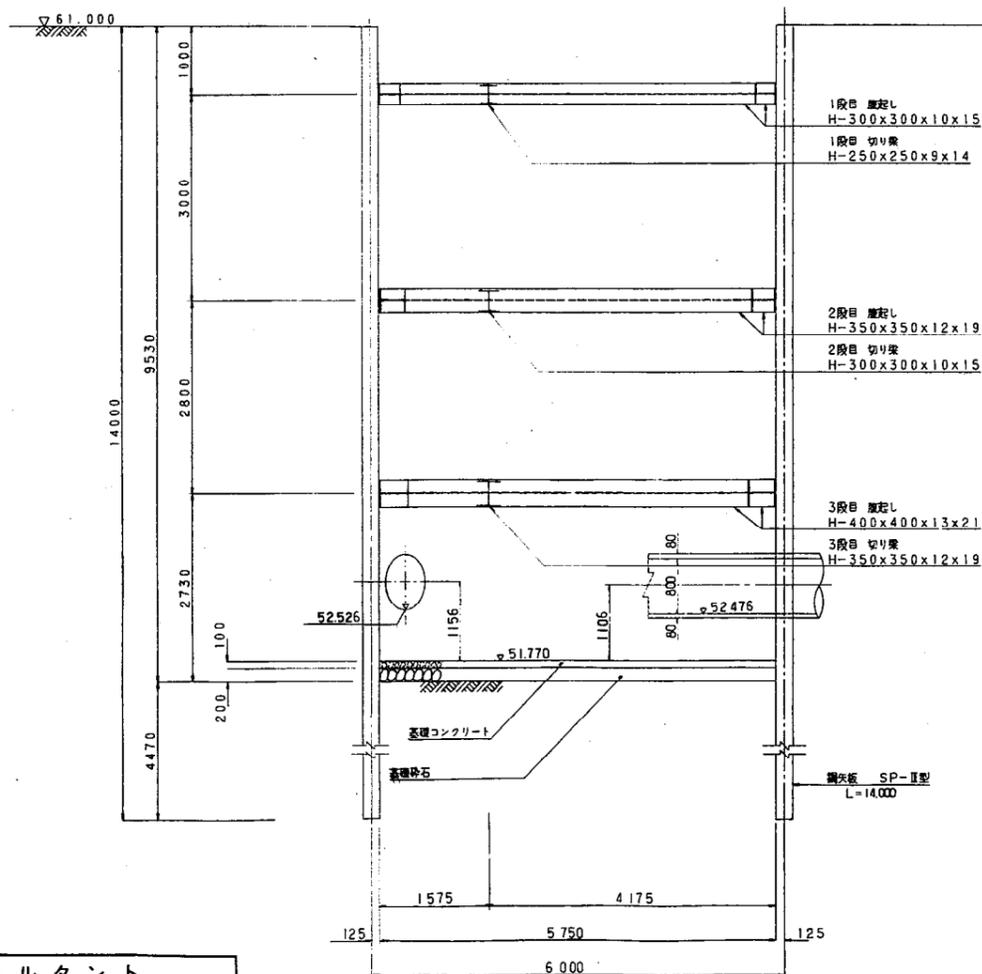
株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 義彦	中村 正雄	黒田 秀男

工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	No.1 発進立坑仮設図 S=1:60		
日本下水道事業団	課長 審査 担当者	図面番号	92-01
平成 年 月		C-6	

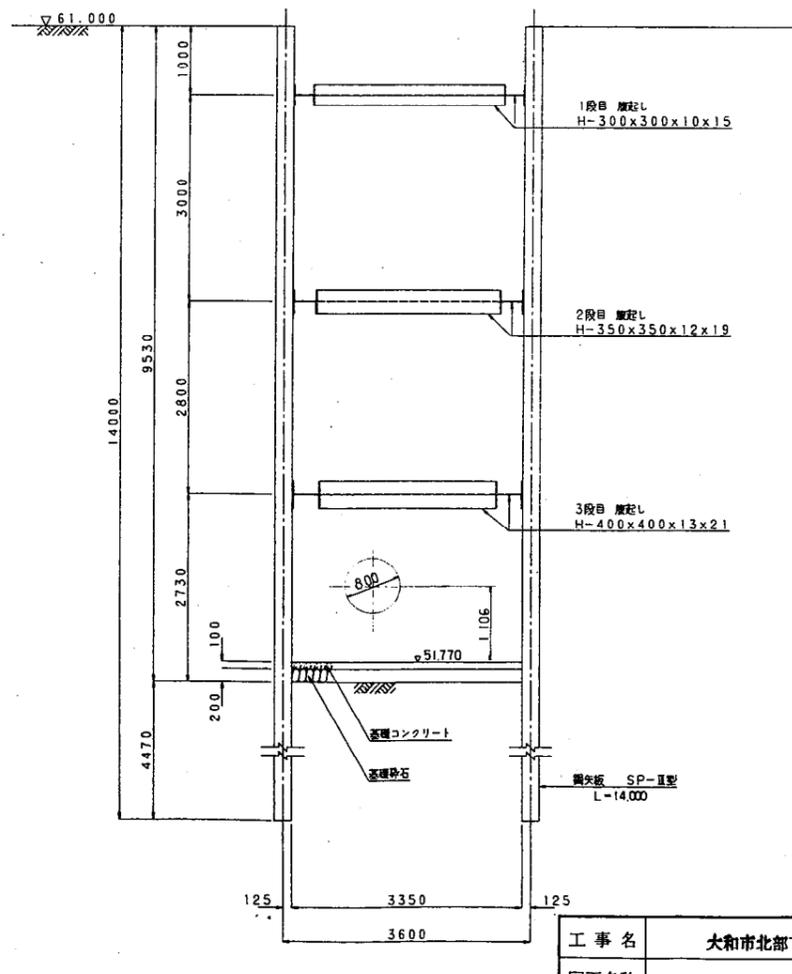
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図



部材表

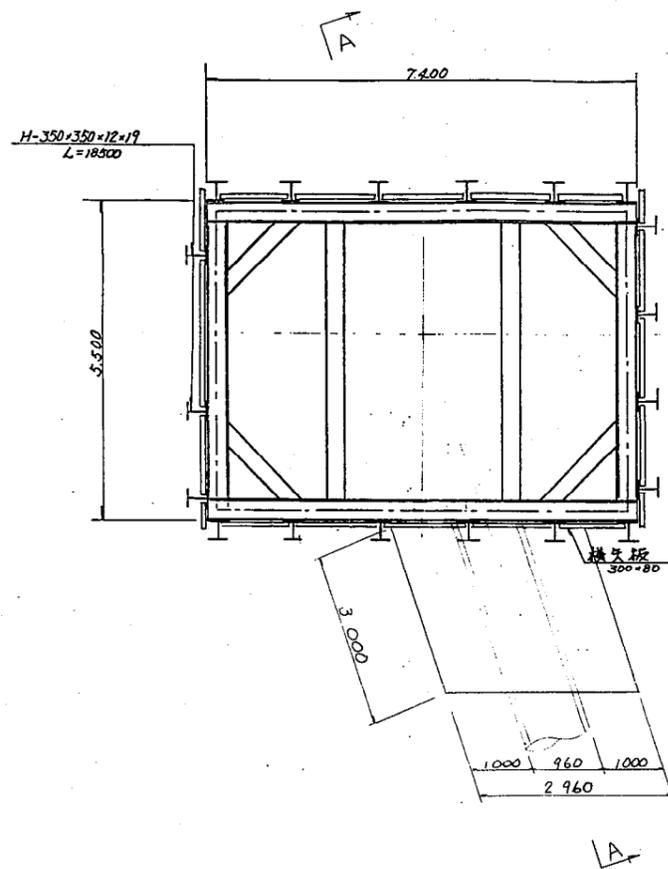
部材	部材長	本数
第1段	H-300x300x10x15	5.750 2
第2段	H-300x300x10x15	2.750 2
第3段	H-350x350x12x19	5.750 2
第4段	H-350x350x12x19	2.650 2
第5段	H-400x400x13x21	5.750 2
第6段	H-400x400x13x21	2.550 2
切ばり	H-250x250x9x14	2.750 1
第2段	H-300x300x10x15	2.650 1
第3段	H-350x350x12x19	2.550 1

三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 敏彦	中村 正雄	黒田 秀男

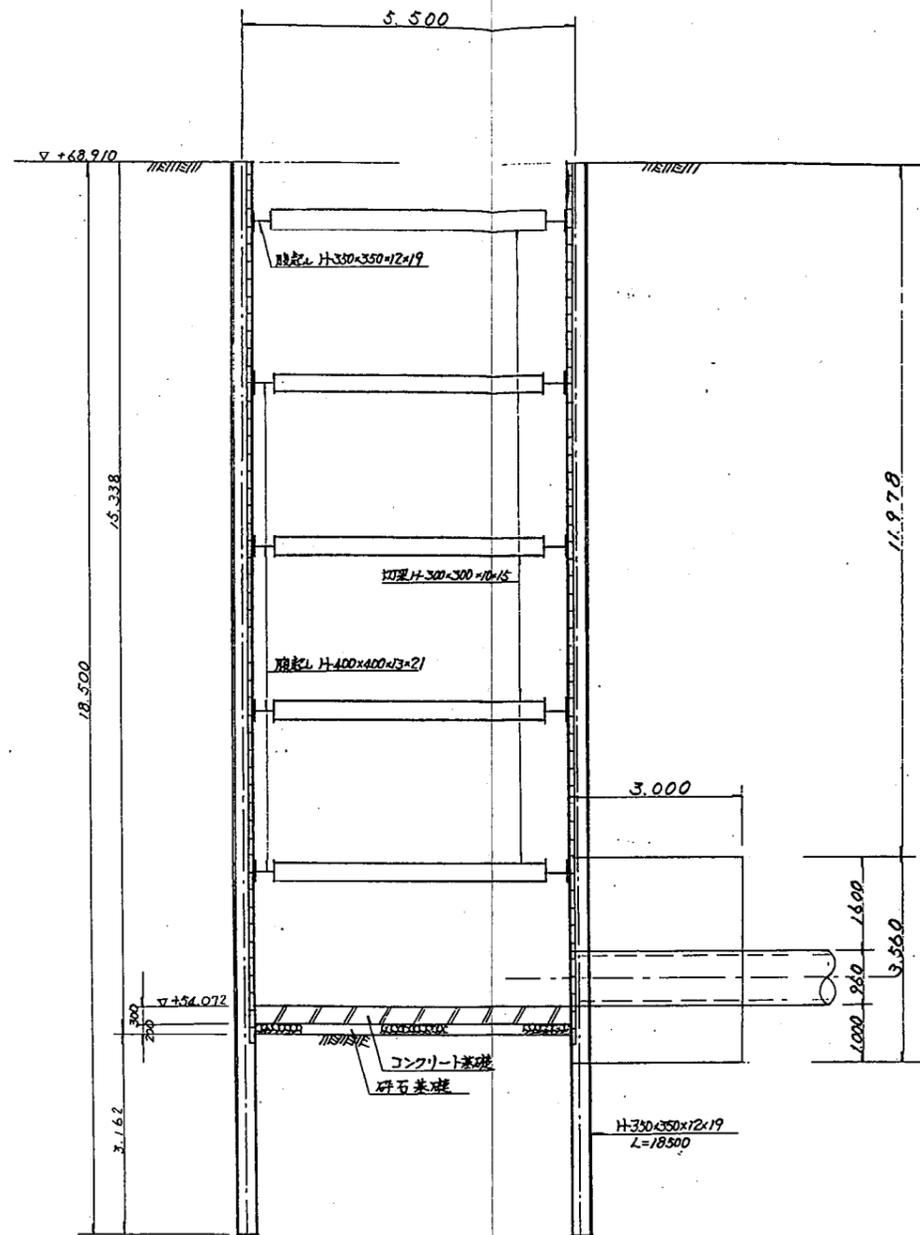
工事名	大和市北部下水処理場建設工事第16		
図面名称	No.2 発進立坑仮設図 S=1:50		
日本下水道事業団	平成 年 月	図面番号	C-7

既設到建立坑坑口改良図

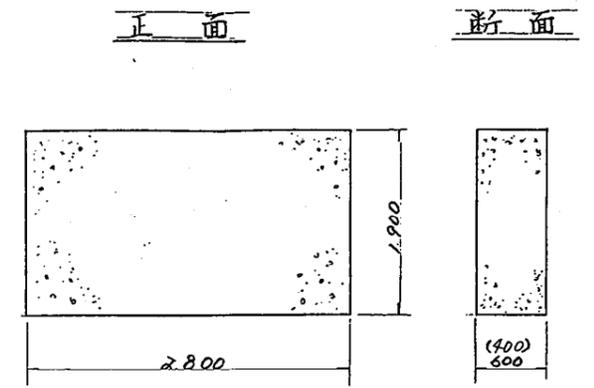
平面図 $S=1/60$



A-A断面図 $S=1/60$

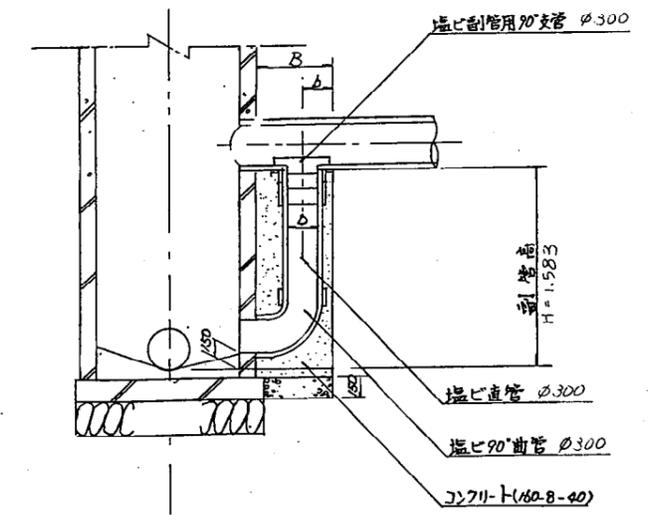


支圧壁詳細図 $S=1/60$



※ No.1立坑 (C-160)
 ※ No.2立坑 (C-210) ()

副管構造図

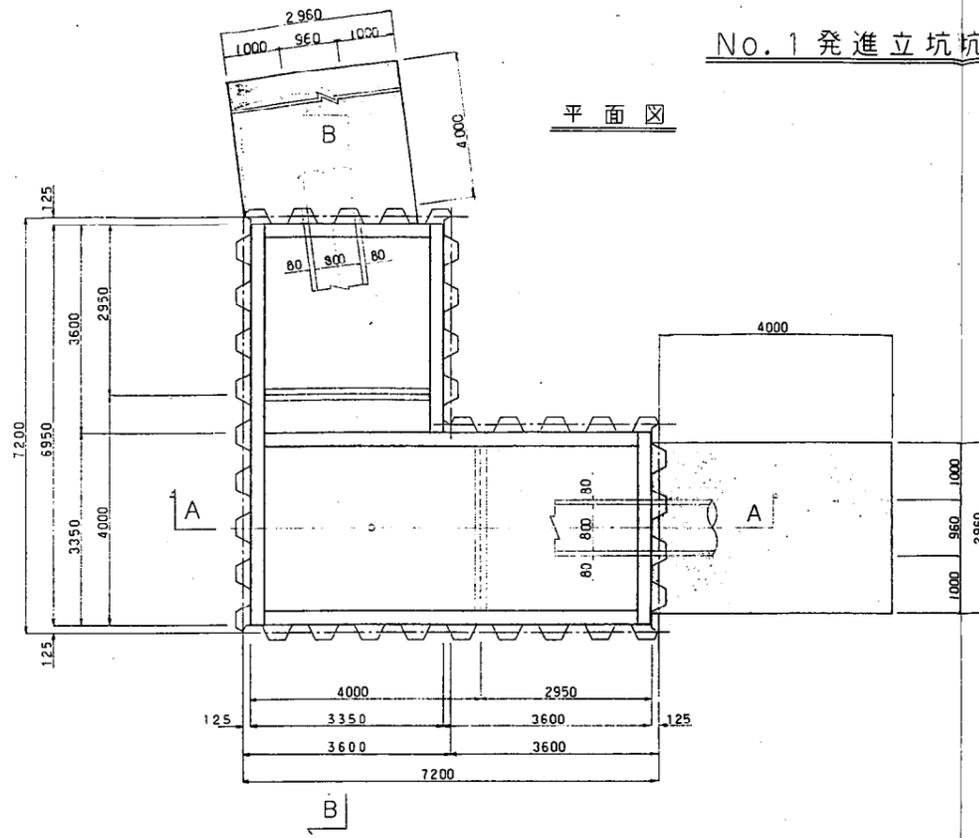


三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	中村 正雄	黒田 秀男

※ 坑口部は親杭を切断し山留を行うこと

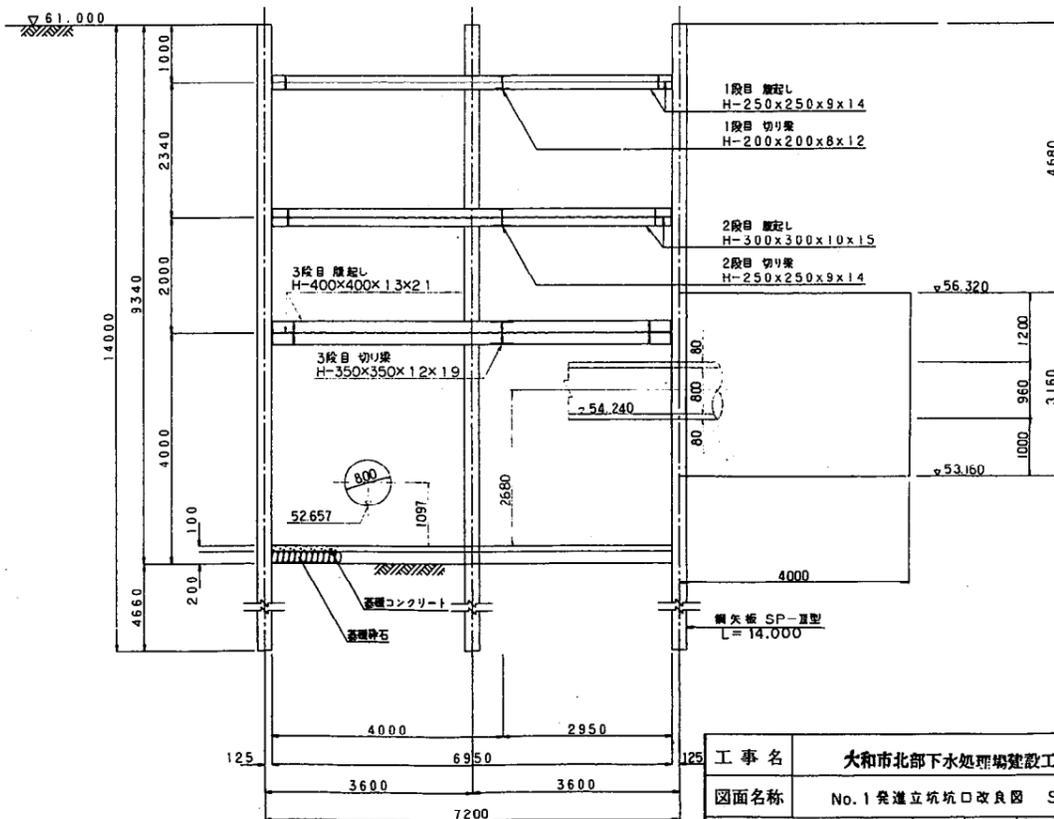
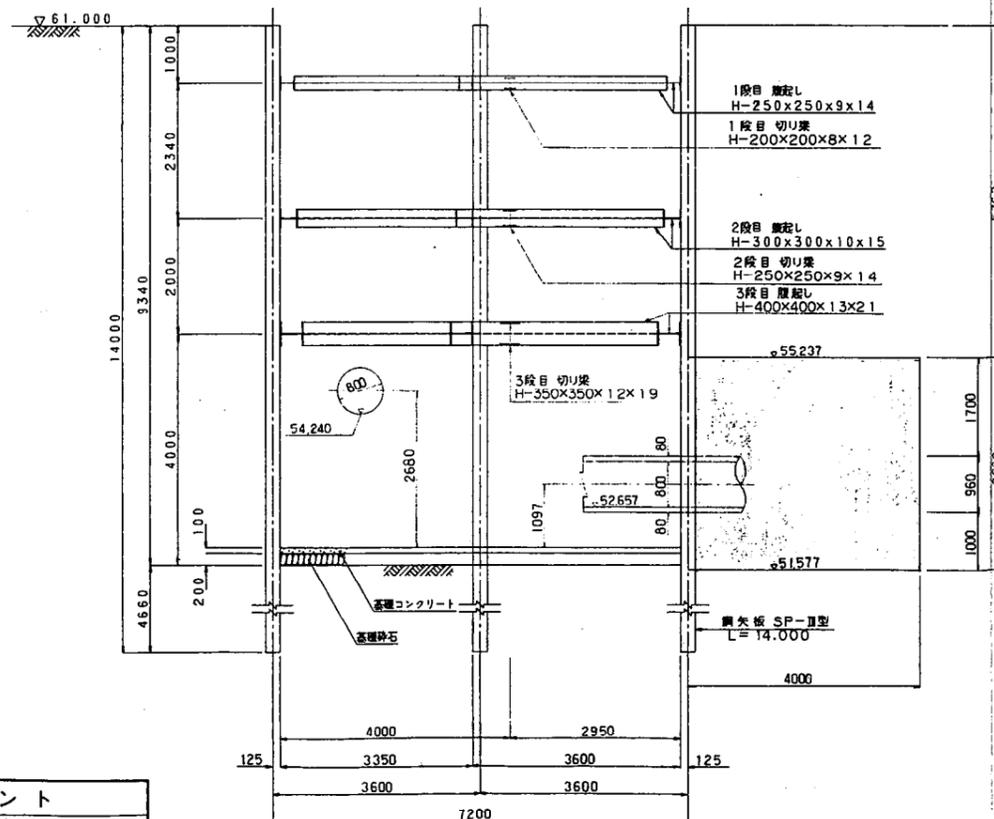
工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	既設立坑坑口改良図 $S=1/60, 1/30$		
日本下水道事業団	平成 年 月	図面番号	C-9

No.1 発進立坑坑口改良図 縮尺 1:60



A-A 断面図

B-B 断面図

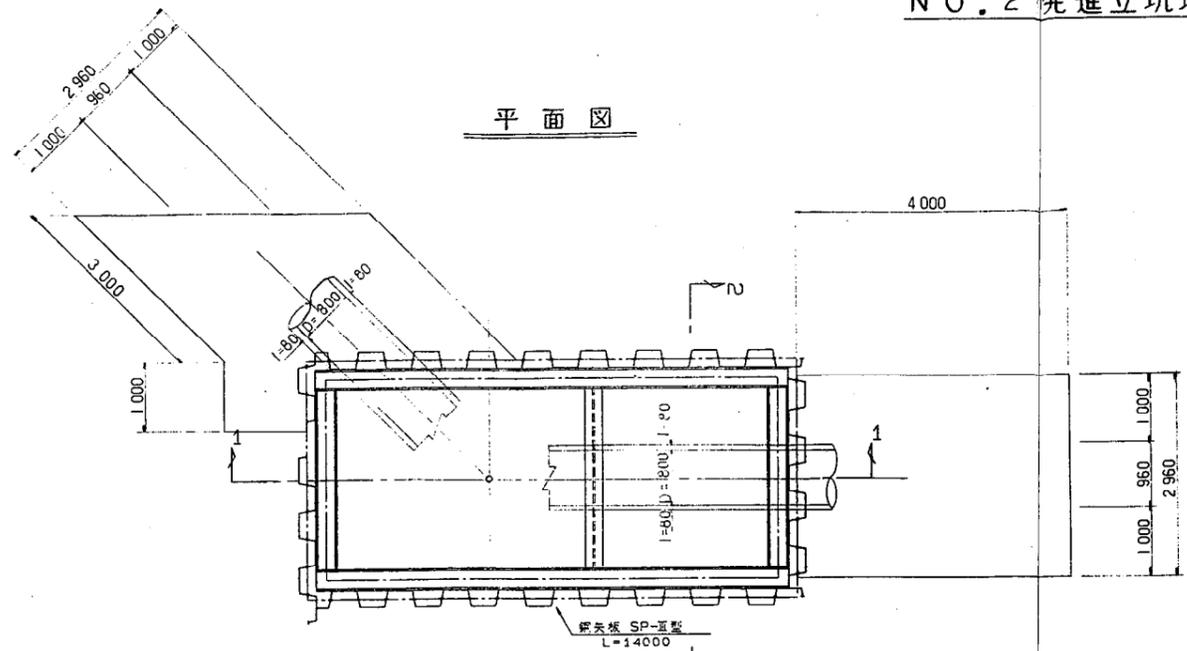


株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	中村 正雄	黒田 秀男

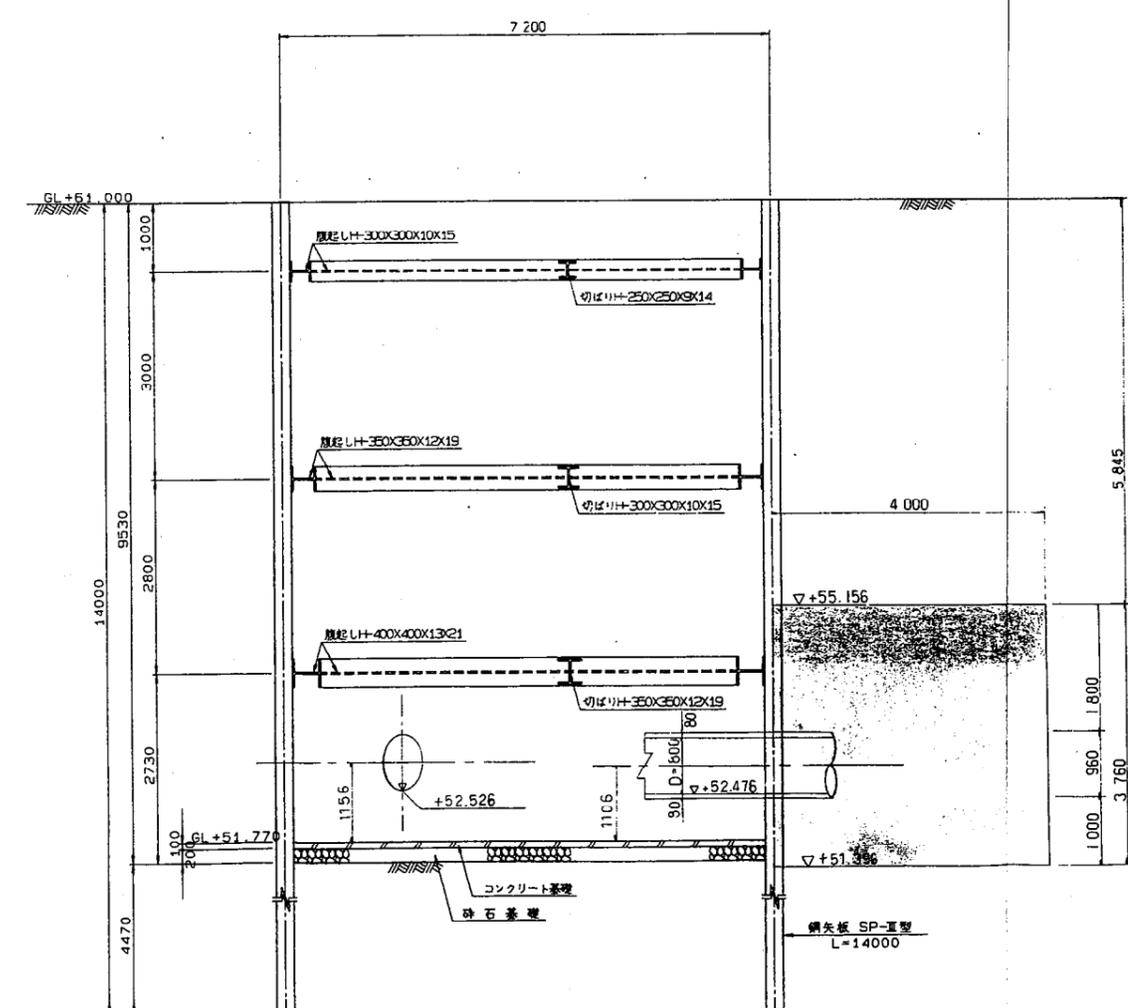
工事名	大和市北部下水道処理場建設工事その16		
図面名称	No.1 発進立坑坑口改良図 S=1:60		
日本下水道事業団	課長	審査	担当者
平成 年 月			図面番号 C-10

NO. 2 発進立坑坑口改良図

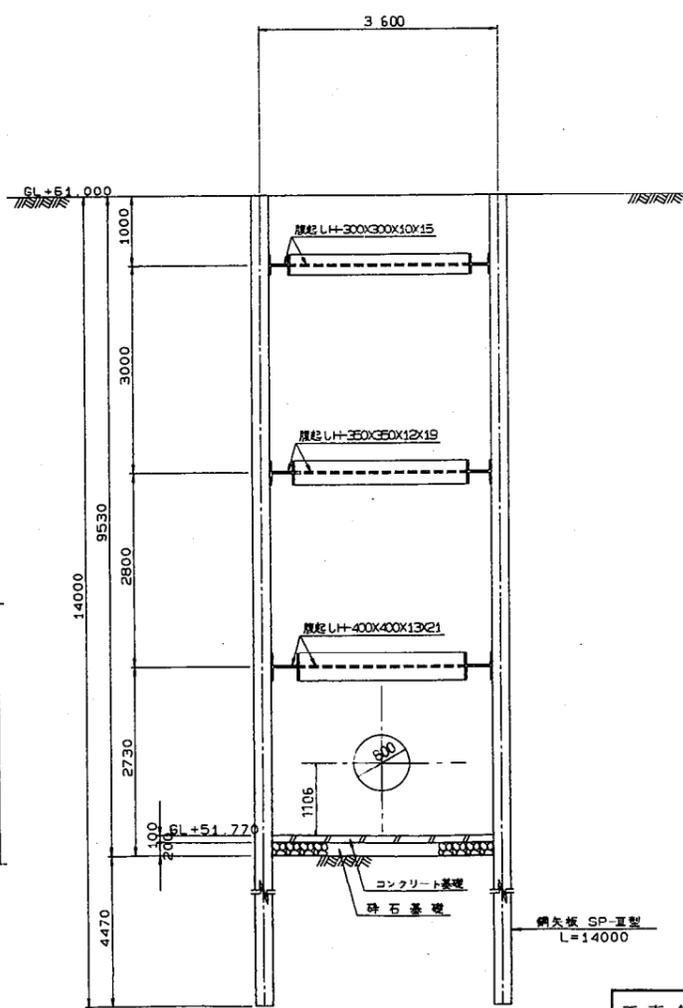
S= 1: 50



1-1 断面図



2-2 断面図

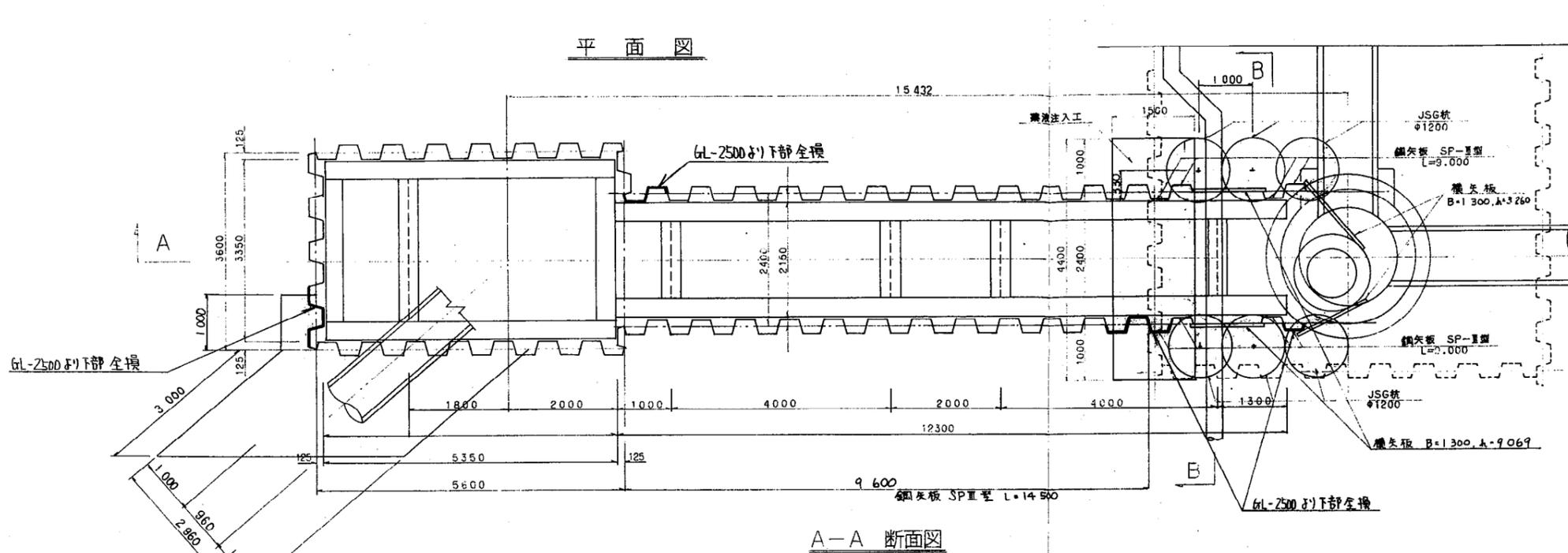


株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	中村 正雄	黒田 秀男

工事名	大和市北部下水道管路建設工事の16				
図面名称	No. 2 発進立坑坑口改良図 S=1/50				
日本下水道事業団	課長	専任	担当	図面番号	分冊
平成 年 月				C-11	2-1

NO.3到達立坑・開削部仮設図 S=1:50

平面図

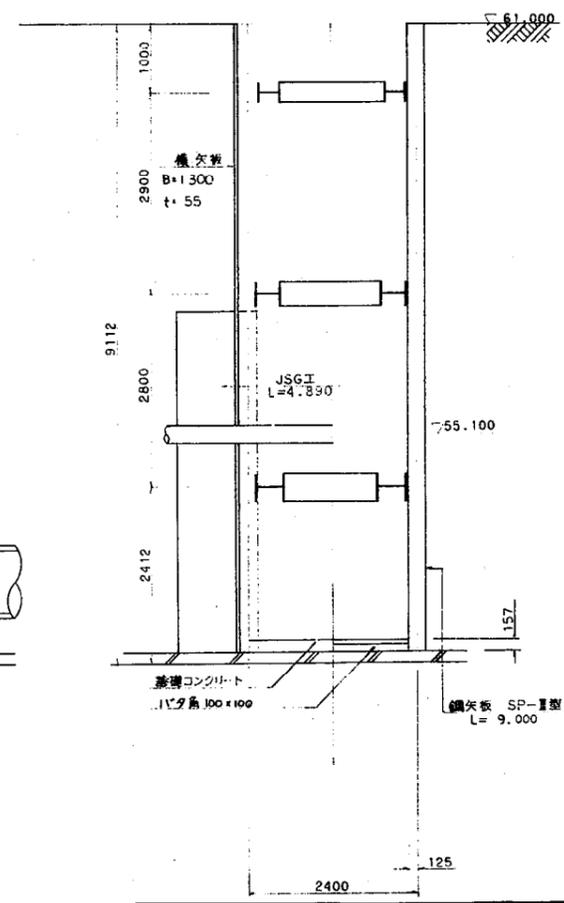
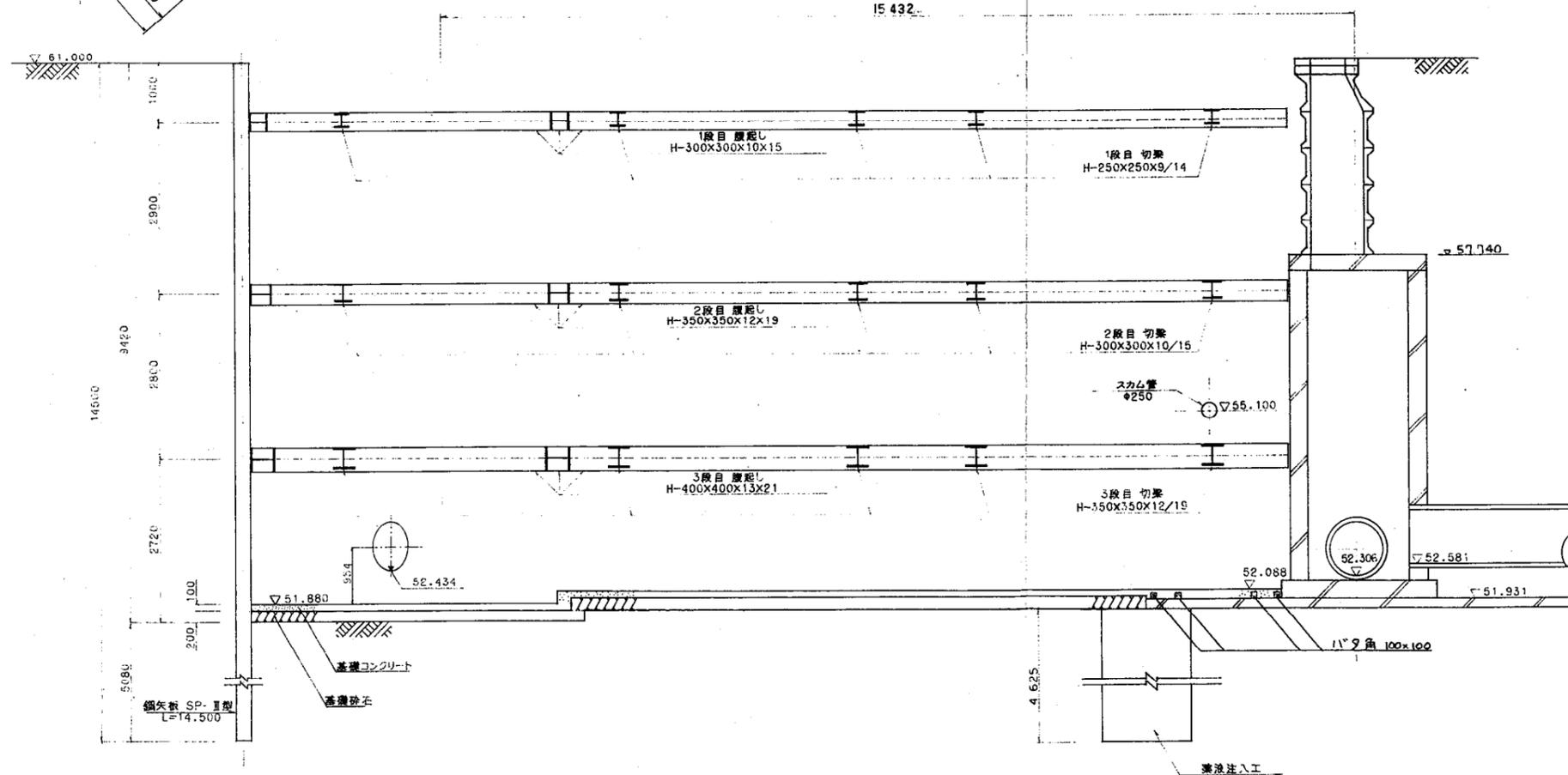


部材表

部	材	部材長	本数
第1段	H-300x300x10x15	5.350	2
	H-300x300x10x15	2.750	2
	H-300x300x10x15	12.300	2
第2段	H-350x350x12x19	5.350	2
	H-350x350x12x19	2.650	2
第3段	H-400x400x13x21	5.350	2
	H-400x400x13x21	2.550	2
切	H-300x300x10x15	2.750	1
	H-300x300x10x15	1.550	4
	H-350x350x12x19	2.650	1
部	H-350x350x12x19	1.450	4
	H-400x400x13x21	2.550	1
第3段	H-400x400x13x21	1.350	4

A-A 断面図

B-B 断面図

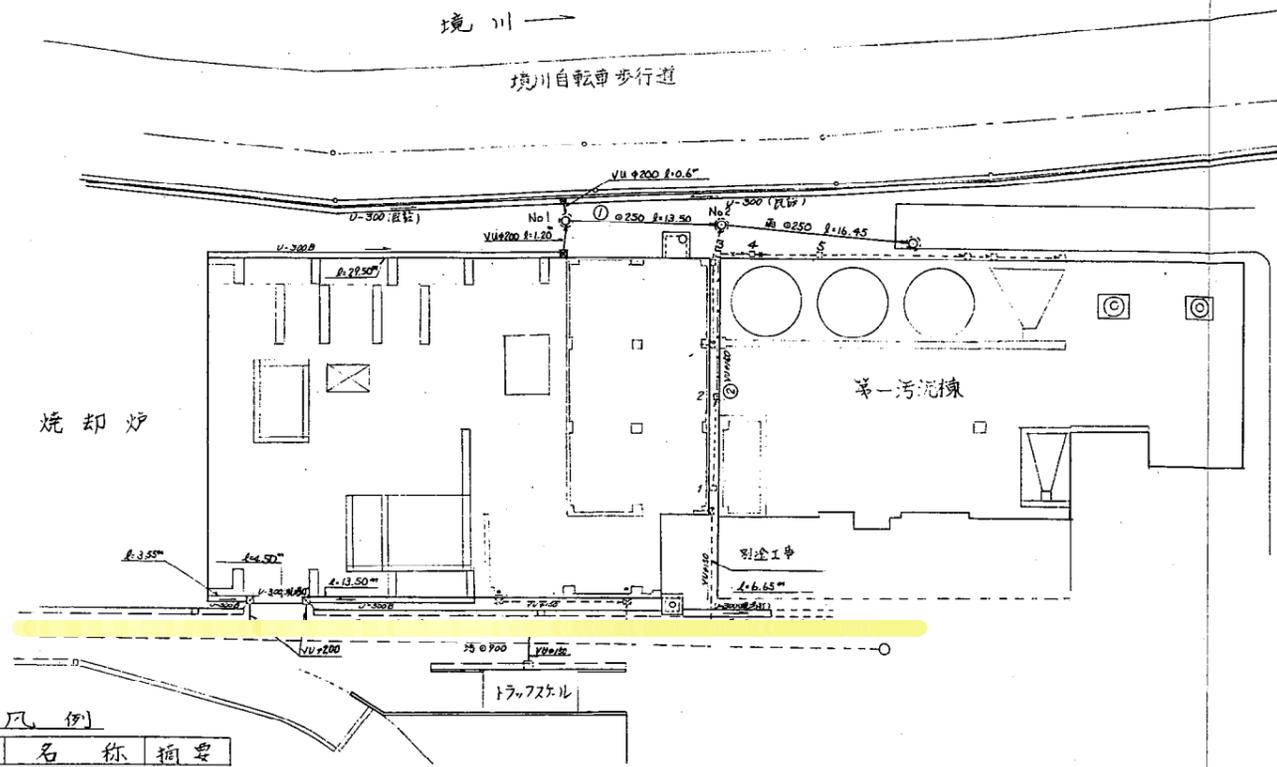


三水コンサルタント

主任技術者	審査者	担当者
藤中 敏彦	藤中 敏彦	藤中 敏彦

工事名	大和北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	No.3到達立坑～既設人孔 仮設図 S=1/50		
日本下水道事業団	年度	年月	C-12

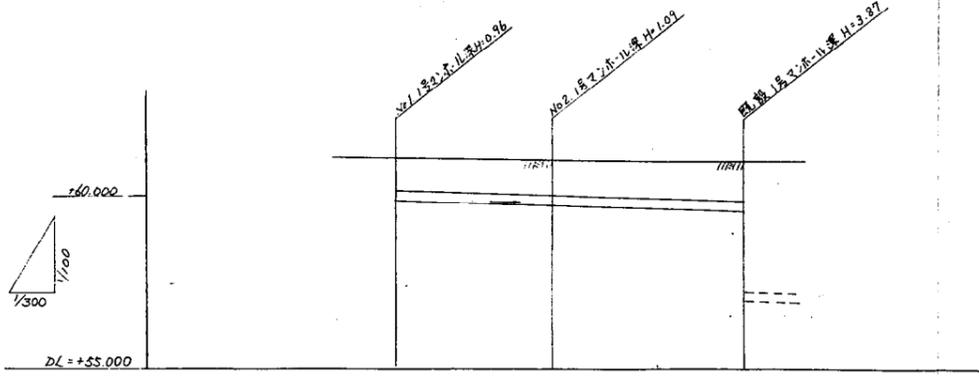
焼却炉排水(雨水・汚水)施設平面図 $S=1/300$



凡例

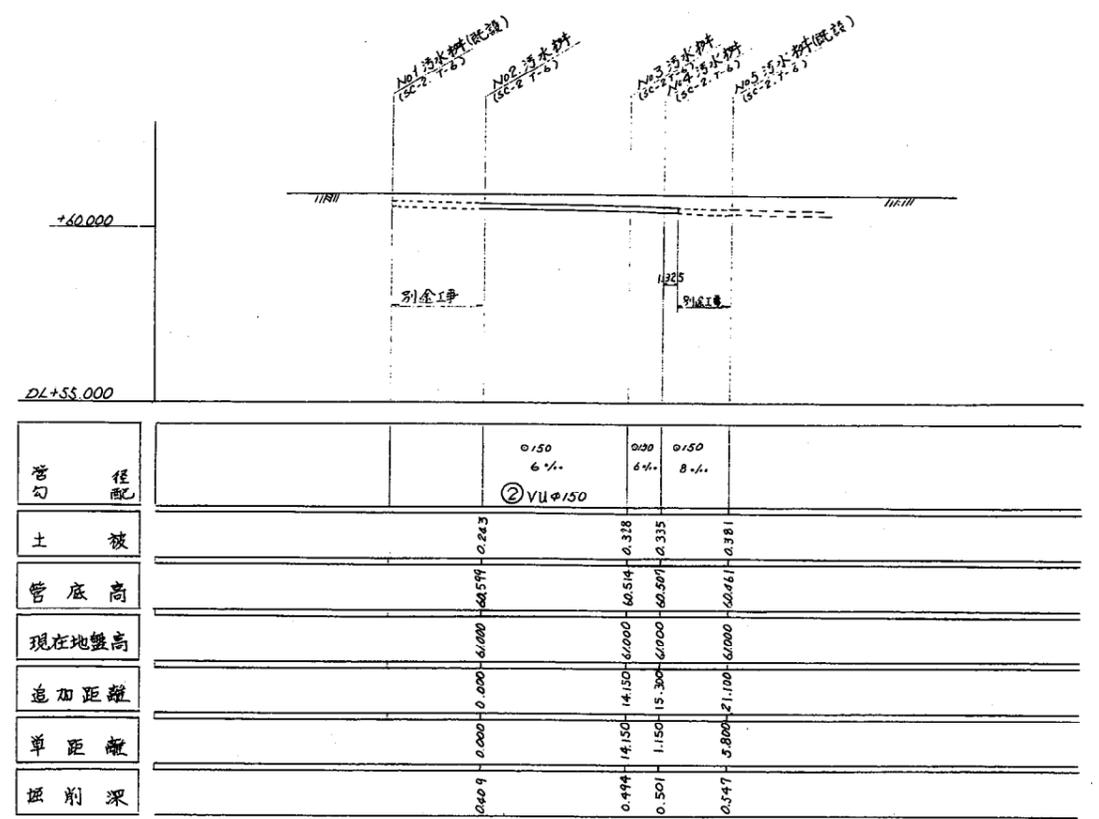
記号	名称	概要
—	L型街渠	
—	街渠樹	
—○—	雨水管	既設
—	雨水幹	
—	汚水幹	
U-300	U型側溝 300B	
NEP-250	管渠 (UP 250)	
VU-150	" (VU 150)	
VU-200	" (VU 200)	
---		既設

①雨水管縦断面図



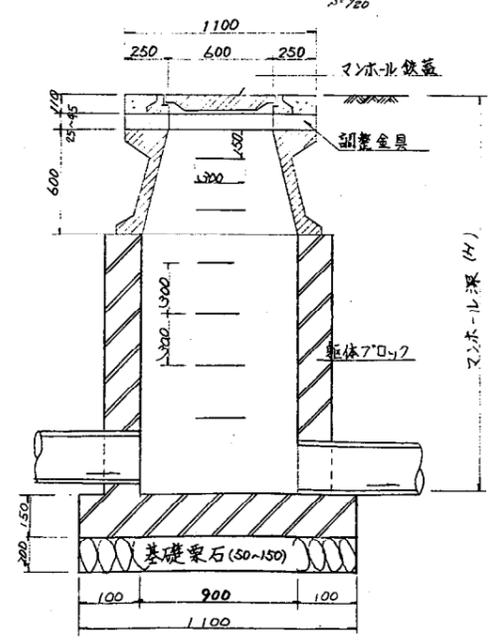
管径配	土被	管底高	現在地盤高	追加距離	単距離	掘削深
① φ250 10.0%	0.68	60.095	61.000	0.000	0.000	0.000
鉄筋コンクリート管 (B型1種)	0.81	59.790	61.000	13.300	13.300	13.300
	1.07	59.796	61.000	16.450	29.750	16.450
	3.59	57.220	61.000			3.59

②汚水管縦断面図



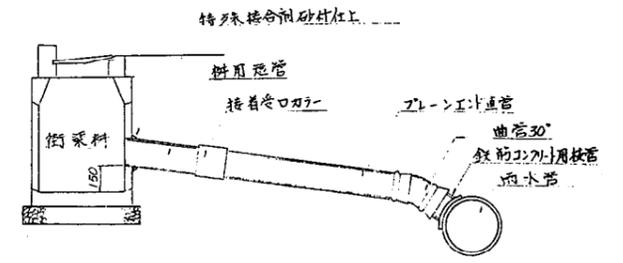
管径配	土被	管底高	現在地盤高	追加距離	単距離	掘削深
② VUφ150 6‰	0.243	60.599	61.000	0.000	0.000	0.000
	0.318	60.514	61.000	14.150	14.150	14.150
	0.335	60.507	61.000	15.300	15.300	15.300
	0.381	60.461	61.000	2.100	3.800	2.100

1号組立式雨水標準構造図 $S=1/20$

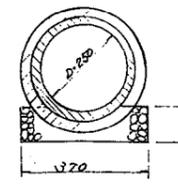


雨水管No	雨水管深 (管径) H (mm)	蓋 (径)	斜壁 (径)	直壁 (径)	厚底版
1	0.96	1	1	1	1
2	1.09	1	1	1	1

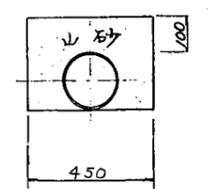
取付管布設標準図 $S=1/20$ (φ200, φ150)



切込碎石基礎布設図 $S=1/10$



排水管標準布設図 $S=1/10$



*道路部は全量砂埋戻しとする

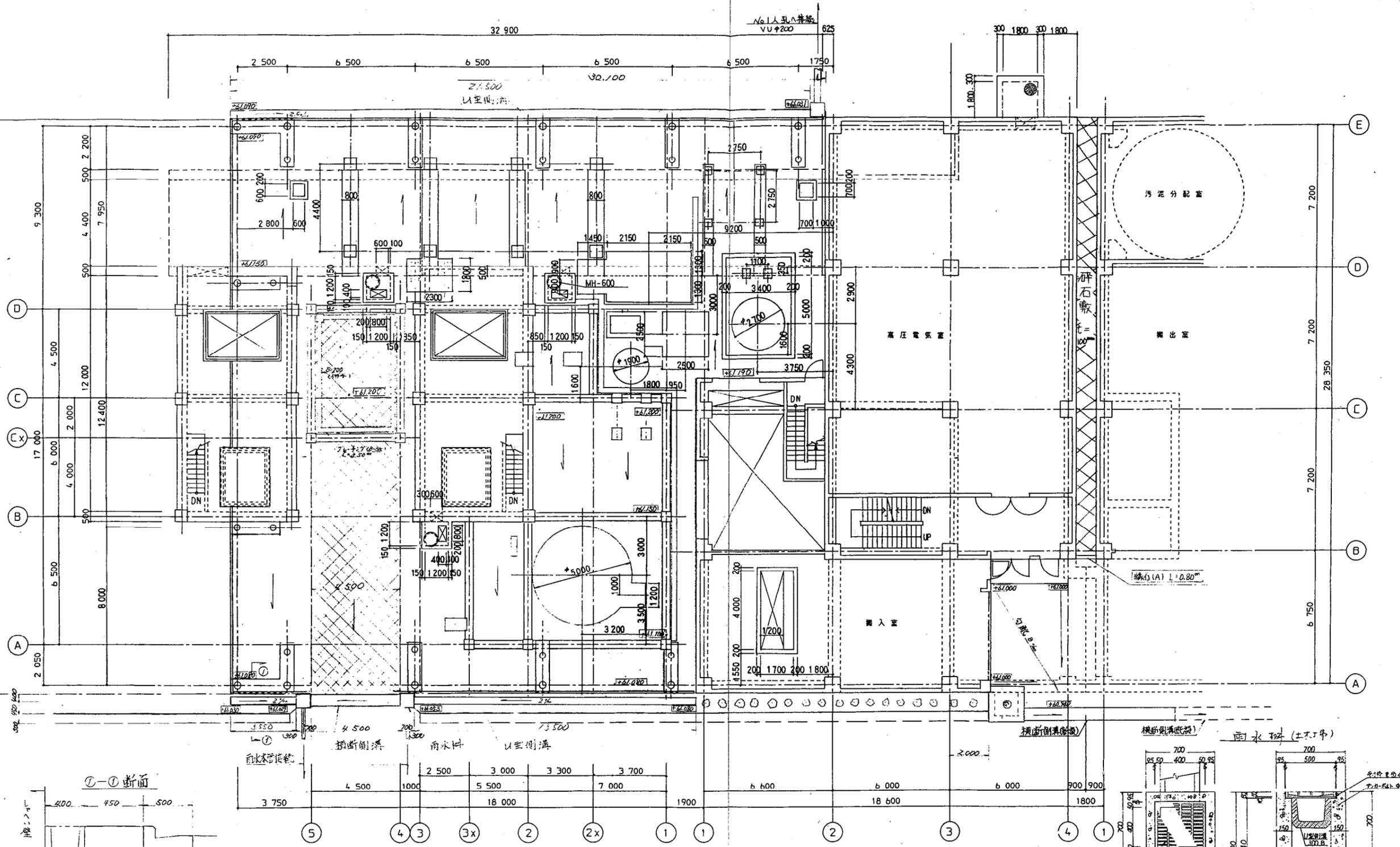
三水コンサルタント

主任技術者	審査者	担当者
田中 敏彦	及川 直也	黒田 秀男

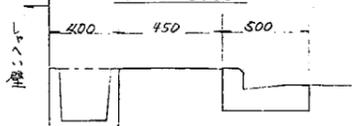
*管天端 30cm 上から山砂埋戻しとする。

工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	焼却設備廻り排水工(雨水・汚水)		
日本下水道事業団	課長	担当者	図面番号
平成 年 月			C-15

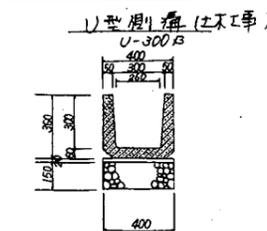
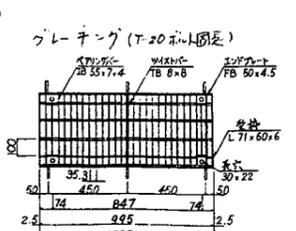
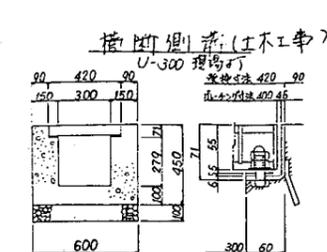
土工工事 機械工事



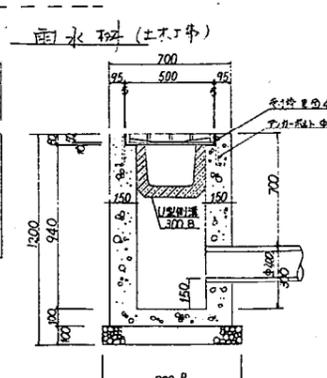
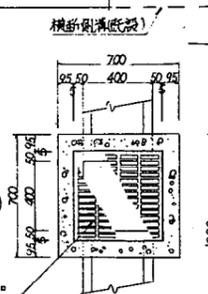
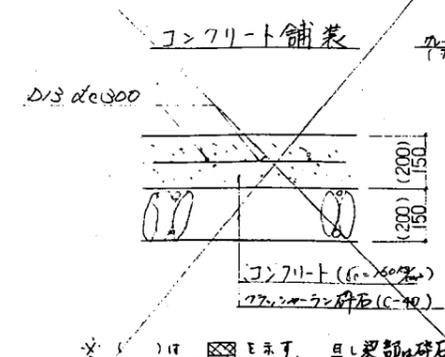
①-①断面



- コンクリート舗装(t=30)
- コンクリート舗装(t=40)
- 伊藤 (タッキツツン)

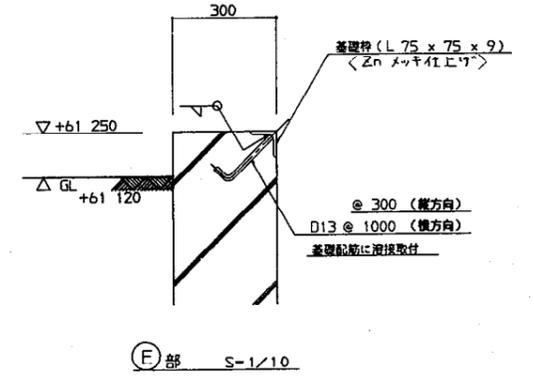
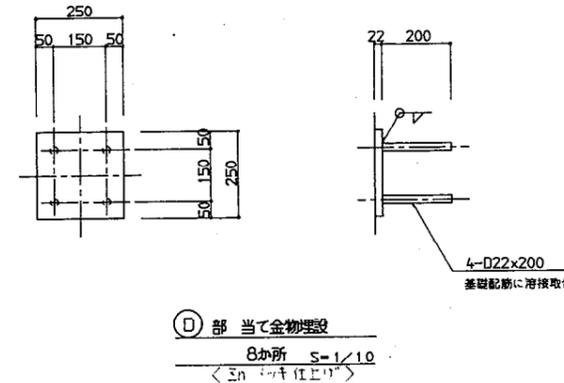
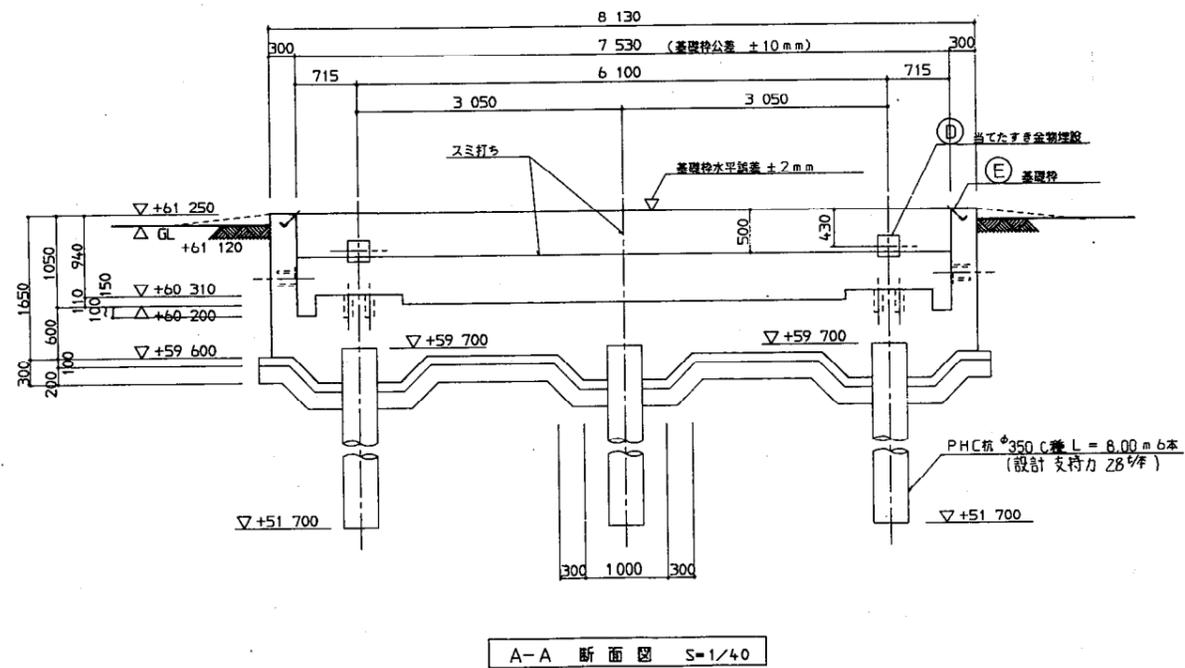
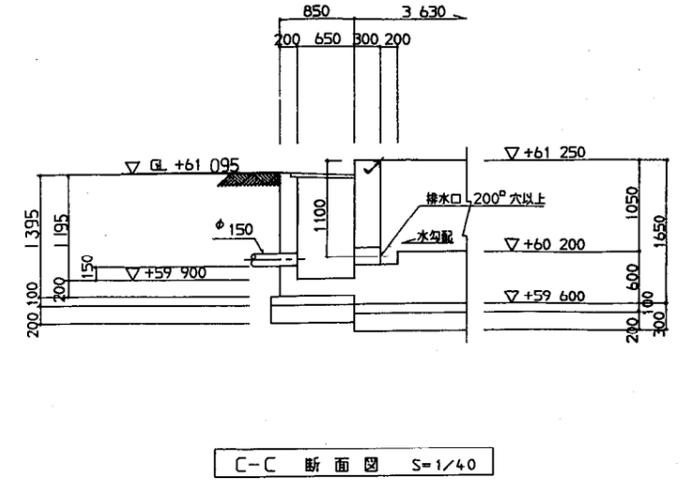
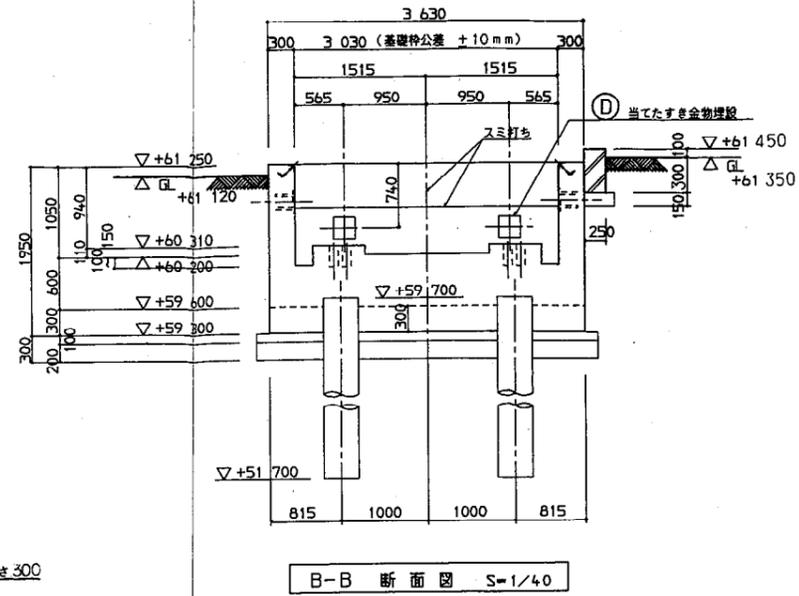
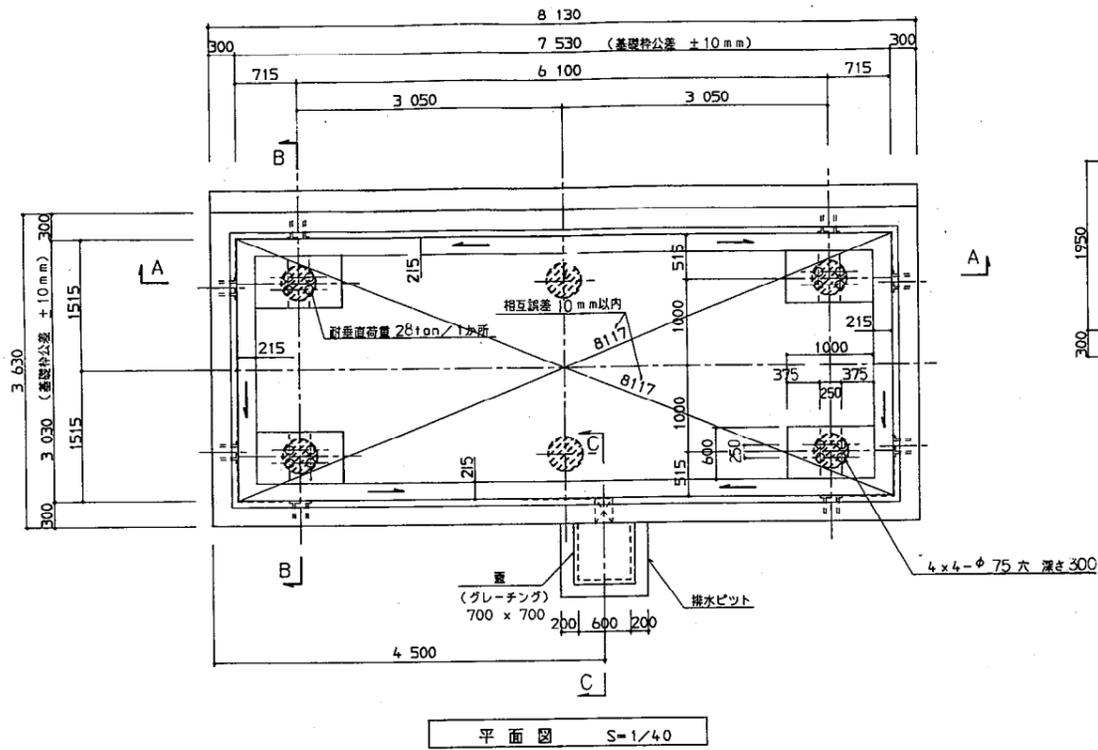


1階平面図 S-1/100



三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 謙彦	及川 直也	黒田 秀男

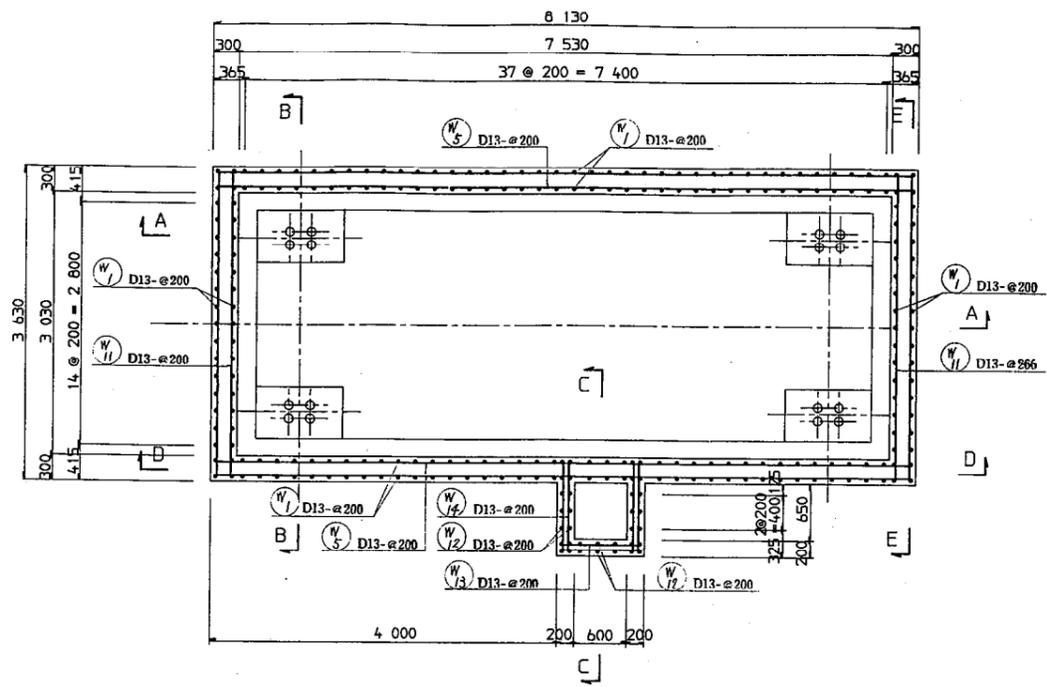
工事名	大和市北部下水処理場建設工事その16		
図面名称	焼却設備廻り場内整備図		S-1/100
日本下水道事業団	平成 年 月	図面番号	C-16



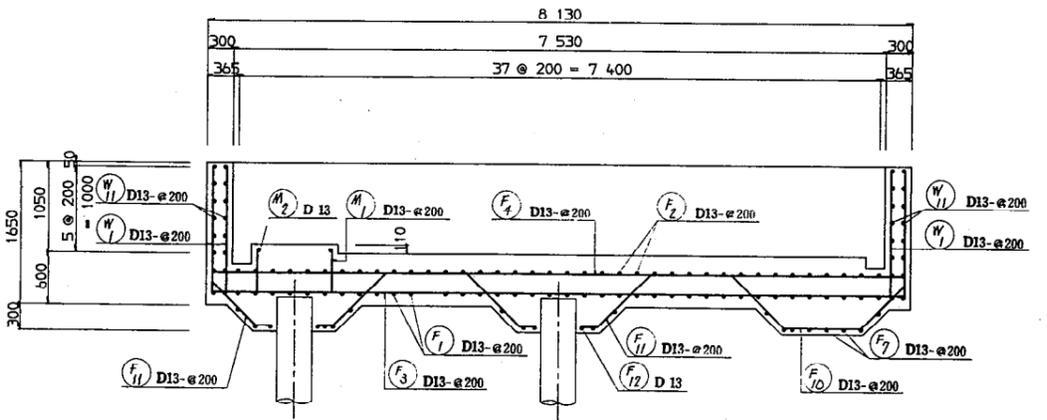
注) 1. スミ打ちは四隅の精度をFL±2mm程度におさえトランシットレベルにて寸法測定後スミ打ちをする。

株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 綾彦	及川 直也	黒田 秀男

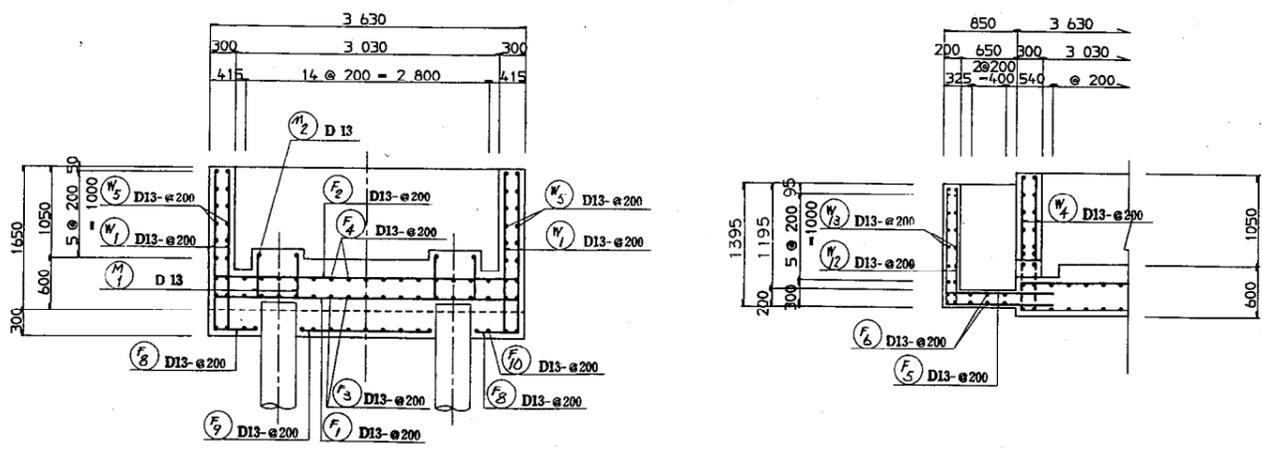
工事名	大和市北部下水処理場建設工事 第16		
図面名称	トラックスケール 構造図	S=1/40, 1/10	
日本下水道事業団	平成 年 月	図面番号	C-17



平面断面配筋図 S-1/40

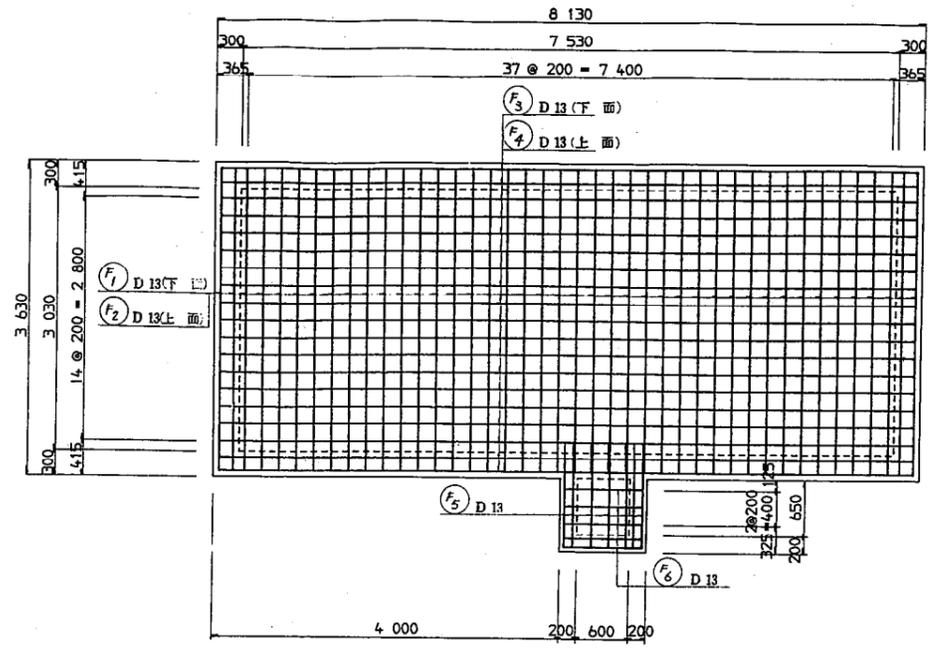


A-A 断面配筋図 S-1/40

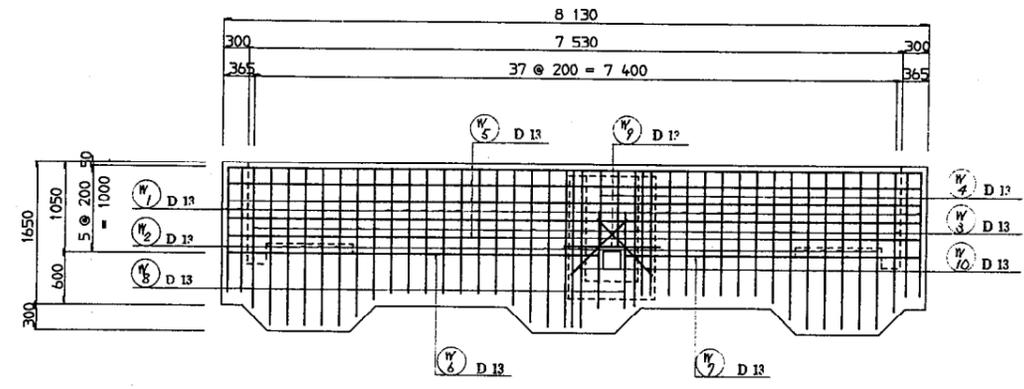


B-B 断面配筋図 S-1/40

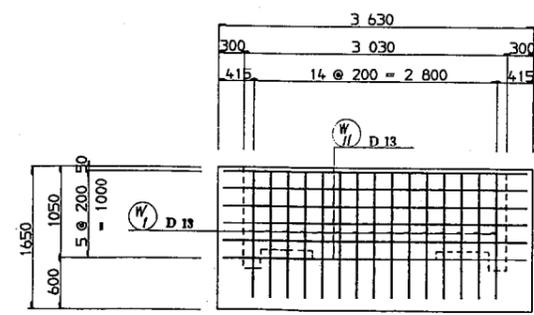
C-C 断面配筋図 S-1/40



底版配筋図 S-1/40



D-D 壁配筋図 S-1/40



E-E 壁配筋図 S-1/40

株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	及川 直也	黒田 秀男

工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	トラックスケール配筋図	S-1/40	
日本下水道事業団	主任	審査	担当者
平成 年 月			図面番号 C-18

横浜市
瀬谷区
目黒町



	X	Y
1	X6 - 2500	Y13 + 10000
2	X6 - 11000	Y11 + 3000
3	X7 + 10000	Y10 + 2500
4	X6 + 0000	Y10 - 5000
5	X6 + 0000	Y7 - 6000
6	X5 - 2500	Y7 + 15200
7	X3 + 5500	Y8 + 6950
8	X0 + 1000	Y9 + 5500
9	X2 - 2500	Y7 + 7000
10	X0 + 9700	Y5 + 17500
11	X4 + 0000	Y5 + 11500
12	X7 - 5000	Y5 + 0000
13	X8 - 3500	Y5 + 0000
14	X7 - 5000	Y3 + 0000

三水コンサルタント

主任技術者	担当者	審	査
田中 毅彦	田中 毅彦	前中 英夫	

工事名	大和市北部下水処理場 建設工事 第16
図面名称	散水栓配管図 都市ガス配管図 縮尺 1/500
日本下水道事業団	支社 大和 課長 担当 マイクロ 図面番号 C-20
昭和 年 月	

建築電気設備工事仕様書 (平成4年度版)

1 工事概要

1. 工事場所 神奈川県大和市下郷町2-5号

2. 建物概要

建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	備考
棟	造			
棟	造			
棟	造			
棟	造			

3. 工事種目 (●印をつけたものを適用する。)

工事種目	標準仕様	仕様							
電灯設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動力設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
避雷設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電気時計設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防犯設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
インターホン設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火災検知警報設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
防犯設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
構内配線設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
構内通信設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
屋外電灯設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水質測定等試験機	○	○	○	○	○	○	○	○	○

1 工事仕様

1. 共通仕様

本仕様書及び図面に記載されていない事項は、日本水道事業団「建築工事・建築設備工事一般仕様書」(平成4年度版)(以下一般仕様書という)及び「建築標準図(詳細)建築・建築設備編」(平成2年度版)(以下建築標準図という)による。

なお、これらに記載のない事項は、建設大臣官庁官庁庁舎の電気設備工事共通仕様書(平成元年度版)(以下共通仕様書という)及び電気設備工事標準図(平成元年度版)(以下標準図という)による。

2. 特記仕様

1) ●印をつけたものを適用する。

2) 特記事項は●印をつけたものを適用する。

●印がない場合は○印のあるものを適用する。

●印と○印がある場合は共に適用する。

項目	特記事項
工事完成後の機能保持及び安全対策	●請負者は工事完成の際、総合試験開始迄の機器の機能保持及び安全対策に必要な措置を講じなければならない。完成時に機能の保持及び安全対策に必要な措置を機器毎に作成し監督員に提出する。
施工従事者	●自家用電気工作物においても第1種電気工事士とする。また消防法による消防設備士、電気通信事業法による工事担当者とする。
色彩等の指示	●監督員等の指示による。
電線	●特記のないものは1Vとする。
ねじなし電線管の使用	●専用電線管は、同一外径のねじなし電線管を使用してもよい。ただし湿度のある場所の露出配管を除く。
可とう電線管	●非ニル保護2種可とう電線管とする。
金属管(露出配管)の塗装	●塗装(調合ペイント2回塗) ○
金属製位置ボックスの塗装	●露出(調合ペイント2回塗) ただし内面は除く ●塗(調合ペイント1回塗) ただし、コンクリート埋込の場合の内面に限る。
一般配線器具用フラッシュプレート	●金属製(ステンレス、新金属も含む) ○樹脂製
プレートの用途別表示	●ジョイントボックスおよび器具を実装しないボックスのプレートには下記を参考として表示する。 電灯○、動力○、電話○、電気時計○、非常放送○、防犯○、電鈴○、インターホン○、テレビ共同受信○、火警○、防犯○
安定器収容箱	●一般仕様書第413条による。
主幹盤	●一般仕様書第414条による。
屋外に設置する金物類	●鋼材(梁台、支持金物等)は全て防錆処理済み、又はステンレス製とする。 ●鋳造品に使用する基礎ボルト類は(●ステンレス製 ○鉛鉛塗めつ)とする。
合成樹脂製可とう管	○合成樹脂製可とう管は、P.F管とし温度による分類は、タイプ-2.5とする。 又、合成樹脂製可とう管工事に使用する位置ボックスは、原則として樹脂製とする。

機器取付及び配管の耐震対策

○下記の機器取付の耐震施工については、「建築設備耐震設計・施工指針(1982年度版)」(建設省住宅局建築指導課監修)による。

1) 制御盤(自立形)、電話交換機(付属機舎含む)等。
設計用標準震度(下記)による。

対象設備	地震及び1階	2階床以上
防犯設備及び通信設備	0.6	1.0
上記以外の設備	0.4	0.6

寸法

○設置の他機器類について図示した寸法は概略寸法とする。

別図建築工事施工

○壁込形照明器具、壁込形スピーカの取付け箇所ボード下地の切込み及び下地の補強。

○自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ。

○地形式分電盤、端子盤及び壁込形プルボックスなどの埋込部の破砕及び補強。

○天井改め口

保温・結露防止

●結露の恐れがある場所の露出配管は一般仕様書第411条による。

●照明器具取付金具については建築標準図による。

○(外)面に面する床、天井でF.P板(スタイロホーム等)打込みの箇所を取付ける位置ボックス等にはF.P板を埋込する等保温結露防止を処置する。

○最上階天井コンクリートスラブには打込配管を行わないものとする。

電源周波数

○50Hz ○60Hz

呼び線

○長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上のビニル被覆保護管を挿入する。

○不要

プルボックス(WP形)の材質

屋内 ○樹脂製メッキHDZ35 ○SUS304 ○SS-WP

屋外 ○樹脂製メッキHDZ50 ○SUS304 ○

接地地

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地面積
○第1種	E ₁	10Ω以下	EB(14#)×3連-2組
○第3種	E ₃	100Ω以下	EB(10#)×1
○特別第3種	E _{ss}	10Ω以下	EB(14#)×3連-2組
○避雷接地	E _L	Ω以下	EP×1
○交換機用	E _T	Ω以下	EB(10#)×3連-1組
○通信用	E _T	10Ω以下	EB(14#)×3連-2組
○通信用	E _T	100Ω以下	EB(10#)×1
○測定用	E ₀	Ω以下	EB(10#)×1
○保安器用	E _{3T}	100Ω以下	EB(10#)×1

接地箇所の近くに接地抵抗値を設ける。ただし、マンホール、ハンドホール用は不要とする。また接地線EBのLは1,500mmとする。

電気方式

幹線 単相3線式 200V/100V ○交直2線式 100V

分枝 単相2線式 ○100V○200V ○交直2線式 100V

蛍光灯器具

●フリップスタート式(40形以上)。

●グロースタート式(40形未満並びに誘導灯)。

●高効率。(下記以外)

●低効率(1.5形以下)のR.P.M.P形で20形以下。環形ホームライト。

●誘導灯。20形環形内蔵形非常照明。コンパクト形2.7W以下。)

●誘導灯は、パネル取付としてもよい。

蛍光灯ランプ

40形(※省エネ形 ○一般形) 20形(※省エネ形 ○一般形)

非常用照明器具

○電池内蔵形 ○電源別置形

配線器具

●専用形 ○単式 ○複式

ハイテンション

○外固定形 ○内部固定形 ○回転形又は上下動形

フロアボックスカバー

●水平高低調整式

非常用照明の非設置

●必要(箇所) ○不要

二重金属線び

○亜鉛メッキ() ○酸化EVA塗装()

●ねじのねじ止め間隔は10~12mとする。

低圧線用遮断器

○(○電話交換機 ○)に電線を提供する分電盤には、各電源線と大地(接地極)間に個々に遮断要素を持つ低圧用遮断器(100、200V級)を設ける。

電気方式

幹線 三相3線式 ○200V ○400V

分枝 三相3線式 ○200V ○400V

電動機

○全金属製 ○接地線接地

電機

●含まない(別図建築機械設備工事施工) ○含む

フロートスイッチ

●含まない(別図建築機械設備工事施工) ○含む

機器への結線

●本工事制約により別図電動機への配線の接続は本工事とする。

●建築機械設備の各機器との接続条件を十分に確認すること。

送電

○送電部 ○突針 ○むね上導体

引下げ導線

●鉄骨又は鉄筋を ○利用する ○利用しない

接地極

○単設 ○建築構造体利用

交換機

○電子交換機(○分散中継式 ○中継台式)

内線数 回線 局線数 回線

○電子ボタン電話装置

内線数 回線 局線数 回線

(○ページング ○ドアホンが接続可能)機能付

電話機

○内線電話機 台 ○局線受付電話機 台

○ボタン電話機 台 ○停電用ボタン電話機 台

ローテーションアウトレット

●内線電話機用(アルミ合金製)

フロアボックスカバー

●水平高低調整式

保安器用接地

●本工事 ○含む ○含まない

観時計

●浮動形 ○自立形 ○回転形

プログラムタイマー

●観時計に内蔵 ○別置

電子式チャイム

●観時計に内蔵 ○別置

ラジオ用アンテナ

○含まない ○含む(OFM用 ○AM用)

増幅器

○非常放送兼用 ○純放送用

○卓上形 ○キャビネットラック形 ○壁掛形 ○出力 W

マイクロホン

●単一指向性ダイナミック形 台

マイクスタンド

●卓上形 台 ○床成形 台

電源

●AC 100V ○乾電池

通話方式

○電話形同時通話 ○電話スピーカ形同時通話

○スピーカ形相互通話

通話機方式

○親子式 ○相互式

形

●卓上形 ○壁掛形

●電話同時通話夜間表示形

●卓上形 ○壁掛形()

●身体障害者用インターホン

アンテナ

●AV-1 12素子 ○AV-2 12素子 ○AU-1 20素子 ○AU-2 20素子

アンテナマスの取付

●壁面取付形 ○自立形 ○高さ m

増幅器

○含む ○含まない

同軸ケーブル

○一般形 ○低損失形

受信機

○P形 級 回線 ○自立形 ○壁掛形

○専用形 ○複合形(自火報+運動制御器) + 回線

副受信機

○専用形 回線 ○複合形(表示器) 回線

発信機

○P形 級 ○超込 ○単独

表示灯

●AC24V ○DC24V ○AC100V

機器収容箱

○壁掛形 ○露出形 ○別添消火栓超込

○防水形又はWPを併記したものは発信機及び表示灯は屋外形

消火ポンプ始動

○発信機と運動 ○単独

運動制御器

○単独 ○複合盤

防煙ダンパ逆方準備 兼付 ○無

自動閉鎖装置電気方式

○防火戸用(本工事、電圧又はラッチ式、DC24V、0.6A以下)

○防煙ダンパ用(別図建築機械設備工事施工、同時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、逆方準備機(電動式)、DC24V、0.7A以下)

受信機

○ 回線(予備電源付)

警戒方法

○無線式 ○赤外線式 ○有線式

工事監視

○配管工事 ○機器実装

電気方式

○低圧 三相 線式 V

○低圧 単相 線式 V

○低圧 単相 線式 V

施工方法

○管路入れ式

○直接埋設式

管内

○放付硬質ポリエチレン管(FEP)

○配管用炭素鋼管(黒)(SGP)防炎テープ2回巻き

○ポリエチレン被覆鋼管(PLP)

ハンドホール

○含む ○含まない

地中掘削

○含む ○含まない

埋設深さ(mm)

○GL-300以上 ○GL-600以上

○路床下層-300以上又はGL-600以上で深い方

その他

○地中掘削(直埋、管路入れ式共)には埋設シートを設ける。

管内

○放付硬質ポリエチレン管(FEP)

○配管用炭素鋼管(黒)(SGP)防炎テープ2回巻き

○ポリエチレン被覆鋼管(PLP)

ハンドホール

○含む ○含まない

地中掘削

○含む ○含まない

埋設深さ(mm)

○GL-300以上 ○GL-600以上

○路床下層-300以上又はGL-600以上で深い方

その他

○地中掘削(直埋、管路入れ式共)には埋設シートを設ける。

外灯接地

●単独とする。ただし埋設型は設けず。

外灯基礎

●含む ○含まない

外灯安定器

●定電流形 ○一般形高効率

ポール内ケーブルコネクタ

●設ける ○設けない

電管

●放付硬質ポリエチレン管(FEP)

ハンドホール

●含む ○含まない

地中掘削

●含む ○含まない

埋設深さ(mm)

○GL-300以上 ●GL-600以上

○路床下層-300以上又はGL-600以上で深い方

その他

●地中掘削(管路入れ式)には埋設シートを設ける。

機器取付高さ

機器の取付高は、下表を標準とする。ただし監督員の指示により変更することができる。

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
分電盤	床下~中心	1,500 (上端1,900以下)	壁付インターホン	床下~中心	1,500
タンブラスイッチ	"	1,300	"(身障者用)"	"	1,000
コンセント(一般)	"	300	壁付位置ボックス	"	"
"(和室)	畳上~中心	150	"(一般)	床下~中心	300
"(防水)	床下~中心	1,000	"(和室)	畳上~中心	150
"(台所)	台上下~中心	300	機器収容箱	床下~上端	2,000
ブラケット(一般)	床下~中心	2,500	テレビアウトレット	"	"
"(廊下)	"	2,300	"(一般)	床下~中心	300
"(壁)	壁下~中心	150	"(和室)	畳上~中心	150
ブラケット	"	"	受信機	床下~上端	1,900
放射形ポンプ室	床下~中心	2,500	副受信機	"	1,900
ブロー、排水機室	"	"	機器収容箱	床下~中心	1,200~1,500
自家発電機室	"	"	発信機	"	"
安定器収容箱(兼合)	床下~上端	2,000	ペ	"	2,300
引込開閉器箱	"	2,000			
振掛形制御盤	床下~中心	1,500 (上端1,900以下)			
手元開閉器	"	1,500			
操作スイッチ押釦	"	1,300			
警報盤	床下~上端	1,900			
室内端子盤	床下~下端	300			
保安器箱	床下~上端	2,000			
局線表示盤	床下~中心	2,300			
位置ボックス(兼合)	床下~中心	300			
"(和室)	畳上~中心	150			
"(壁掛)	床下~中心	1,500			
壁掛形観時計	床下~上端	1,900			
子時計	床下~中心	2,300			
壁掛形スピーカ	床下~中心	2,300			
"(高天井部分)	床下~中心	3,000			
アッテネータ	床下~中心	1,300			

今回事業範囲等

工事名	大和市下郷町下水道処理場建設工事その1
図面名称	建築電気設備工事仕様書
図面番号	AE-1
図面コード	AE-1

日本下水道事業団

平成 年 月

AE-1

注) 分類コードはマイクロフィルム作成仕様書による

建築電気設備機材指定表 (平成4年度版)

分類	機材名	適用範囲	製造業者等名	分類	機材名	適用範囲	製造業者等名	分類	機材名	適用範囲	製造業者等名	分類	機材名	適用範囲	製造業者等名
電線管類・同付属品	金属管	一般配線工事に使用するもの。	JISマーク表示品	放電灯 安定器 ランプ	HIDランプ	屋内外の一般照明用HID 灯具に使用するもの。	岩崎電気 金門電気 東芝ライテック 日本電気ホームエレクト ロニクス 日本電池 御日立製作所 松下電器産業 三菱電機照明 和光電気	電話交換機	交換機 局舎中継台 電源装置 ボタン電話装置 電話機		特電通信端末機器審査協 会の認定を受けている旨の 表示をしたもの	放電灯			東北電機製造 東和電機工業 中山技術コンサルタント 御内外電機製作所 日清電機 御日成電機製作所 日清電機 日本電池 御日成電機製作所 日東工業 御深川製作所 古川電気工業 御別川製作所 御北都電機製作所 北海道古川電気工業 御前田電機製作所 松下電機 御宮城電機製作所 森井電機 御山形電機製作所 ライオン電材工業 他に重電9社
	金属管の付属品	同上	JISマーク表示品												
	合成樹脂管	同上	JISマーク表示品												
	合成樹脂管の付属品	同上	JISマーク表示品												
	可とう電線管	同上	JISマーク表示品												
	可とう電線管の付属品	同上	JISマーク表示品												
	合成樹脂製可とう管及び CD管	同上	JISマーク表示品												
合成樹脂製可とう管及び CD管の付属品	同上	JISマーク表示品													
電線・ケーブル・同付属品	硬銅線・軟銅線 IY・VY・OW・DY	一般配線工事に使用するもの。	JISマーク表示品	防犯器具類			伊東電機 岩崎電気 星和電機 東芝ライテック 松下電機 森電機	自動閉鎖装置 (自動閉鎖機)	連動制御装置 自動閉鎖装置		御日本建築センターの性能 評価マークが貼付されたもの。				
	耐火・耐熱ケーブル	同上	耐火・耐熱電線認定委員会 の認定を受けている旨の 表示をしたもの												
	ビニルテープ	同上	JISマーク表示品												
	圧着端子 圧着スリーブ	同上	JISマーク表示品												
計器・継電器	指示電圧計	JIS C 1102 (指示電圧計)に適合す るもの	JISマーク表示品	非常放送装置	増幅器 操作装置 スピーカ 遠隔操作器 非常電話機 非常電話子機		非常用放送設備委員会の高 準適合ラベルが貼付された もの。				岩崎電気 金門電気 星和電機 東芝ライテック 日本電気ホーム エレクトロニクス 日本電池 日立照明 松下電機 三菱電機照明 森電機 和光電気				
	遮断器	高電圧遮断器													
コンデンサ	低圧遮相コンデンサ	定格電圧が200Vのもの	JISマーク表示品	非常警報装置 (非常ベル)	非常ベル 表示灯 起動装置 操作装置 一体形及び複合装置		非常警報設備認定委員会 の認定証が貼付されたもの。				岩崎電気 金門電気 星和電機 東芝ライテック 日本電気ホーム エレクトロニクス 日本電池 日立照明 松下電機 三菱電機照明 森電機 和光電気				
	電機器具用コンデンサ		JISマーク表示品												
配線器具類	コンセント プラグ スイッチ	一般配線工事に使用するもの。	JISマーク表示品	火災報知装置	受信機 発信機 感知器		日本消防検定協会の検定合 格証が貼付されたもの。				伊東電機 岩崎電気 星和電機 東芝ライテック 日本電気ホーム エレクトロニクス 日立照明 松下電機 三菱電機照明 森電機	その他	照明ポール	鋼管、アルミ、 可換式。	岩崎電気 昭和ホール 住友軽金属工業 住友鋼材工業 松下電機 和光電機機器
	自動点滅器		JISマーク表示品												
	非常用照明器具	非常用照明器具	御日本建築センターの性能 評価マークが貼付されたもの。												
放電灯 安定器 ランプ	蛍光灯安定器	屋内外の一般照明器具に 使用するもの。	JISマーク表示品	ガス漏れ警報装置	受信機 発信機 感知器		日本消防検定協会又は高圧 ガス保安協会の検定合格証 が貼付されたもの				御日本ガス機器検査協会の 合格証、又は高圧ガス保 安協会の検定合格証が貼 付されたもの				
	蛍光灯	同上	JISマーク表示品												
	白熱電球	同上	JISマーク表示品												
	ボール電球	同上	JISマーク表示品												
	HID安定器	屋内外の一般照明用HID 灯具に使用するもの。	岩崎電気 金門電気 東芝ライテック 日本電気ホームエレクト ロニクス 日本電池 日立照明 松下電機 三菱電機照明 和光電気												
直流電源装置	整流装置			蓄電池			蓄電池設備認定委員会の認 定証が貼付されたもの。				サンケン電気 新神戸電機 日本電池 古河電池 松下電器産業 御明電 清成電池				
	蓄電池	建築基準法用及び消防法用 に使用する別用のもの。													
放電灯	制御盤			蓄電池			蓄電池設備認定委員会の認 定証が貼付されたもの。				御愛知電機製作所 御岡崎電機製作所 宇賀神電機 内山電機工業 遠藤電機 大崎電気工業 御赤電機製作所 川崎電気 河村電器産業 御東電機製作所 香東電機 御分電機 御下平電機製作所 御白川電機製作所 御杉生電機製作所 御正興電機製作所 御大日製作所 中立電機 御月東製作所 御上電機製作所				
	分電盤														
放電灯	端子盤			蓄電池			蓄電池設備認定委員会の認 定証が貼付されたもの。				御愛知電機製作所 御岡崎電機製作所 宇賀神電機 内山電機工業 遠藤電機 大崎電気工業 御赤電機製作所 川崎電気 河村電器産業 御東電機製作所 香東電機 御分電機 御下平電機製作所 御白川電機製作所 御杉生電機製作所 御正興電機製作所 御大日製作所 中立電機 御月東製作所 御上電機製作所				
	主幹盤														
放電灯	安定器収納箱			蓄電池			蓄電池設備認定委員会の認 定証が貼付されたもの。				御愛知電機製作所 御岡崎電機製作所 宇賀神電機 内山電機工業 遠藤電機 大崎電気工業 御赤電機製作所 川崎電気 河村電器産業 御東電機製作所 香東電機 御分電機 御下平電機製作所 御白川電機製作所 御杉生電機製作所 御正興電機製作所 御大日製作所 中立電機 御月東製作所 御上電機製作所				
	安定器収納箱														

工事名 大和町七部下水処理場建設工事その16
 図面名称 建築電気設備機材指定表 平成4年度版
 日本下水道事業団 図面番号 AE-2
 平成 年 月

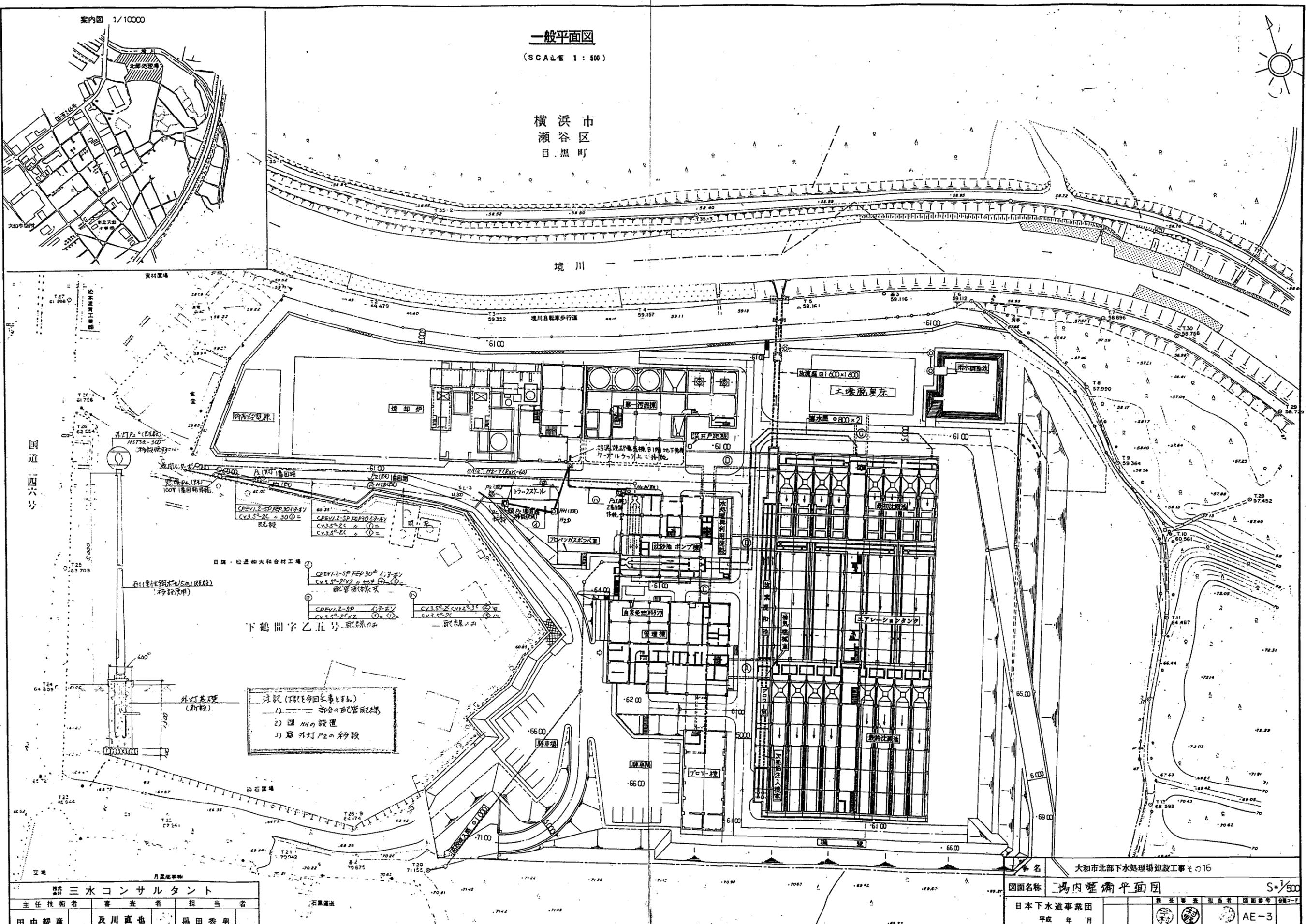
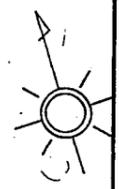
案内図 1/10000

一般平面図

(SCALE 1 : 500)

横浜市
瀬谷区
目黒町

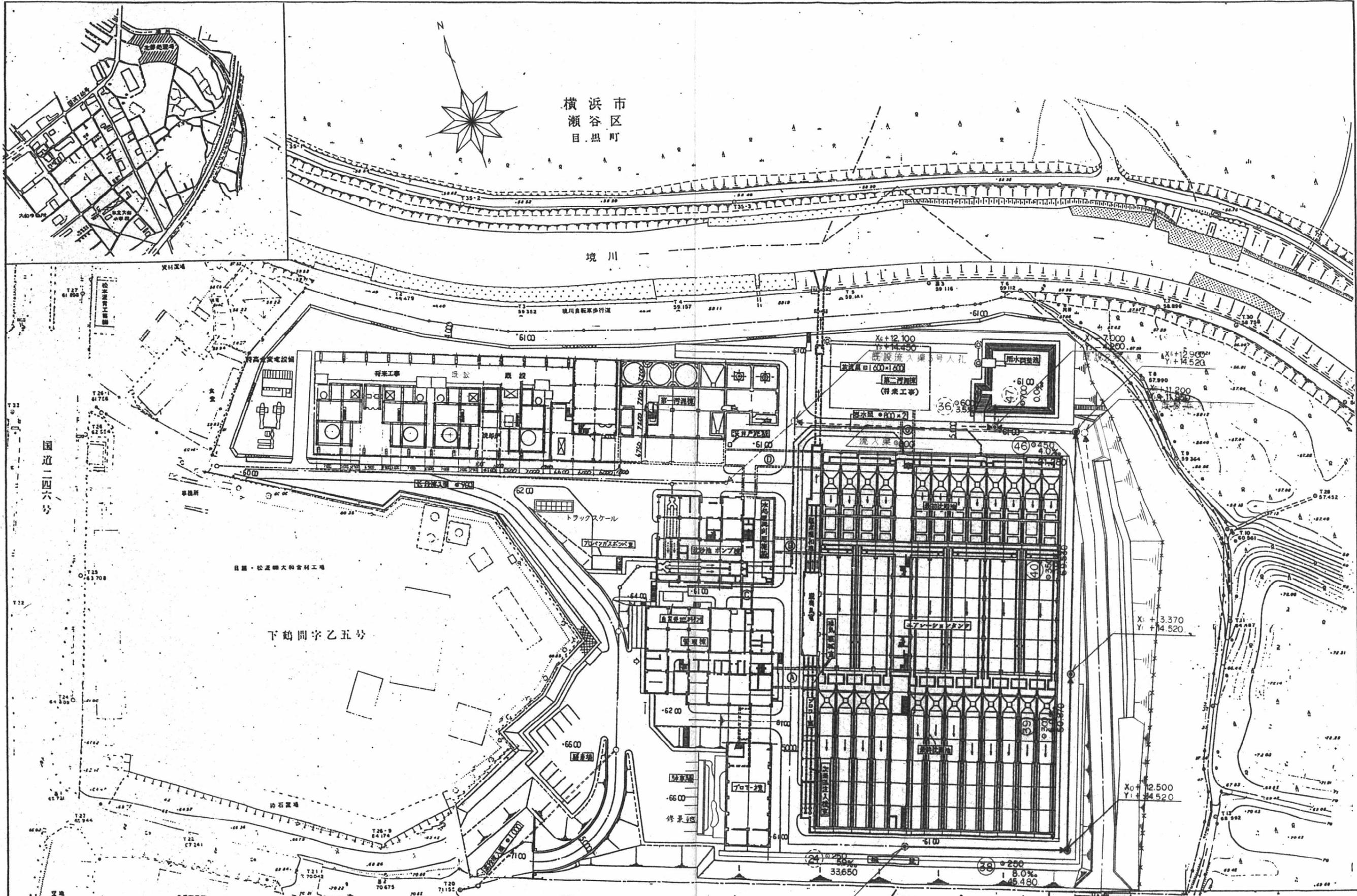
境川



国道二四六号

図面名称	二場内整備平面図			S=1/500
日本下水道事業団	平成 年 月	AE-3		

株式会社 三水コンサルタント		
主任技術者	審査者	担当者
田中 毅彦	及川 直也	黒田 秀男



横浜市
瀬谷区
目黒町

境川

下鶴間字乙五号

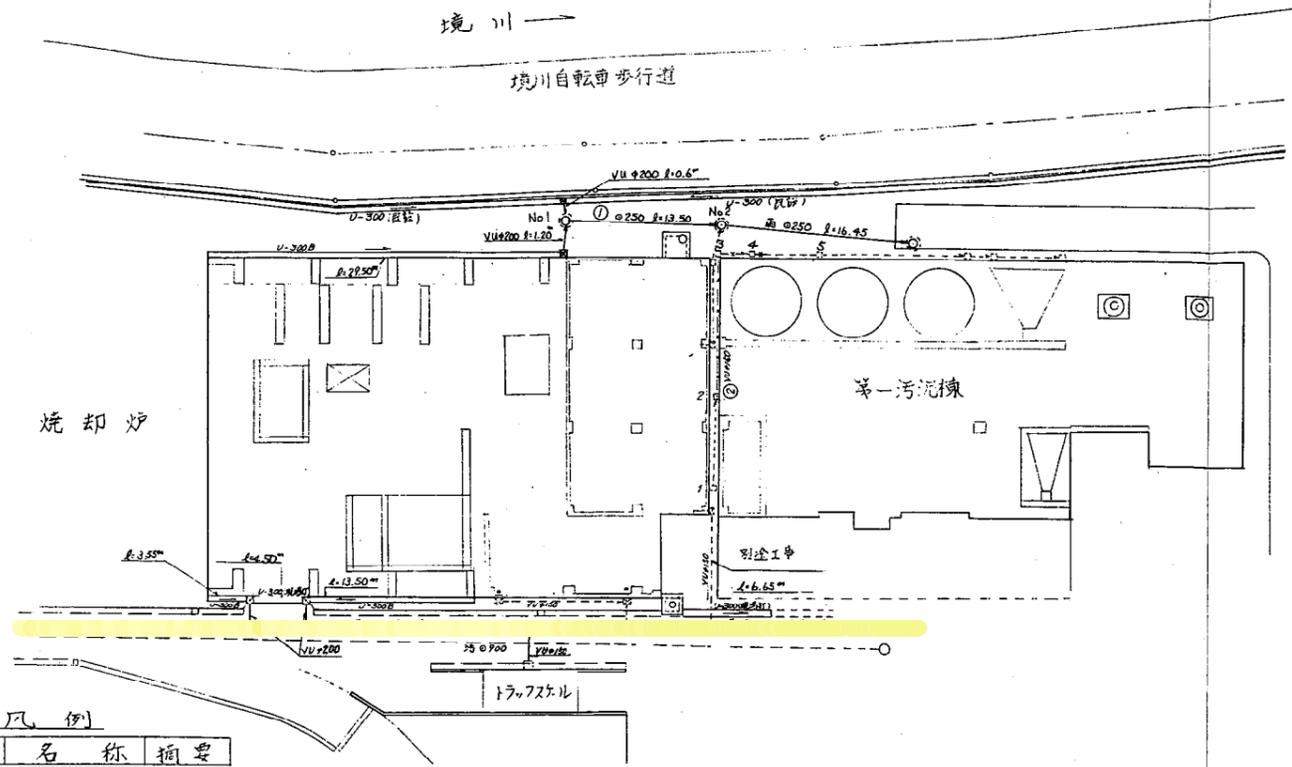
国道二四六号

工事名	大和市北部下水処理場 建設工事 第23		
図面名称	雨水排水平面図	S=1/500	
日本下水道事業団	平成 年 月	図面番号	C-4

三水コンサルタント			
主任技術者	監査者	担当者	製図者
及川直也	宮地若正	松永博之	



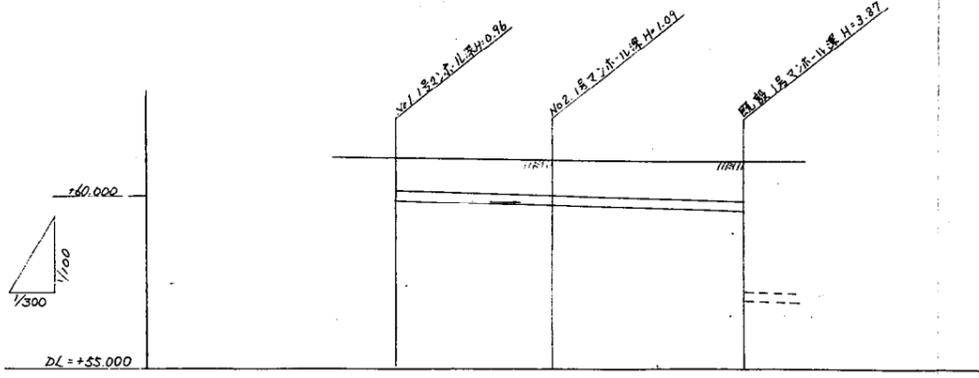
焼却炉排水(雨水・汚水)施設平面図 S=1/300



凡例

記号	名称	概要
—	L型街渠	
—	街渠樹	
—○—	雨水管	既設
—	雨水幹	
—	汚水幹	
U-300	U型側溝 300B	
NEP-250	管渠 (UP 250)	
VU-150	" (VU 150)	
VU-200	" (VU 200)	
---		既設

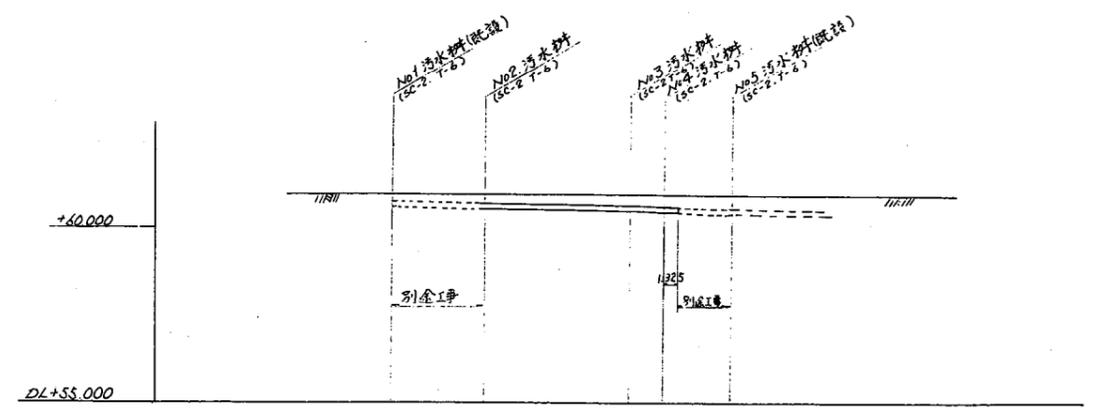
①雨水管縦断面図



管径配	① φ250 10.0%		
土被	0.68	0.81	1.07
管底高	60.095	59.910	59.716
現在地盤高	61.000	61.000	61.000
追加距離	0.000	13.300	29.750
単距離	0.000	13.300	16.450
掘削深			

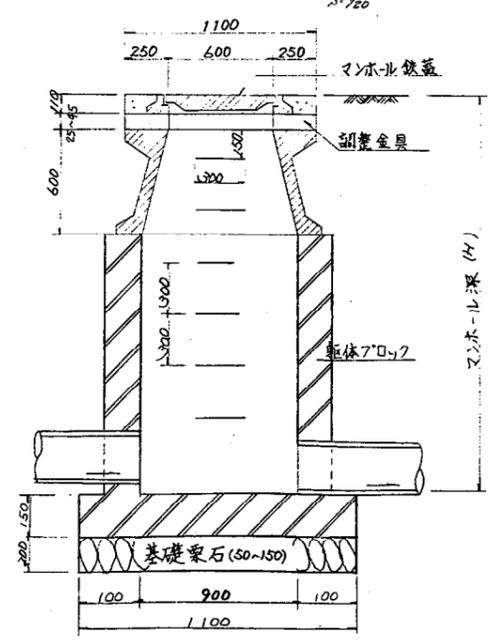
※管天端 30cm 上から山砂埋戻とする。

②汚水管縦断面図



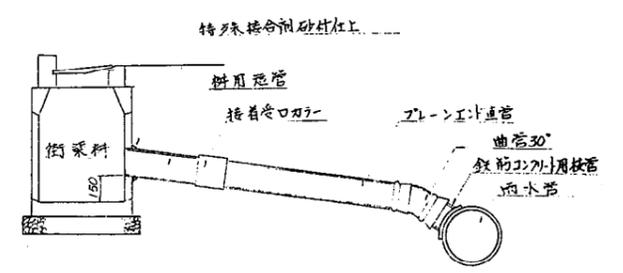
管径配	② VUφ150		
土被	0.243	0.318	0.315
管底高	60.599	60.504	60.501
現在地盤高	61.000	61.000	61.000
追加距離	0.000	14.150	15.300
単距離	0.000	14.150	3.800
掘削深	0.000	0.494	0.501

1号組立式水止標準構造図 S=1/20

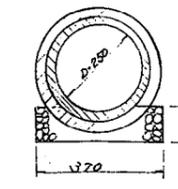


水止No	水止深 (管径)	蓋 (径)	斜壁	直壁	厚底版
1	0.96	1	1	1	1
2	1.09	1	1	1	1

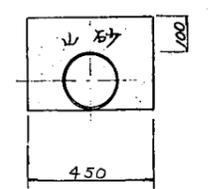
取付管布設標準図 S=1/20 (φ200, φ150)



切込碎石基礎布設図 S=1/10



排水管標準布設図 S=1/10



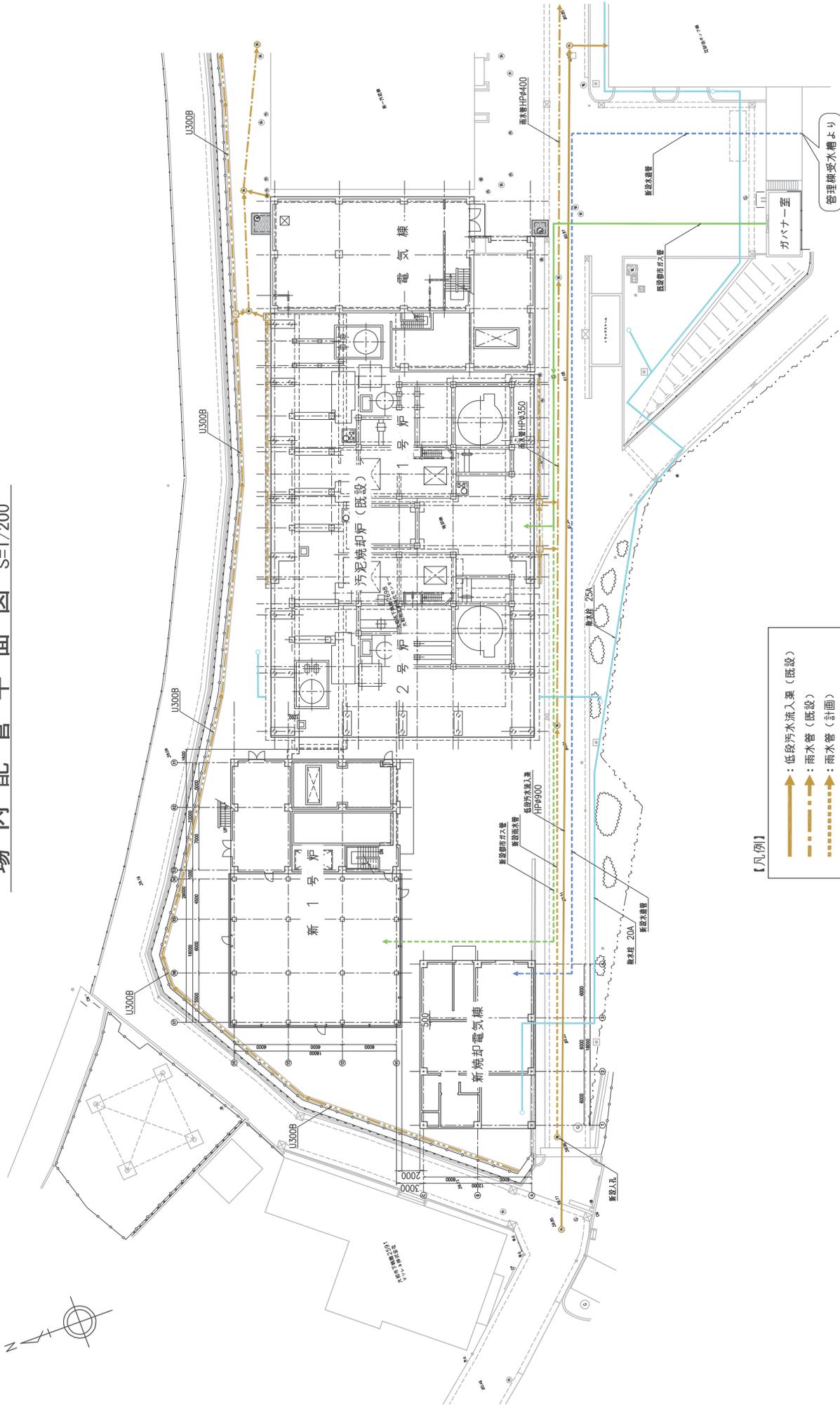
※道路部は全量砂埋戻とする

三水コンサルタント

主任技術者	審査者	担当者
田中 敏彦	及川 直也	黒田 秀男

工事名	大和市北部下水処理場建設工事の16		
図面名称	焼却設備廻り排水工(雨水・汚水)		
日本下水道事業団	課長	担当者	図面番号
平成 年 月			C-15

場内配管平面図 S=1/200



【凡例】

- ↑ : 低段汚水流入渠 (既設)
- : 雨水管 (既設)
- ... : 雨水管 (計画)
- : U型側溝 (既設)
- ... : 水道管 (計画)
- ↑ : 散水栓 (既設)
- ↑ : 都市ガス管 (既設)
- ... : 都市ガス管 (計画)

施設名	大和市北部浄化センター		
図面名称	場内配管平面図	縮尺	1/200
採年月	令和4年3月	図面種別コード	Z113
設計管理	日本下水道事業団	業務委託番号	0-01-2183-J-05
受託業者	株式会社三井物産	図面番号	C-06